

激江

DENKO



'92

大阪経済大学同窓会

花に向かって花に立つ

彫刻除幕式・祝賀会



磯野会長あいさつ



祝賀会のひとコマ (左が流先生)



感謝状贈呈



除幕式



鏡開き



祝賀会

● お知らせ	事務局	75
● 北から南から		62
● OOBネットワーク		50
話題の同窓生 (西丸全一氏)		53
ホットインタビュー (長島隆氏・小山裕史氏・寺田智次氏)		59
● 支部だより		40
支部総会一覧		48
支部役員		49
● 本部だより		36
会長あいさつ	総会 理事会 全国支部長会 彫刻除幕式	
● ゼミ短信・先生の近況		30
● 学園ニュース		20
理事長再任あいさつ 新学長就任あいさつ		
学園マスタープラン委員会/人事/教学関係 ほか		
● キャンパスライフ		14
アメリカ、中国、語学研修 アメリカンフットボール		
クラブ戦績		19
特集	心のふるさと、我が母校	
座談会	職業会計人の集い	3
グラフィア	彫刻除幕式・祝賀会	1
	平成4年度同窓会行事風景	2

制作者紹介



流 政之(なかれ・まさゆき)氏/1923年2月14日、長崎県生まれ、69歳/1935～1943年、京都でサムライ教育を受け古流武道を休得。作刀研磨を学ぶ/1955～1960年、北陸、山陰をはじめ日本各地を放浪し彫刻を行なった後、四国・香川県庵治村で彫刻を制作。1962年には庵治村で職人たちとともに「石匠塾」をつくる/1963年、石匠塾生7人とともに600トンの石を使って、ニューヨーク世界博日本館の壁面<ストーンクレージ>を制作するとともに、ニューヨークでの初の個展を開く/1966年、庵治東海岸に「流スタジオ」建設、1981年、北海道奥尻島に「ナガレパーク」を建設/現在までにニューヨークワールドトレーディングセンターに<雲の砦>、国立国際美術館に<風の城>など、数多くの彫刻制作を続けている/大阪経済大学にも氏の彫刻<風に向かって花に立つ><雲に向かって雲に立つ><花に向かって花に立つ>を制作

「澱江」の由来

初代校長・黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌(現在の学園歌)の歌詞「商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。ちなみに岩波漢語辞典によれば、【澱江】大阪の淀川。澱水(でんすい)、澱河(でんが)。「淀」は「澱(でん)」に通ずる。と記載されています。





平成4年8月25日 レストラン・パレス

「現世の利害を越えた心の故郷
立ち戻って英気を養う心の基地
貴重な青春時代の思い出の場
人生の師や友人との出会いの場」

心のふるさと、我が母校 職業会計人の集い

出席者

泉谷 勝美 大阪経済大学教授
松浦 圭子(13)公認会計士松浦圭子事務所
清水 幸子(15)清水幸子税理士事務所
岡本 光正(21)岡本税務会計事務所
鎌谷 任 (31)公認会計士鎌谷任事務所
福元 輝雄(37)福元輝雄税理士事務所

オブザーバー

磯野 斉 (3)同窓会会長
陰下 嘉典(16)同窓会事務局長
前田 悦子(13)同窓会常任理事
鶴谷 利一(28)同窓会広報部副部長
大門 由秀(46)同窓会広報部

司会

波根 伸俊(32)同窓会広報部長・大阪経済大学学事課

現世の利害を越えた心の故郷
立ち戻って英気を養う心の基地
貴重な青春時代の思い出の場
人生の師や友人との出会いの場

平成4年度 同窓会行事風景



▲清水好喜代氏(3)へ感謝状贈呈



▲石碑



▲吹奏楽総部（総会賛助出演）



▲新学長を交えて鏡開き



▲山本前学長へ感謝状贈呈



▲パーティー風景



▲ひとみ会より植樹目録贈呈



福元 輝雄 ふくもと てるお

昭和46年卒業。現在、近畿税理士会監事、税理士大樟会専務理事。社会保険労務士の肩書も持つ。尼崎市在住。

福元 私はちよつと変わっていきまして、鹿児島工業高校を出て、大阪製鋼で鉄鉱分析をやっていたんですが、税理士事務所をもっている義父の田原徳一に勧められて、25歳で勉強を始めた。経理学校に2年行き、母校の2部の経営学部に入り、それから大阪学院大学の大学院を経て、昭和51年に税理士登録をし、ちょうど16年になります。

あひへつて東奔西走

るわけですが、仕事のうえでは、税務の方に主に力を入れています。
最近、囲碁に凝っていて、やつと3段になりました。ゴルフも4年ぐらい前から始めて、やつと100を切るぐらいの状態です。私はアウトドアスポーツが好きで、山登りとか、水泳とか、スキーとかに走りまわっていて、仕事のほうは、ついでみたいな感じなんです。

女性会計士の先輩として

司会 きょうはお忙しいところを、また残暑厳しいところを、座談会のためにお集まりいただきまして、ありがとうございます。
年1回の『澱江』に毎年特集座談会として記事を書いておられて、過去3回は地域的なブロックでの座談会だったんですけども、今回初めて職業会計人の方にお集まりいただいて、「心のふるさと、我が母校」を語っていただくと同時に、大学に対してのご要望なり、後輩への要望についても、自由にお話しいただきたいと思っています。
まず最初に、自己紹介を兼ねた近況報告を松浦先輩からお願いいたします。

松浦 センチュリー監査法人の代表社員で、松下電器産業をはじめ、そのグループの監査人として、公認会計士業務をしております。

大阪北区の茶屋町に個人事務所をもっていますが、母校の後輩でもある息子が主で、私は手伝っているような形になっています。

また、公認会計士協会の本部理事と、近畿会では経理部長をやっております。女性会計士としての先輩でもありますから、できるだけ積極的に仕事に取り組んでいます。
司会 女性の公認会計士第1号ということですね。

松浦 公認会計士第1号と、よく皆さんおっしゃいますけれども、計理士から特別試験でなれた方が東京においてになり、私が合格した昭和31年の前年に、東京で一人2次試験

に合格なさった方もいらっしゃいますので、私は西の第1号ということになります。



松浦 圭子 まつうら けいこ

昭和22年卒業。全国婦人税理士連盟の前会長。配偶者特別控除の廃止を訴え、シンポジウム「女の税金損得感情」開催。吹田市在住。

マスプロへと事業拡大

清水 現在は、京都の河原町五条で会計事務所をやっております。規模だけは勝手に大きくなってしまい、いわゆる会計事務所以外のマス事業みたいなこともやっております。数だけが多くて収益が残らないようなことで、大先輩の松浦先生がうらやましく、いつも尊敬しているような次第でございます。

近畿税理士会では制度部副部長や広報部員を、創立期から会員の全国婦人税理士連盟では昭和62、63年と会長をつとめました。

妙な縁続きで税理士に

岡本 私と母校とのかかわりは妙なことでし

役職としては、近畿税理士会で広報部員や理事を務めたほか、業務部の副部長を1期、指導連絡部の副部長を2期させていただき、平成元年6月から監事をやっています。
会の世話をよくさせられ、税務署出身の税理士の2世の会「桜志会」や「正風会」の青年、婦人部に関わりました。最近では、「税理士大樟会をつくれ」と、磯野同窓会長に言われ、1年ほど一生懸命させていただきました。事務所は扇町公園のすぐそばにあります。
司会 皆さんよくご存じではありますでしょうか、泉谷先生にも近況などをお話し願います。

経大四十年、イタリア熱やめず

泉谷 現在は経営学部経営情報学科で「会計概論」とか、「複式簿記システム論」をやっています。大学院では「会計史特講」ですが、今年は開店休業の状態です。
本学へ就職したのが昭和28年。大阪商大を卒業して、すぐにこちらにきましたので、来

年3月で満40年になります。現在では、全教職員を合わせても井手先生に次ぐ古さで、20年代に経大に入ったものは、私と井手先生の2人だけになってしまいました。
講義は簿記をやっていますが、研究しているのは複式簿記生成史論、イタリアの問題です。47年にイタリアにまいりまして、もうお亡くなりになったんですが、フローレンス大学のメリス先生のもとで、中世古文書の読み方を勉強し、複式簿記の生成のところを研究しています。著書の『中世イタリア簿記史論』

て、私は満州生まれの満州育ちで、旅順高等学校の理科乙類におったんですが、引き揚げてきたときに、たまたま阪急電車の中に「入学試験資格検定制度あり」という、母校の印刷物をみつけ、昭和26年に入れていただいたわけです。

私は尋常小学校5年で中学の試験を受け、中学の4年から旧制高等学校へ行だったので、卒業証書は幼稚園以外持っておりませんでしたが、喜田先生が「おまえみたいに中途半端なやつは就職できんぞ。税理士という制度がある。これを受けなさい」ということで、3年生、4年生で受けました。昭和30年の卒業のときに、喜田先生の事務所に入れていただき、31年の税理士試験に合格しまして、何となく税理士になったということです。

喜田先生の事務所でいろいろ鍛えられ、36年11月1日に許可をいただき、独立開業しました。事務所は難波元町ロータリーに置いております。

母校には女性の会計士の先生もいらつしやるということで、松浦先生のお噂なり、「松浦先生を目指せ」という喜田先生のお言葉や若い時分から泉谷先生とお付き合ひさせていただいたことで、どうやらこうやら還暦すぎるまで税理士でよかったという感があります。

スポーツの合間に税務処理

鎌谷 昭和40年に大学を卒業。43年に2次試験に合格して、3次試験はちよつと遅れて、48年に合格。49年に開業して、現在に至って

は学位論文、55年に出了した『複式簿記生成史論』は学会賞をいただきました。
皆さんの職業との関連では、56、57、58年と税理士試験の試験委員をしました。本学の役職関係では、59年から6年間、2期、大学の理事をやらせていただきました。

なお、経大40年の中で、頭の中に残っていますものは、昭和45年の大学紛争のときの経営学部長、学生部長という役職です。あれは経大におけるいろんな事情の変化をもたらした一つの問題だと思いますが、そのときの仕切り役で、全共闘にどつかれてイタリアへ逃げに行ったというのが私のことで、現在もあいかわらず1300年代のイタリア商人の会計帳簿にくらいついております。
司会 母校では、お手元に用意しました最近の大学案内のとおり、91年には経営情報学科が開設。今年の春には大学のマスタープラン、将来構想が、マスタープラン委員会の答申という形でまとめられまして、いま学部増、大学院、2部の充実等について、その内容が学内で煮詰められている段階です。

それはそれとして、今度は、タイムスリップし、きょうご出席の方々の学生時代のエピソードといいますが、この道に入られたきっかけも含めて、何か思い出がございますたら、ご紹介いただきたいと思います。

強い個性の持ち主が多かった

松浦 昭和19年、終戦の前年の入学でございます。私は10歳までに両親が亡くなっており、

弟と二人きりでした。その弟が戦争中に肺結核になりまして、女学校を卒業してから弟の病気のために田舎に転居して、2年間弟の看病に専念していました。

弟が亡くなったので、また大阪に舞い戻ったところ、私が身を寄せました叔父に赤紙がきて、出征することになったので、叔母と二人で家を守らなければならなくなりました。叔父に「昭和商高が女子の学校になるというのが新聞に出ていた。ほかの学校は全部試験が終わってけるけれども、ここだったら間に合うから」と言われ、府庁の学事課へ行き、学校の場所を教わって受験したわけです。2年間のブランクがありました、なんとか入学できました。

戦中、戦後という激動の時代でしたから、記憶が非常に鮮明で、特に入りましたときの黒正巖校長という、個性の強い先生に巡り合ったのが、私たちにとって非常に幸なことだったように思います。

また、学徒動員で軍需工場に8カ月ばかり行ったときに引率してくださったのが久野収先生で、戦後先生から「哲学概論」を学びました。そのときに受けた教養が、学校で一番思い出深いというか、その後の人生の中で心の支えになったように思っております。

さらに、戦争中、非常な身の危険にさらされながら、軍需工場でも、ともに仕事をしていたことが、13回生の中に連体意識としてあり、いまだに皆さんとお付き合いがあります。そういう友人関係に恵まれているということも、母校に対する思いとしてございます。

停電が心配です。停電になると授業になりません。僕はよく、ロウソクを持って学校に行っていたんです。1回生、2回生のうちは単位を取らんといかんと思って、真面目に行っていたんですが、3回生、4回生になってからはあまり行ってません。その時分になると電力事情も安定して、非常によかったんですが、私は中国からの引き揚げで、しかも、6年間もブランクがあつて復学しましたので、第2外語が心配でしたが、たまたま中国語があり、講義は私が小学校4年のときに習ったのと一緒でしたので、教科書を買わずにすませ、怒られたことがありました。停電になると、担当の梅田先生と私の中国語の会話の時間になり、学友諸君は、皆いびきをかいてスヤスヤと休んでくれたという思い出があります。

もともと私は理乙出身で、母校に入って、まず「簿記」というのは何でこんなにややこしいんだろ」と後悔しました。一時はやめようかとも思ったんですが、会計担当の喜田先生に「おまえは医者になろうと思って理乙に行つたんじゃないか。それより簡単な簿記がなぜできないのだ。簿記は人生の縮図といふべきもので、研究したらおもしろいよ」と励まされ、一生懸命やってみたら、だんだんおもしろくなってきました。なぜ右と左に分けるのか初めは悲壮でしたけれども、これもどうやら単位をいただけて、いい大学に入っていただけではないかと思ひます。

多分に、私たち21回生は、初めての2部ということで甘やかしていただいたし、経済的にもみんな恵まれていましてしたので学費

司会 同期の前田さんも、きょう来ておられますけれども。

松浦 あの時「い」ろ「は」に「の」4組があつて、前田さんは「に」組だったと思いますけれども、生徒会の会長みたいなことをやっておられましたから非常に怖い存在で、昔から割合に厳しいところもありました。私は「は」組で、クラスの総代は非常にやさしい人でしたから幸せでしたけれども、前田さんのところだったら随分と鍛えられたらと思うなと思ひます(笑)。

司会 大学昇格にもずいぶん働かれたみたいですね。学生側にすごい盛り上がりがあったという話を聞いてます。

松浦 前田さんが学校に残っていらつしやいましたから、前田さんを頂点にした13回生の連帯感が強く、皆さんと連絡しやすくて、それがいままでも友情関係の続いている原因じゃないかと思ひます。

泉谷 先生の卒業当時の女子学生さんには、現在、バリバリの職業婦人というのが多いんじゃないですか。

松浦 旧制大学に入学できるようになったのが、あの年からかその前の年からか、記憶がはつきりしていませんが、大勢大学に行かれました。大阪市立大学には10人も入つたし、神戸大学には能勢さんが、京都大学には藤沢みほ子さんが入られましたから、女性としては先駆者になるんでしょうね。

戦後、初めて女性に旧制大学への門戸が開けて、大勢入つていかれたから、自ずとそういう専門職でずっと活躍しておられるんだろ

の延納をお願いに行つたり、ご迷惑ばかりかけていたと思ひます。

卒業式の前日、大学に呼ばれて、「おまえ学費が入ってないじゃないか。卒業証書をやるわけにいかんぞ」と、「待ってください、10日以内に何とかしますから」ということで、いろいろして卒業証書をちょうだいした覚えがございます。

そのときに税理士というのが目の前にぶら下がつておりましたが、僕らのときは、就職活動に遅れたのは企業が採らないということで、ゼミナール担当の喜田先生なんか、全然就職の推薦状を書いてくれない。非常にむくれていたところ、卒業式の前日に、「おまえは俺の事務所の要員だから来い」ということで、当時月給16,000円だったと思ひますけれども、事務所に入れていただきました。

戦後のどさくさで、卒業してから皆バラバラになり、いったい誰がどこにおるんだろということから、喜田先生の古稀のときに、喜田ゼミ同窓会をつくらうじゃないかということになりました。私が喜田ゼミの第1回の卒業生で、最初の資格取得者ということで、同窓会にいろいろ協力いただいて、会をつくりました。その中の会計事務所をやる人ばかりで会計事務所部会をつくりましたら、泉谷先生から「岡本君、それをもうちょっと拡大して、経済大学の卒業生ばかりの会計事務所の団体にしたらどうか」というお話がありました。私もずぼらなものですから、喜田ゼミの後輩の福元先生とか南中先生、佐藤先生に頑張っていただき、どうやら税理士

うと思ひます。

泉谷 あの当時、女性が経済系統の学校へ行くということとは、現在でも文学部とかを指向するのですから、相当な先駆者ですよ。

松浦 昭和商高が、皆さん学徒動員で戦地にいらつしやつたために学生がいなくなるというので女性を募集した初めての学校じゃなかったかと思ひます。ですから、そこを目指して行く人は、それなりに個性の強い人たちがばかりになったんじゃないかと思ひますね。

泉谷 そうでしょうね。女子経專の卒業生を集めたとしたら、個性が強く、すばらしい人が出てくるのではないのでしょうか。単に、おかあちゃん、3食昼寝付という形じゃない婦人が多いんじゃないかと思ひます。

「簿記は人生の縮図」の言葉に励まされ

司会 岡本さんは8年ぐらゐ後輩ですか。

岡本 私が母校に入っていたのが昭和26年でございます。大学に入つて、とにかく印象的だったのは、講堂の屋根に穴があいていて、そこにツバメがスズメの巣があつて、講堂に行くとき落ちてきたという。戦後間もない時期ですから、学校も大変だったろうと思ひますし、まして新制大学に昇格されたばかりで、財政的にも非常に大変な時代だったんじゃないかと思ひます。にもかかわらず、先生方が、2部の1回生ということで非常に熱心に指導してくださつたというのが記憶にございます。

2部ですので、電力事情が悪い当時のこと、

大樟会が発足しました。これは偏に同窓会長のお力添えのおかげだと思ひます。

司会 鎌谷さんは私の1年先輩になられますけれども、あのころは学生ゼミナール大会とか、簿記会計研究部とか、クラブ活動も盛んな時代だったと思ひますけれども、何か思ひ出をお話いただけますか。

運命のいたずらに感謝



鎌谷 任 かまたに たかし
昭和40年卒業。現在、誠光監査法人公認会計士鎌谷任事務所代表取締役。寝屋川市在住。

鎌谷 私も岡本先生と同じように2部の出身で、34年に高校を卒業して、2年ほど貿易関係の仕事をやりましたが、いつも残業で10時とか11時まで仕事をさせられましたものから、こんなことをしとてはいかん、いろいろな考えまして、大学へ行った方がいいんじゃないかと。それで、母校の2部には、あのころ1次試験と2次試験があつたと思う

んですが、私は2次試験に申込みに行きました。「もう締め切りでしたから、だめです」と言われ、それだったらしかならない、帰ろうかなと思ったら「もう1人ぐらいだったらよろしいから申請してください」と言われて。経大を卒業させてもらって、そのおかげで会計士試験も受けてみようかなという気持ちになったわけです。

私は2部で、昼は仕事しながら、夜に学校へ行っていました。大学に対する思い出より、むしろ友達関係での思い出の方が多く残っています。ただ、母校を出させてもらったおかげで、会計士2次試験も受けられたし、会計士も通ったし、人間の運命なんてちよつとしたきつかけから変わってくるということ、わからないものだなと思ってるんです。だから、そういう面では母校に対して非常に感謝しています。

学園紛争で勉強できず、残念

福元 私は税理士という目的をもって、ずっと進んできました。私の友達には、20歳のときに税理士試験に合格した南中先生や同郷の竹之内先生、ヤンマーの河田君とかがいまして、年齢がある程度いった人ばかり集まって勉強するという状態でした。学業を離れてから入学したもので、語学に非常に苦労した思い出があります。

「ちょうど学園紛争の当時で、我々は昼働いて夜から勉強をするわけですが、途中からヘルメットをかぶった学生が来て、「なぜ授業す

生、大城戸先生など、本当に偉い先輩ばかりで、恵まれてるなと思いつながら、現在仕事をさせていたでいております。

松浦 いま大城戸武子さんの話が出たんですが、大城戸武子さんとか、坂中良さんとか、同級生が税理士を立派にやってらっしゃる。私たちの学年はけっこう社会人として活躍してるなと、13回生は誇りに思ってるんです。

泉谷 それは、昭和22年、終戦後間なしでしょう。女の人が専門学校に行くなんてことは考えられない時期に、こともあろうに、経済専門学校へなんて、よほど何かがないと行けませんよ。だから、一度調べてみたらおもしろいと思うんです。単なる孫のおもひをするおばあちゃんにおさまっている人は少ないんじゃないかな。前田さん、どうですか。

経済専門に親も娘もプライドを

前田 確かに。先ほどクラスの話が出ましたけれども、それまで昭和高校の場合は、「A」「B」「C」の3クラス編成だったんです。ところが、戦争中という事で、男子学生がいなくなつて、女子に切り替えざるを得なくなりました。そうすると建物と教授陣をそのまま温存できます。それに文部省からの示唆もあって、大阪女子経済専門学校が併設されたわけです。

そのときは女子だけで、200余名合格者があつたんじゃないかと思えます。50人単位で4クラス、「い」「ろ」「は」「に」というクラス名称でした。当時は敵性語ということ、女学校の英語の時間数が、非常にアンバランス

るんだ」と言つて、先生も、「残念ですが、しょうがない」と言われて、授業がやめになったことが何回もありました。

しかも、卒業式もできず、あとから卒業証書を各教室でいただいたということ、大学というものに憧れて入学したのに、卒業するときには紛争で封鎖になった、それが一番印象に残っています。

司会 きょうは期せずして、男性の皆さんは全員2部のご出身ですね。

泉谷 偶然ですね。学園紛争は私が経営学部長のときです。卒業式、ようしませんでした。司会 大学としては、1部でも2部でも、カリキュラムも資格面も全く同一です。ただ、本学は他大学より卒業に必要な単位数が多いので、2部の卒業必要単位数を減らして、時間帯もずらすようなことをいま工夫しています。それにしても、いまお話を聞いてみると、問題意識をもった、しっかりした方が、2部を卒業して、社会で活躍しておられるということ、今回の『瀬江』の内容に非常に花を添えていただけたと思います。

恵まれた人脈に支えられつつ

清水 ちょうど私が母校（当時は大阪女子経済専門学校）へ入りたいなと思った、昭和20年8月に終戦になりました。

そのころ、女性の職業といえば看護婦が学校の先生で、私も学校の先生になろうと思つていたら、うちの女学校の先生が「これから女学校だけ出てもあんまりだし、学校の先

生には大学を出てからでもなれるから、どこか専門学校へ入ったらかうか」と勧めてくださいました。大城戸先輩がいつもおっしゃいますように、女性の学校というと、お針とか、家政科が主でしたので、そうでない学校を探し、母校を受けさせていただきました。

ただ、私は商業専門の女学校でしたから、英語が難しく、1年ぐらい浪人せんならんかなと思つたら、たまたまひつかりまして、卒業させてもらうまで、ずっと英語で苦しんだ覚えがございます。それつきり英語アレルギーです（笑）。女子経専から男女共学に変つた年の入学で、女性14名と少なかつたのですが、今でも交流はかなりあります。

学生時代は、終戦直後でございますので、一番に食糧不足ということで、学校へもろくお弁当を持たずに行った記憶があります。が、食堂を見つけて食べるものを探るのが大変楽しかつたし、また、学校のお友達で、亀岡にいらつた方が、「たくさん食べるものがあるから、うちに遊びに来なさい」と言ってくるので、よく遊びに行ったことを覚えて

います。

喜田先生にいろいろと指導いただいたところに「公認会計士法」ができ、私の2年上ぐらいまではあつた特例試験がなくなつてしましました。私は税理士を目標にしてましたので、学校を卒業してから税理士事務所1年勤め、そのころのことですから、すぐに結婚しましたが、しばらくしてから税理士になりました。試験を受けまして、松浦先生と同じ年に合格することができました。松浦先



だったもので、習得した英語の時間をクラス編成の基準にされたらしいんです。動員が終わるまで、たかだか1年少しの期間なんだけれども、非常にクラスのカラーが出て、それがひいては、そこに所属してる人たちの個性までも変えていきました。

動員が8カ月ありましたが、全校の授業がストップした時期で、男性は内地からいなくなり、銃後を守るの女子です。いまから思えば、我々の親たちが、女子といえども、男子にかわつて日本を支えていくには、経済観念の一つも必要ではないかと考えていたようです。これからの時代は、いまでいう資格というところまではいかないまでも、たとえば家庭生活をもつにしろ、多少の経済観念がいはある娘になつてほしいという。そういう親たちの熱心な思いがあつたんじゃないかと思うんです。そこにあいつて、家政なんかごめんだという思考のものの何人かが、女子経済専門学校があるので受けてみようかと。それが、当時の受験生の心境だったと思うんです。

だから経済専門ということに、いまと違い、非常にプライドを持っていました。先ほどお話に出た黒正先生に非常に洗脳されたという点もあります。

というのは、黒正先生が岡山第六高等学校の校長になつて転出され、菅野和太郎先生が母校の校長を引き受けられたこと、です。ちょうど清水さんたちの受験の前で、そろそろ復員学徒の男子が帰ってくるころでした。だから、今度は、女子だけでなく、受験

生をどうするかという問題が出てきたわけですね。菅野校長は、経済専門でなく、商業専門に切り替えたいと言われました。それで、私たち13回生、次の14回生、それも女子だけの学年が敢然と立ち上がったんです。自分たちは経済専門で入ってきたのに、学校のご都合主義で途中で商業専門に切り替えるとは何事だということ。それが、清水さんや15回生の人たちも含めて、経済専門学校から経済大学に昇格させるときの、学生のエネルギーになっていったんです。

司会 話を元に戻しまして、同窓会は、すでに卒業生が5万人を超し、現在のところ地域的な支部が40近くあって活発になっているんですが、それ以外に職域支部といいますが、たとえば大阪市役所支部みたいな、職場単位のものも活発になってきています。が、本日お集まりのような職業会計人といいますが、業種ごとの集まりが、いままではあまりなく、今後重要になってくるんじゃないかと思われ

と申しますのは、どこの大学もそうなんですけれども、地方からの受験生が減る傾向にあり、関西出身の学生が増えてきています。となりますと、どうしても地方の支部活動が弱まってくる。関西を中心にした多くの卒業生が、地域的じゃなくて、職業とか、いろんな単位でまとまって、活動にいろんな形で参加してくださる、同窓会を盛り上げていただくことが必要になると思います。税理士大樟会が、その先駆けといえますか、会長が税理士さんで、その存在も大きいと思われま

司会 決して仲好し会じゃなくて、お互いに啓発して、学び合う会という感じですね。福元 そうですね。研修会もやろうということ。司会 いま本学の卒業生でそういう方が200人余りおられるんですね。福元 もうちょっといらつしやろと思うんですけど、先輩の方はわからないですね。司会 大学院でも、当初は研究者志望の院生が多かったんですけど、最近は税理士志望の院生がほとんどです。毎年、多いときは10名近く、少ないときでも2、3名は卒業しています。それはそれで名簿ができています。

利害抜き交流の場

岡本 私の経験からいくと、税理士というのは開業したとき非常に孤独なんです。先生についてるときは、月給もらってればいいということやってるんですが、そのときに相談する方がいないわけです。私たちは浪速ですから、浪速支部で相談しても、腹の探り合いみたいで、そういうときに母校の税理士大樟会の先輩、後輩のつながりで、利害抜きで話できる場ができたということは、非常にうれしいですね。

かつて、私が喜田ゼミ同窓会の会計事務所部会をつくったときにも、若い先生方からいろいろそういうお話を聞いたり、もつとこやって頑張ったかどうか、私のときはこうしたよというお話ができたので、まして大先輩の先生方がおられるので、そういうメリット

が、自然発生的に、そういう活動が始まっておりまして、ぜひ、この『濠江』を通じて紹介したいと思っております。

税理士大樟会ができた経緯なり、あるいは目標、こういうことを目指しているということをお話いただけたらありがたいんですが……。



波根 伸俊 はね のぶとし

昭和41年卒業。在学中は藤田ゼミ、ゼミナール協議会、寮友会所属。大津市在住。

いずれは税務署職員との交流を

福元 税理士大樟会の専務理事をやっておりますので、最初に私から申します。12、13年前から会計人同窓会の話があったと思うんです。10年ほど前だったかに1回集まり、その中に私と南中先生も入っていました。そのときには、ただ集まって、だいたいの案といいますが、会則案ができて、我々は非常に若い方だったものですから、今後どうなるのかなと思っ

ていたうちに、そのまま10年ほどたつ

が将来出てくるんじゃないかと思っています。それに外部講師じゃなくて、本学出身の税理士先生、会計士先生の研修会の講話を承れます。皆さんよく勉強なさっているようです。俗に税理士というと、税務署と喧嘩する悪者の代表のように言われていますが、本学出身の税理士の諸先生は真面目な方が多いように思われます。会長の磯野先生が鑑でしょうけれども、税理士大樟会も大きな役割を果たしてくれるに違いありません。



岡本 光正 おかもと みつまさ

昭和30年卒業。在学中は英文速記クラブ所属。大阪なにわロータリークラブ初代会長。趣味は旅行、読書。大阪市在住。

大学にも実務家教授を迎えたい

司会 先ほどちょっと話題にした大学の将来構想のマスタープランでも、大学の教授陣に実務経験のある社会人を、非常勤講師とか、期限付きで、学生に指導にきていただくということがプランとして入っています。もちろ

てしました。

近畿税理士会尼崎支部の懇親会で磯野会長からその話が出て、「何とかなんらか」と言われました。それで、「桜志会」設立、「正風会の青年婦人部」活動の経験を生かして、活発に動いている松本剛ゼミOB、会計事務所部会のある喜田ゼミOBの人に集まっていたら、会則をつくり始め、去年の7月20日にやつと創立総会ができたわけです。

いま母校卒業生の公認会計士、税理士でわかつてるのが200人ぐらいだと思んですが、そのうち半分ぐらい、103人か104人が入会されておられると思います。

税務署職員の同窓会支部が今年中には設立できるような話なので、そうしたら、定期総会や忘年会を合同で開催する予定になっています。

今年1年目を迎え、総会を開き、その間に理事会を2回ほど開催しましたが、30、40人の出席をいただきました。会員100人の中でそれだけ税理士が集まるというのは同窓会のおかげだと感謝しております。

役員の任期は初年度は1年間だったのですが、もう1期同じ人がやって、固めてから多少変えたほうがいいのではないかとということで、全員留任となりました。ただ、会長については、磯野会長には1年間という約束で無理になっていただいたので、今度は佐藤順郎先生(8回卒)にお願いしました。顧問、相談役については近いうちに理事会を開いて決定しなくてはと思っておるところでございます。

ん他大学でも実現してるんですけども、うちでも、卒業生を含めて社会人の方に、教室で学生に現場のことをいろいろ教授していただくようなことが必要になってくると思います。その意味でも、そういう活動をしておられると実現しやすいと思います。

泉谷 特に、会計関係の授業の問題になると学校の先生は理論ばかりで、実務にうとい。旧態依然として8桁精算表を教えて、3級程度で終わっているというのが現状ですね。

うちの卒業生の多くは簿記を知らないで卒業していると思います。学校の授業で勉強したんじゃないで、経理学校で勉強したとか、あるいはクラブで勉強したとかいう人がかなりいるのじゃないでしょうか。

松浦 最近はどうですか。

泉谷 そうすると、結局、学校でやるのと実務とは非常に掛け離れて、学校の簿記は学校簿記であって、実務には全然対応しないという批判になります。

そういう問題を解決していこうと思えば、実務に明るい、現場の実務家を講師に迎える方向でないとできないですね。すでに、うちでも、そういう公認会計士の先生がおられますが、経営学というあたりになると、まだまだこれから検討する課題じゃないでしょうか。とにかく会計は一番職業と結びつきやすいんです。

司会 学生にもそういう特別授業みたいなものが、魅力があるようですね。

岡本 かつて、喜田先生が財務諸表論の試験委員をなさった前後の年に『税務会計実務

論」というのを、夏休みか冬休みに学生にしたらどうかというお話が泉谷先生から出てたんだ」ということを、喜田先生から漏れ承ったことがあります。当時、就職が非常に難しかったので、その対策もあつたんでしよう。確かに、私も、後輩を採用する場合に大学の簿記論は取ってきてるんでしようけれど、実務には役に立たないというのが多かったです。

泉谷 日本の教育はみんなそうじゃないですか。いわゆる学校教育、学校簿記。

松浦 そうなると、いまの試験制度が悪いということになるんです。学問と掛け離れてしまつて、ただ受験のための勉強だけになつてしまつてるといことが、試験制度そのものに対する批判になつてゐるわけでしょう。だから、大学在学中に皆簿記学校に行つて、大学とは違う受験のための勉強をしている。それは試験制度に問題があるということですよ。

泉谷 試験委員になつても大変ですよ。試験問題つくるのも。

松浦 そこでも大学で教えてらっしゃることと掛け離れて(笑)。

泉谷 学生が簿記の勉強するのに一番安全がりな方法はクラブ活動なんです。これは先輩が教えるんです。私も全部で三つあるんですけれども、だいたい3年生が教えるので、やる気になつたらすぐですね。4月に募集するでしょう。6月に2級通りますから。簿記学校に行けば、3級コースへ行つても何千円、何万円と金がいるでしょう。簿記研とか税研、会計研だつたらタダですもの。し

かも、友達ができるでしょう。その中から、また、よりすぐつて、職業会計人になろうかというのが出てきます。しかし、職業会計人になろうかと思うと、学生のクラブ活動だけではおぼつかないみたいですね。結局、最後は簿記学校に行くんです。



泉谷 勝美 いずたに かつみ

大阪商科大学卒業(昭和28年)。同年より本大学へ、現在も教鞭をふる。昭和59～65年には理事就任。堺市在住。

学生でできるのは、日商簿記の検定。あれは学校簿記に準拠しているからだと思つてね。そういう意味では職業会計人というのはまさに特殊な職業領域です。これからますますそうなるのとは違いますが。

ために最先端のことを勉強してみたいというニーズはありますでしょうか。

清水 あると思います。私も今年見せていただいて、うちの職員で母校を卒業してる者が4～5人いますので「誰か行かないか」と言つてたんですけど、今年はあまりに急で、8月に試験受けますから、行けなかつたですけれども、ああいう講座もいいと思います。



清水 幸子 しみず ゆきこ

昭和24年卒業。不動産鑑定士も併業。信条は「なせばなる」。京都市在住。

参加価値の高い会に

鎌谷 同窓会というのは、ただ単にみんなが集まつて話するとか、そういうことじゃなくて、この会に出てきたら何かメリットがある、非常に参考になるとか、そういうものになつたら一番いいですね。

たとえば、難しいかわかりませんが、税務の解釈の問題で困つてることがもの

実務世界を知ることが将来決定へ

司会 そろそろ母校への、あるいは同窓会でもけつこうですけれども、提言なり、要望なりをお話いただきたいと思ひます。

松浦 だいたい出ましたけれども、実務家の人にして話してもらつとか、そういうことを前向きにお取り組みになられたらどうでしょう。いろんな分野で活躍してる専門家の方に、卒業生の中だけでなくて、会計士協会にも窓口がありますから、そういうところにも依頼なさつて、講師派遣とか、学生に実務の世界を知るチャンスを与えてあげられたら、自分の将来像やターゲットがしぼれるから、いいんじゃないかと思ひます。

清水 私も地元の大学で依頼があつて、6月ごろの就職活動なるときに、一度話してくれと言われて行つたことがあります。税理士とはどんなもので、どういう勉強したらなれるかと、仕事はどういうことをやるのかとか、税理士のPRも兼ねていました。だからそういうことを少しなされれば、先輩でお話なさる方がいらつしやると思ひます。

泉谷 本学でも就職向けの講座みたいなものは単発的に、だいたいやってゐるようですよ。松浦 そういうものでなくて、継続して講座をもたれるという形を取られたら。

泉谷 2単位ぐらいでもいいですからね。司会 1人でなくて、グループで何回かずつやる場合もありますね。

清水 税理士さんでも、公認会計士の中でも

すごくあるんですね。会に出てきたら、そういう情報を、判断だけじゃなくて、税務署の事例とか、体験で得たようなこととか、これは間違ひなく公表しても大丈夫だということを集められるような形になつていたらいいと思ひます。みんなが集まつたときにそういうことも話すと、こういう問題が出たから、その場合はどういふふうに対応したらいいのかとか、そんなことが蓄積されて、情報がどんどん集められていつたら、会に出ることの価値も高まりますね。

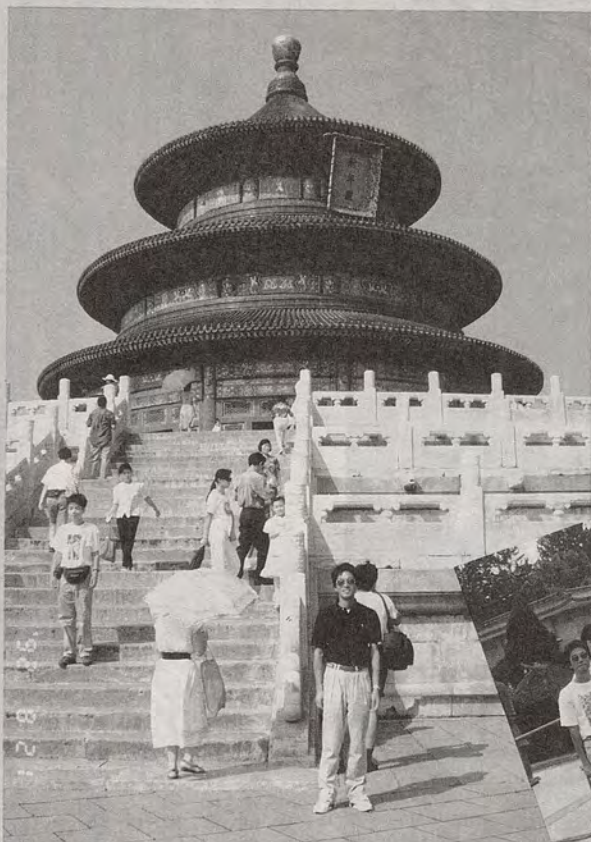
司会 研究会的な要素も、税理士大樟会にはありますね。

鎌谷 特にそういうことをしたくない人はしなくてもいいんですけど、できるだけそういうものを集めて、できれば本ぐらい出版してもいいと思ひます。母校だけでなく、それを世の中へも発表するような形でやれば、外部の企業とか社会とか他大学とかと、私ら税理士大樟会の結びつきが生まれるのではないでしようか。

そういうことになると設備とか費用とかかかるかもしれませんが、せつかく200人超える方たちがいらつしやるんだから、いろいろ情報を集めたら、けつこういいものができあがるのじゃないかと思ひたりするんです。司会 時間がきましたので、このへんで終えたいと思ひます。きょうは長時間ありがとうございました。



万里の長城／健脚コースとレディースコースに分かれていて、これは健脚コース。急坂！

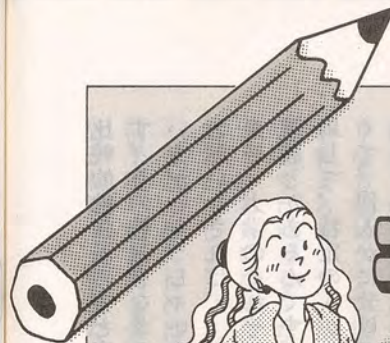


天壇公園／明、清代皇帝の五穀豊穡祈りの地。



秦始皇兵马俑博物館／多くの壺輪の群れの前で
全員揃ってのはずが…。

文化の相違を実感した
中国語研修
このたび北京経済学院で行われ
た、1992年度夏期中国語研修参
加学生13名は、当初の日程通り、
8月8日からの北京・洛陽・西安
での中国生活を終え、9月2日全
員元気に帰国しました。



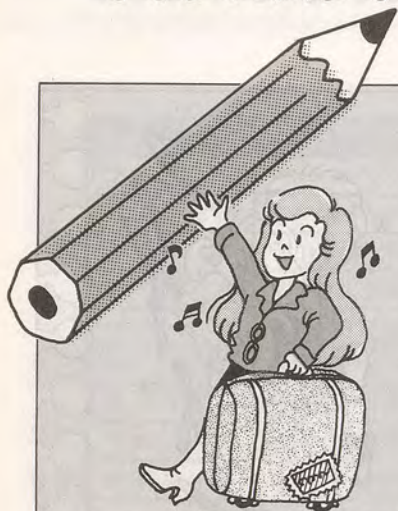
キャンパスライフ

1992年度 夏期語学研修



アメリカ・中国合同結団式

語学への理解を深めるには、その文化や
生活を直接体験するのが一番です。この夏
計31名の学生がアメリカと中国へ旅立ち、
自らの目と身体で異国を吸収してきました。



(教務部 住井 譲記)

研修プログラムは、51時間の実践英語クラスと今回特別に企画された44時間のコンピュータクラスを組み合わせた、他に例のない内容。英語のクラスにはフィールドトリップとして市長、商工会議所の訪問、地元のTV局、博物館、大聖堂、スパーマーケットの見学、美しい公園での野外授業等もありました。コンピュータクラスは外国人対象としては初めての企画だったようですが、大変魅力のあるプログラムで英語の研修としてもプラスになったと考えます。受講者全員が優秀な成績で合格し、米国の大学の2単位を正式に取得できたことは大きな成果であり、喜びでした。



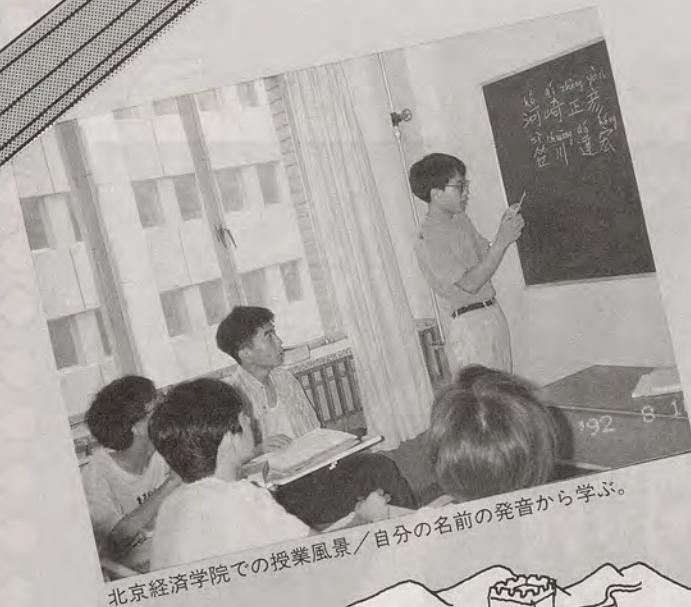
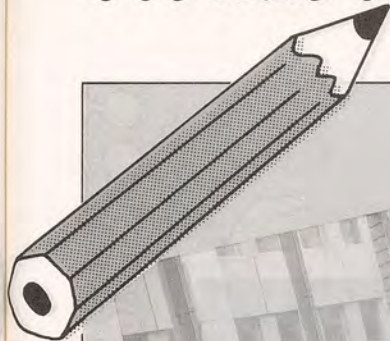
ホストファミリーの方々／机の上は本学からスピーク コミュニティカレッジズに贈った日本人形。



モンタナ州ロッキー山脈山麓におけるオーバーナイトキャンプ／広大な自然の中、いかだ下りに挑戦。



伝統あるスポークンクラブでのディナー／フォーマルウエアで勢揃い。



北京経済学院での授業風景／自分の名前の発音から学ぶ。



今回の中国語研修には、本学以外に日本の他大学、フランスの留学生など38名が参加し、初級班・中級班のクラスに分かれて、授業を行っています。自分の名前を中国語でどのように発音するかという内容から始まって、できるだけ現在の若者が興味をもちそうな話題を提供しながらの授業の進め方は、

よく考えられていると思いました。この他に、中国教育現状等の講座、市内および合併会社見学、雑技・京劇の見物など、北京経済学院の先生方は大変親切にお世話して下さいましたが、設備の面で日本とのギャップの大きさに閉口した場面も数多くありました。

(中小研 崎田 洋一 記)

自然やスポーツも満喫の アメリカ英語研修

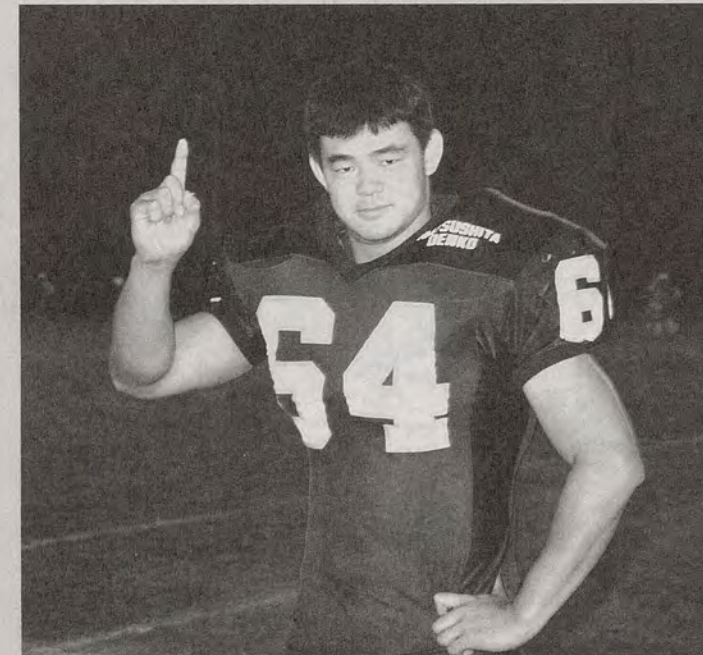
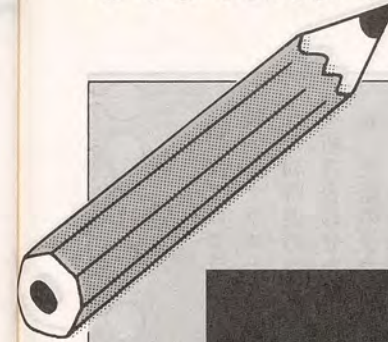
本学の主催による第1回米国夏期英語研修が、夏休みを利用して去る7月25日から9月1日までの39日間、米国西海岸のワシントン州スポーケン市スポーケン コミ

ユニティカレッジズにおいて実施されました。参加者は学生18名と職員1名の19名で、全員が当初のスケジュール通り英語ならびにコンピュータの研修プログラムを総て修了、アメリカの生活を体験し文化への理解を深めて、日焼けした元気な笑顔で無事帰国しました。



カレッジの図書館／キャンパスツアーでの1コマ。

クラブ名	活動状況・戦績
空手道部	西日本大学空手道選手権大会 出場 全日本大学空手道選手権大会 出場
日本拳法部	関西学生拳法選手権大会 出場 日本拳法全国大学選抜選手権大会 出場
柔道部	正力杯争奪学生柔道選手権大会 中村・浦上選手 出場 全日本学生柔道個人戦 溝上選手 出場
剣道部	西日本学生剣道大会 出場 全日本学生剣道選手権大会 出場
合気道部	全日本合気道演武大会 出場
少林寺拳法部	第30回関西学生記念大会 松下・塚本組 決勝進出
硬式野球部	関西六大学春季リーグ戦 第5位 秋季リーグ戦 第5位
準硬式野球部	近畿六大学春季リーグ戦 優勝 全日本大学選手権大会 ベスト8
硬式庭球部	関西大学対抗テニス2部リーグ 第4位
軟式庭球部	西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会 ベスト4 全日本ソフトテニス大会 米田・豊田組 ベスト8
サッカー部	関西学生サッカー春季・秋季リーグ戦 2部 第2位 2部順位決定戦優勝 1部昇格
ラグビー部	関西大学ラグビーフットボールAリーグ 第5位
ハンドボール部	西日本学生選手権大会 第4位 全日本学生選手権大会 出場 第12回世界学生選手権大会 森岡選手出場
卓球部	関西学生春季リーグ戦 2部 第2位 関西学生卓球選手権大会 出場 全日本大学対抗卓球大会 出場
バスケットボール部	全関西学生トーナメント大会 ベスト16 西日本学生バスケットボールトーナメント大会 ベスト8
バレーボール部	関西学生春季リーグ戦 2部 第6位
アメリカンフットボール部	近畿学生選手権大会 ベスト4
ボクシング部	近畿学生ボクシング選手権大会 出場
陸上競技部	大阪学生陸上競技対抗選手権 出場 関西学生陸上競技対抗選手権大会 出場 全日本大学駅伝 出場
バドミントン部	関西学生バドミントン選手権 ダブルス 織田・藤井組 第3位 西日本学生バドミントン選手権大会 出場
自転車部	関西学生春季リーグ戦 1部 第5位 全日本学生サイクルサッカー選手権 上林・沢田組 第6位
山岳部	南アルプス白峰三山縦走 剣岳・槍ヶ岳周回 合宿
アイススケート部	関西学生氷上競技選手権 出場
ゴルフ部	関西学生春季リーグ戦 2部 第3位 関西学生秋季リーグ戦 2部 第4位 関西学生選手権 個人戦 桜木選手 本選出場
競技スキー部	全日本学生スキー選手権大会 出場 関西学生スキー選手権大会 出場
カヌー部	大阪学生カヌー選手権大会 第3位 関西学生レーシングカヌー選手権 第4位
自動車部	全関西学生ダートトライアル選手権大会 団体 優勝 全日本学生ダートトライアル選手権大会 第12位 全日本学生ジムカーナ選手権大会 第7位
ヨット部	関西学生春季新人選手権 出場
洋弓部	関西学生アーチェリーリーグ戦 2部 第3位
重量挙げ部	西日本学生ウェイトリフティング選手権大会 芦高選手 総合 第4位
水泳同好会	関西学生選手権 水泳競技大会 出場



白岩弘司さん／松下電工フットボール場において



株式会社 松下電工屋外照明事業部
松下電工インパルスDF
(アメリカンフットボール部)
白岩弘司(56回卒)

平成4年6月6日(土)、風の強いC&C 松下電工フットボール場に、がちりとした体格の、童顔の好青年が立っていました。その人、白岩弘司は、会った人に活力を与えるファイターでした。(彼の松下電工での活躍を、マスコミで知ったOBの方も多いでしょう)この日行われた松下電工VS大阪経済大学の対抗戦も、彼がいなければ実現できなかったはずでした。

白岩家の次男として生まれた彼は、生来のスポーツ好きで、本学に入学すると、早速アメリカンフットボール部に入部し、頭角を現すようになりました。しかし、決して彼のフットボール人生は平坦なものではありませんでした。頑張っても、頑張っても、念願の1部昇格が出来なかったこと。又、大学3回生の時、腎臓を患い、フットボールは続けられないのではないかと自分自身悩んだ時期もあったそうです。そういう厳しい状況から立ち直り、フットボールができるようになったことが現在の彼に大きくプラスされています。フットボールを愛する気持ちは誰



よりも強くお持ちです。現在、母校のアメリカンのコーチを務め、インパルス対抗戦実現の功労者も彼です。

インパルスに大敗し、泣きじゃくる後輩達に、「大学生としてはよく頑張った。しかし、もっと積極性が欲しい!」といったりの言葉だけでなく、叱咤激励している彼の姿に、母校愛をひしひしと感じました。

「アメリカンフットボールは、歴史の浅いスポーツです。推薦入学で経験者を数名でも入れていただいたら強くなれるんですが!」そういう表情に自分達が実現しえなかった1部昇格の夢を後輩に託す一人のOBの姿がありました。(大門 由秀記)

学園ニュース

決意も新たに 再任のごあいさつ 理事長 鈴木 亨



今年も『澱江』発刊にあたり、鈴木亨理事長と、今期より新たに学長に就かれた上島武学長に、今後の抱負など、心のなかを語っていただきました。二十一世紀を間近に控えた今、経大とともに歩む未来への指針を感じてください。

皆さん今年もお元気で活躍なされておられますか。本学も今年に創設60周年を迎えました。待望の経営情報学科を一昨年開設しましたが、その関係もあって、60年の記念事業は特別の行事を行わないことになりました。その代

わり、同窓会の皆さまの格別のご寄付により、国際的彫刻家流政之氏の作になる彫像「花に向かって花に立つ」が、以前の「雲に向かって雲に立つ」、「風に向かって風に立つ」とともに総合テーマ「風雲花」の3部作として完成、去る10月1日、その除幕式・記念祝賀会が行われましたことは、第1作からの参画者の一人として特別な喜びを抱くものであります。同窓会の皆さまに改めて誌上をお借りしてお礼を申し述べる次第です。

この3部作は、本学の学生ならびに卒業生に、人の生きてゆく道の喜びと悲しみを暗示させ、それを通じてそれぞれの人がどの行く手に大いなる希望を投げかけることであります。

11月1日からは教学に気鋭の上島武新学長を迎えると同時に、私も理事長として続投することになりました。新学長の若さと行動力に期待するとともに、前学長山本

晴義教授には、2期6年にわたって教学に活躍され大きな業績をあげられたことに感謝の意を表するものであります。

昨年マスタープラン委員会より、昨年度の答申を受け、直ちにそれを具体化するはずのところ、種々の事情で遅れてしまったことは誠に残念なことです。今後、大学と同窓会、後援会がしっかりと手を結び、すでに始まりつつある18歳人口の激減に向っての対策に全力投球しなければ、サバイバル戦争に勝つことはできません。まず新学部は、平成6年の経営情報学科の完成年度に、直ちに申請できるよう用意する必要があります。このために皆さんとともに全力を尽くしましょう。また国際文化公園都市の園内に校地をもつ本学は、誘致に近い資格で同構想の中に迎えられるようになりますので、今後も積極的に取り組んでゆきたいと考えております。去る10月23日には、初の国際文化公園都市建設推進協議会がもたれ、大阪府知事が会長に決定しました。私も委員の一人になり、今後この事業の推進に力を入れないと思っております。

同窓会の皆さまのご健勝といっそうのご活躍を祈って、再任のごあいさついたします。

同窓生の 活躍が経大の財産 学長 上島 武



このたび、学内教職員の皆さまからのご要望を受け、思いもかけぬ大役に就くこととなりました。3年半ほど前から教務部長の職にあつて、教学運営上の問題にも関わって参りましたものの、今、学長という教学上の最高責任を負う立場に立たされたとき、想像を超えるであろう重大かつ困難な任務に想いをめぐらせて思わず身の引き締まったのを覚えています。

さて、教務部長在職中、私はいくどか各地で催される同窓会支部の会合に出席させていただく機会がありました。そのつど、同窓生

の皆さんが母校に対し熱い想いを寄せておられることを改めて認識し、これに應える責任の重さを痛感しました。また、文字どおり耳に痛いご忠告や、多岐・微細にわたる具体的なご意見を伺うこともありました。しかし、私がもっとも強く印象づけられたのは、昭和・高商以来の古い同窓生の方々はもちろんのこと、比較的若い経大卒業生の皆さんのお一人おひとりが、地域や職場で立派に活躍しておられる様子を直接肌で感じる事ができたことです。本学卒業生であることへの高い誇りを内に秘めつつ、それが他にまみ見られる過剰な優越感の形をしのばせぬこと。

この感じを具体的な言葉であらわすことは困難ですが、その感じそのものは私にとって本心に、一種新鮮な驚きであり、深い感銘を与えるものであります。これらの方々はきつと、周囲の人々のひそかな信頼と尊敬を集めておられるに違いありません。そしていつか必ずや、こういう人がどこでどういう学生生活を送っていたのかを知りたいと思ひ、かつ知っていたくことでありましよう。そしてそのこと自体が、わが経大の声望を高めるもつともたしかな保証のひとつであると思ひます。ですが

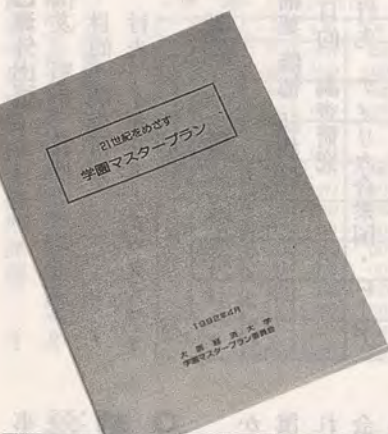
ら、こういう同窓生の存在は経大の貴重な、「活用」すべき、また現に「活用」されている財産と言ってもよいでしょう。また、このことを私たち学内者も自覚しなければなりません。その自覚の上に立つて、この激動する社会で立派に生き抜くことのできる青年を、常に周囲を理解し、周囲の信頼を寄せられる青年を育てていくこと、それを大学教育の原点と考えようと思ひます。

一方、日本の大学は今、重大な試験の時を迎えています。少なからぬ私立大学が存立の危機に直面しています。しかし、大学が真剣にこの原点の意識的実践に励むならば、活路も開けないわけではありせん。同窓生の皆さんのますますのご活躍をお祈りいたします。

学園マスタープラン委員会

学園マスタープラン委員会が答申

1991年4月26日発足したマスタープラン委員会は、この1年間本学の将来構想等について、精力的に審議を重ねてまいりましたが、この程答申がまとまりました。答申は「21世紀をめざす学園マスタープラン」として119頁にわたるもので、4月24日(金)理事長室において久保田諄委員長から鈴木理事長、山本学長へ手渡されました。



久保田諄委員長(左)が答申



講師は山根一眞氏

【新入生歓迎行事】

10:30 閉式
学長式辞
理事長祝辞
学部長・大学院委員長紹介
来賓紹介
学歌斉唱(グリークラブ)

1992年4月4日(土)、難波の大阪府立体育会館において、1992年度学部ならびに大学院の合同入学式が盛大にとり行われました。
新入生1,700余名(父母、来賓、教職員が出席しました。近年本学では女子学生が増加していますが、今年も新しく191名の女子新入生を迎え、厳粛な中にも華やかな入学式となりました。
10:00 閉式

【『父母懇談会』の開催】
4月4日(土)の入学式に参列した新入生の父母は、約700名でした。新入生と父母を対象にして、田中後援会長から祝辞と今後の大学生生活の心構えについて話がありました。引き続き、上島教務部長、松尾学生部長、松原就職部長から、

4月4日(土)午前10時30分入学式が終了後、引続いて新入生歓迎行事に移りました。
まず、NHKミッドナイトジャーナルの番組で馴染みのTVキャスター山根一眞氏の講演会が1時間開催されました。
「若者に未来はあるか」と題し、未来を背負う大学生はどのように学べべきかを、氏が毎日刻々と目まぐるしく変化する世界情勢を報道する中で何を感じているかを述べられ、聴衆を魅了しました。
その後、昼食をはさんで午後1時から、FM802のアナウンサー・ジーン長尾さんの流暢な英語を混じえた司会のもとに、音楽系クラブの在学生が思いっきりパフォーマンスを演じました。
出演クラブは軽音楽部、グリークラブ、マンドリンクラブ、ギター部、チアリーダーズ、吹奏楽総部の皆さん。

◇大学院
経済学研究科博士前期課程(修士課程) 8
経済学研究科博士後期課程 1

学部()は女子学生内数 1992.5.1現在		1年	2年	3年	4年	合計
第1部	経済	740 (66)	619 (52)	638 (45)	647 (22)	2,644 (185)
	経営	463 (59)	488 (74)	602 (52)	618 (55)	2,171 (240)
	経営情報	343 (62)	324 (31)	—	—	667 (93)
	小計	1,546 (187)	1,431 (157)	1,240 (97)	1,265 (77)	5,482 (518)
第2部	経済	97 (4)	102 (2)	99 (0)	199 (1)	497 (7)
	経営	118 (0)	130 (7)	101 (2)	149 (8)	498 (17)
	小計	215 (4)	232 (9)	200 (2)	348 (9)	995 (24)
	合計	1,761 (191)	1,663 (166)	1,440 (99)	1,613 (86)	6,477 (542)

【1992年度在学生数】

12:00 閉会
後援会活動について
事務局 佐藤 昌八
大学での勉学、学生生活の在り方等について説明があり、最後に事務局から後援会活動について報告がありました。
11:30 閉会
挨拶 後援会長 田中 博見
大学の教育について 教務部長 上島 武
学生生活について 学生部長 松尾 竹彦
就職と勉学について 就職部長 松原 和男
後援会活動について 事務局 佐藤 昌八

1 志願者・受験者・合格者状況		2 合格者の種目別内訳	
志願者数	103	卓球	3
受験者数	103	バドミントン	2
合格者数	43	サッカー	9
		ラグビー	11
		バスケット	—
		バレーボール	3
		硬式野球	—
		準硬式野球	—
		硬式庭球	—

【第5回父母懇談会】

本年度の父母懇談会は、大学において7月11日(土)、また地方懇談会は7月18日(土)広島、並びに7月19日(日)高松において開催しました。いずれも盛会のうちに無事終了することができました。
例年通り当日は、両親が揃って参加し、学生の成績に高い関心を示しました。
参加者は全体で約850名です。

【1992年度入試結果】

1991年11月8日(金)に実施されました標記入学選考の志願者・合格者状況は左記のとおりです。
(11月16日合格発表)

人事

【評議員選任】
泉谷 勝美(経営学部教授)
香積 弘晟(学生部次長)
佐々木一義(9回卒)

【理事選任】
中田 伊織(事務局長)
田所 清市(前事務局長)

【名誉教授称号授与】

1992年3月末をもって、特任教授を退職されました稲原康雄先生に、大阪経済大学名誉教授(第18号)の称号が、4月1日付で授与されました。

稲原康雄先生は昭和26年4月1日に着任され、定年まで「交通論」の講義を担当されるかたわら、経営学部長、図書館長等を歴任されました。

【新任一よろしく願います】

左記の方々が着任されました。今後の活躍が期待されます。
経営学部経営情報学科
D. Phil 英国サセックス大学
教授 伊藤 幸雄
(経営科学・モデル分析論担当)



3月27日定年退職者を送る会

【退職】

経営学部経営情報学科
教授 中岡 哲郎
(研究開発管理論・産業技術史担当)
経営学部経営学科
講師 伊藤 正之
(投資戦略論担当)
教養部
講師 家近 良樹
(歴史学I担当)

永い間ご苦労さまでした
教養部教授 元濱 清海
教養部助教授 青谷 清
事務局長 田所 清市
就職部長 小池 健達
図書館閲覧課主任 有馬 博子
学生部厚生課 吉岡 宏美
なお、元濱先生は引き続き特任教授として、また田所氏は理事として活躍しております。

【役職者一覧 (1992.11.1)】
理事長 鈴木 亨
学長 上島 武
経済学部長 土井 乙平
経営学部長 香川 尚道
経営学部長 渡辺 泉
教養学部長 近藤 秀磨
大学院委員長 浜本 泰
教務部長 北村 實
入試部長 森川 滋
学生部長 松尾 竹彦
就職部長 松原 和男
図書館長 千葉 勇夫
情報処理センター長 内海 健一
体育館長 岡本 昌夫
日本経済史研究所所長 山田 達夫
中小企業・経営 高城 寛
研究所所長 高城 寛

【海外出張】

国友 順市 教授
目的 調査研究
行先 イギリス・オックスフォード大学
期間 1992.4.1 - 1993.3.31
1993.4.1 - 1993.3.31
楠葉 隆徳 助教授
目的 調査研究
行先 アメリカ合衆国・ロードアイランド州ブラウン大学
期間 1992.4.1 - 1993.3.31

事務局長

中田 伊織

教学関係

【『古希記念論文集』献呈式】
1992年3月27日(金)午後2時から、本館4階会議室において「元濱清海教授古希記念式典」が行われました。山本晴義大阪経大会会長より「元濱清海古希記念論文集」が献呈され、その後、元濱清海先生による「古希記念講演」が行われました。先生には今後ますますのご活躍とご健康をお祈りいたします。

【1992年度入学式の挙行】



大阪府立体育会館において

就職関係

代金は700円(郵送請求の場合は送料共1,000円)。

1992年度就職状況



就職相談

学生の就職内容を見ると、大企業への就職者数828名(全就職者の56・9%)、また上場企業への就職者は643名(全就職者の44・2%)、地域別では大阪629名(全就職者の43・2%)、東京403名(全就職者の27・7%)、兵庫171名(全就職者の11・7%)と3地域で82・6%の者が就職しています。また業種別にみると卸・小売業466名(全就職者の32%)、製造業が432名(全就職者の30%)、

29・8%)、金融業が169名(全就職者の11・2%)となっています。なお求職登録者については全員が就職を決定しています。

就職説明会

開催日 4月14日(火)15日(水)
テーマ 「就職活動を始めるにあたって」

女子学生就職教育講座

開催日 4月15日(水)
テーマ 「就職活動について」
講師 日本航空スチュワーデスOG 山上恵津子氏



本館第1会議室において

就職模擬面接

開催日 4月18日(土)
講師 MRA研究所
代表取締役 赤池博氏

就職特別講演会開催

開催日 4月21日(火)
演題 「産業界の現状と将来の展望」
講師 日本経済新聞大阪本社
企画室長 溝口 勉氏

産業セミナーと懇親会開催

就職部では、全国の優良企業の人事担当者にお集まりいただき、標記セミナーと懇親会を次のとおり開催しました。
開催日 5月26日(火)
場所 大阪ヒルトンホテル
講演 「激動する世界情勢と日本経済の動向」
日本総合研究所
副理事長 海野 恒男氏

国庫助成

平成3年度私立大学等経常費補助金について
平成3年11月25日付で申請していただきました標記の件について、平成4年8月21日付で確定通知がありました。

〔確定額〕 338,967,000円
(海外研修派遣補助金
2,826,000円を含む)
*前年度比6・4%減

新刊紹介

泉谷 勝美 著
『簿記会計通論』
森山書店 1992・1 277ページ
定価 2,900円
樽本 照雄 著
『清末小説論集』
法律文化社 1992・2 470ページ
定価 7,210円
重森 暁 著
『分権社会の政治経済学』
青木書店 1992・3 253ページ
定価 2,575円
泉 弘志 著
『剰余価値率の実証研究』
法律文化社 1992・3 185ページ
定価 3,090円

本学で開催された学術講演会・学会

1992年度大阪経済大学研究会
日時 5月29日(金)午後1時30分
場所 記念館7階会議室
報告者 泉 弘志氏

【おもな就職先】

(建設)	三協アルミニウム工業	セイコー電子工業	南部銀行
前田建設工業	東アプレ	テレルモ	広島銀行
前田道路	ノーリツ	河合楽器製作所	福岡銀行
積水ハウス	吉田工業	日本コロムビア	北国銀行
竹中工務店	リナイン	(卸)	国際証券
大和ハウス工業	タダノ	野村證券	食
長谷工コーポレーション	ダイフク	ワールド	第一生命保険
(製造)	アマダ	スズケン	大同生命保険
宝酒造	東芝タンガロイ	リョーサン	東京海上火災保険
明治製菓	セガ・エンタープライゼス	キャノン販売	同和火災海上保険
東京スタイル	日本スビンドル製造	エプソン販売	日産火災海上保険
タカスタンダード	富士ゼロックス	(小)	富士火災海上保険
大王製紙	キタ	イトーヨーカ堂	明治生命保険
日本経済新聞社	沖電気工業	近鉄百貨店	安田火災海上保険
小野薬品工業	ニチコン	ジャスコ	(運輸・通信)
大正製薬	日立通工	西武百貨店	近畿日本ツーリスト
ツムラ	日立マクセル	友都八喜	全日本空輸
吉富製薬	富士通電機	高島屋	日本交通公社
資生堂	松下電器産業	ダイエー	日本通運
大陽酸素	アドバンテス	大ニチ	(電気・ガス・水道)
大日本塗料	岩崎電気	丸井	大阪瓦斯
パナソニック	三洋電機	上野電機	(サービス業)
旭硝子	キーエンス	(金融・保険)	C S K
東陶機器	三洋電機	大阪銀行	(公務)
日本セメント	ダイヘン	近畿銀行	国家
日本バルカー工業	日本電池	幸福銀行	地方
ノザワ	東急車輛製造	さくら銀行	52名
栗本鉄工所	本田技研工業	三和銀行	
神戸製鋼所	ヤマハ	泉州銀行	
日立金属	ア		

【業種・規模別就職状況】

業 種	全 社 数	規 模				
		大 企 業	中 堅 企 業	中 企 業	小 企 業	規模不明
農林・水産・鉱業	3	1	1	1		
建 設	78	56	14	6		2
製 造	432	294	98	37	1	2
卸 売	328	126	137	63		2
小 売	138	103	21	10	1	3
金 融 ・ 保 険	169	147	13			9
不 動 産	22	10	6	6		
運 輸 ・ 通 信	54	40	8	5		1
電気・ガス・水道	1	1				
サ ー ビ ス	163	50	52	38	2	21
公 務	68					国家16地方5
そ の 他	0					
合 計	1,456	828	350	166	4	108
		56.9%	24.0%	11.4%	0.3%	7.4%

【地域・規模別就職状況】

						計							計		
	大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明			大企業	中堅企業	中企業	小企業	規模不明			
北海道・東北	2					2	近畿	大阪	320	173	88	1	47	629	
関東	282	92	19	1	9	403		兵庫	97	33	20		21	171	
東	18	2	3		1	24		奈良	6	1	2		1	10	
中部	26	13	3		4	46		和歌山	4	3	3		2	12	
北陸	17	5	5		1	28		中国	14	7	8		8	37	
近畿	三 重					0		西 国	13	5	7		4	25	
	滋 賀	2	1			5		八 州	6				1	7	
	京 都	21	15	8	2	4		50	合 計	828	350	166	4	108	1,456

テーマ 「日本・アメリカ・韓国の剰余価値率について」

報告者 中尾美喜夫氏
「アイビースからみたアメリカ」

司会 小川 雅弘・六浦 英文氏
出席者 13名



報告者 中尾美喜夫氏

その他の学会

日本商業学会関西西部会 1992・1・18
「情報化と大衆文化」研究会 1992・1・20
経済地理学会関西支部例会 1992・1・25
日本リスク・マネジメント学会 1992・4・18
関西西部会 1992・4・18
関西中小企業研究会 1992・3・14

公開講座

第10回公開講座
(大阪府立文化情報センター共催)
9月17日 黒田勇氏



- ※ 朝日新聞夕刊
「瀬戸内の工場次々に変身」での談話
木村 敏男 教授
- ※ 産経新聞朝刊
「大阪を美フレッシュ」吹奏楽部が御堂筋のパレードに参加
朝日新聞夕刊
「学生に『やる気』」
ゼミ論文をまとめ刊行
松村 文武 ゼミ
- ※ 毎日新聞夕刊

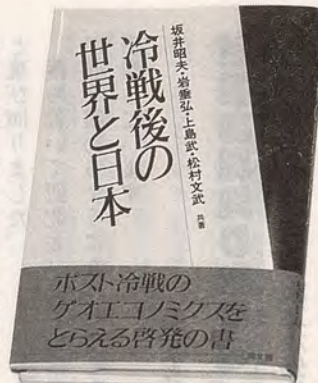


マスコミ関係

1992年新聞紙上での本学記事

- ※ 朝日新聞夕刊
「21歳未満の育成必要」インタビュに答えて
野々村 博 助教授
(高校ラグビー日本代表
カナダ遠征団長)
- ※ 読売新聞朝刊
「有働完投プロ1勝」
日本経済新聞朝刊
「新人・有働が完投初勝利」
'91卒有働克也大洋球団投手
朝日新聞夕刊(文化欄)
脱フォード主義の世紀末
山本 晴義 学長
- ※ 朝日新聞夕刊
「郵便局 居住者リスト電算化失敗」での談話
中岡 哲郎 教授
『中心性』を確保する東京
黒田 勇 助教授
- ※ 『冷戦後の世界と日本—ティーチン大阪経大—』
坂井昭夫・岩垂 弘・上島 武松村文武 共著
(同文館出版 1992年7月刊)

恒例の行事としてすっかり定着した「経大生のためのパネルディスカッション」の第7回目が1991年11月12日に開催され、盛会のうちに終了しました。



定価 1,600円

すでに第5回(1989年度)より自費出版を開始し、各方面に配布・広報してきた実績がありました。今回の飛躍はこうした過去の蓄積に裏打ちされたものといえます。今回も50通を超える感想文が学生から寄せられました。そのうち5編を「インターミッション」フロア・学生の声」として収録しています。市販の書籍に実名入りで自分の感想文が活字になったわけですので、その嬉しそうでちよっぴり誇らしげな顔が想像されます。

サプタイトルに「ティーチン大阪経大」を挿入するという出版業界では異例の措置ともあいまって本書の評判は悪くないようです。献本先の数大学(大阪市大、阪南大学、駒沢大学、関西大学等)から、すでに本書のノウハウを参考にして同様のイベントを開きたいという返書をいただいています(知的所有権保護の観点から、などとケチくさいことはこの際言わないでおきましょう)。

さて啓発の書と銘打った本書の内容についても少なからぬ反響が届いています。まだ出版後1カ月強という8月末の時点ではありますが、とくに上島論文「ソ連にとって冷戦とはなんであったか」、松村論文「冷戦後の世界経済」について言及した書状が数多く見受けられます。これを素材に、近年の激動の世界を研究者レベルでさらに突込んでダイベートするという展開も考えられそうです。

最後に、巻末附属資料の作成にご尽力いただいた図書館の担当職員の皆様を含め、数多くの教職員学生の方々に改めてお礼申し上げます。大学冬の時代を迎える次第です。「大学冬の時代」のために……経大の経験を大学改革のためにぜひ参考に……(駒沢大教授)という声を改めて紹介するまでもなく、厳しい試練に対して着実な行動と成果を大学の主体的な自己評価として積み重ねねばならないという状況認識を蛇足的に記して筆をおきます。

- 「メインテーマ」
高度情報化社会と個人の復権
「ゲーム感覚の時代を どう生きるか」
市民の目からくらしをみれば……
あふれる広告情報
かくされる事故情報
売られる情報
侵される人権
情報化の進展と翻弄される消費者
「弱者」の多弁
「弱者」の沈黙
かせぎすぎる大企業
カローシにおける労働者
ホテンされる企業
ないがしろにされる個人
いま一度、市民にやさしい社会を。
- 〔日時〕 1992年9月17日(木) 10月22日(木)
午後6時30分～8時30分
- 〔場所〕 大阪府立文化情報センター「スケジュール」
- 9・17(木) メディア環境の変容と日常生活
黒田 勇氏
- 9・24(木) 管理と情報における個人
重本 直利氏
- 10・1(木) 情報化の進展と消費者問題
三品 広美氏
- 10・8(木) 情報と消費のスペクタクル
藤本 寿良氏



「くらしと税金」鶴田廣巳氏

- 10・15(木) 個人にやさしい証券市場はあるか
樋口 克次氏
- 10・22(木) 地球レベルの市民の顔を
山本 晴義氏
- 申込者数402人、出席者数は延べ864人(内女性173人)で、好評のうちに無事終了しました。
- 【平成4年度大阪市 大学開放講座(大阪経済大学市民教養講座)の開催】
平成4年度の標記公開講座大阪市教育委員会と共催)は延べ775名の出席者を得て下記のとおり実施しました。

- 〔日時〕 5月16日(土)～7月11日(土)
毎土曜日午後2時～4時
- 〔場所〕 50周年記念館大会議室
- 〔テーマ〕 もう一度くらしを見直そう
- 「くらしと環境 パートII」
5月16・23・30日
「食の安全性を点検する」
6月6・13・20日
「会計(家計)からみた社会とくらし」
6月27、7月4・11日
伊豫田隆俊氏
- 「くらしと税金」
鶴田 廣巳氏
- 【社会人のためのコンピュータ講座】開催
8月19日～21日の3日間、経営情報センターにおいて「社会人のためのコンピュータ講座」KEIDAI Summer School が開催されました。
台風の接近による悪天候の中、約70名の方々が受講されました。講座のプログラムは左記のとおりです。
- 8月19日(木)
「本学経営情報学科のめざす教育」
講師 渡辺 泉



「データベースの操作」榎本淳子氏

- 「コンピュータ史こぼれ話」
講師 中岡 哲郎
- 「コンピュータの基本操作」
(TSS操作、電子メール・電子掲示板)
- 8月20日(木)
「オフィスオートメーションの最近の動向」
講師 定道 宏
- 「データベースの操作」
(DBの設計、DBの構築・検索)
- 8月21日(金)
「ワークステーションの現状と動向」
講師 木村伊九夫
- 「表計算による成績管理システム」
(システム設計、マクロ・プログラミング)
- 講師 太田 幸一

ダイエットで若返り

(工業経済論)

伊豫田隆俊先生
ここしばらく体の調子が思わし

さらに、平成4年6月下旬、中国経済事情視察団が、中国の経済開放特区の現況視察に成功したことは画期的なことでした。

「英語」授業雑感

尾嶋史章先生

前期の半ばに、米留留学中に知り合い、共同研究をしているアレク・ミラーさんが来日し、経大で社会学の授業をしてもらいました。要約は私が訳して喋りましたが、講義自体はもうろん英語です。2クラスの授業のうち、最初の授業

45年間を振り返る

(投資戦略論)

井上 清先生

ゼミOBの皆さん、お元気の事と推察します。小生も現在のところ元気に勤務しています。平成5年3月末で特任教授期間を終わりますが、45年の経大勤務を振り返ると感慨無量です。

昭和20年代は物質的には苦しかったが、精神的には活気があって大変なつかしいです。当時の学生諸君は、今日60歳を超えても、あの時代の積極性を失っていないように思います。昭和40年代初めの大学紛争は、最も苦しく、にがい経験でしたが、人間が極端に追い詰められるとどうなるかを、事実をもって教えてくれたのは、私にとって大きな収穫でした。

ゼミ短信



夏休みに思ったこと

家近良樹先生

4月から専任として教壇に立つております。担当科目は、歴史学と教専日本史ですが、自分の力量不足もあって学生諸君に学問のおもしろさを伝えるのに四苦八苦しているのが現状です。

つい先日(8月下旬)所用で金沢に行った折、隣席のサラリーマン氏から、その人の職場では経大の卒業生がエリートとして活躍しているとか聴かされ、嬉しく思いました。当然といえば当然のことですが、経大の発展につながることを聴くと喜びを感じます。また、この夏は研究のため、東京・金津と飛び回りました。

落ち着いて研究並びに教育活動に取り組めるようになったことを感謝しています。

(歴史学)

以後お見知りおきを

伊藤正之先生

今年度より経営学部教員として仲間に加えて頂くこととなりました。専門は「投資で儲ける方法について」なのですが、周りに目を向けるたびに、よりによってこんな悪い時期に教える立場になっ

先生の近況

「いのち」を大切に、感謝の日々
岩井茂先生



大学の施設も充実し、世間での評価も高まり、まことによろこばしい次第です。私はこの8月で満94歳になりました。頭の方は自分ではボケてはいないと思っていますが、身体の方は随所に故障が生じ、ヨチヨチと生きています。最近の心境としては、折角この世に生を得たのですから、この「いのち」を大切に持続していくのが私の使命だと感じています。それにしても年金で生活を支えられ、身近の人々にいろいろとお助けを頂いて、その日その日を送っているのですから、その点感謝のほかありません。その御恩報じの意味での「瀬江」前号に発表した色紙贈呈の提案です。この提案は私の体力の許すかぎりつづけたと思っています。

先生の近況

ゼミ卒業生の諸友に

倉辻平治先生



7月11日の第17回倉春会の集いに、ゼミ卒業生の先輩・後輩40名揃って元気な姿を見せてくれ、おかげで此の上なく楽しい一夜を過ごさせてもらいました。何かと多忙の中集まってくれた諸友に厚くお礼を申し上げます。

7月末から9月初めにかけ、例年通り、北信濃の野尻湖高原で過ごしました。ここ十数年来夏の高原生活を愉しませてくれていたトンボ、蟬なども、昨今の環境悪化で急に姿を消してしまい、淋しくなりました。

代わりに、今夏は、山小屋軒下の地面に徑四種ほどの摺り鉢形の巣を無数につくっている蟻地獄が、小さな毛虫や尺とり虫を捕えて引っぱり込むのを見て、改めて、虫類の生きざまに興味を覚えました。

パソコンに挑戦中

(社会学)

片山麻美子先生

一昨年ワープロに手を染め、最近パソコンを触るようになりました。同僚の先生方や情報センタの方にお世話になりながら、マッキントッシュを動かしてみるのですが、殆ど機械に遊ばれている感じです。

入試業務で英語の出題が増える等、やはりコンピュータは大きな助けです。しかし、目下の所、助けとなる前に操作ばかりに時間を費やしている状況です。夢はこれとどんな資料を集め、論文が書けるようになることです。

(英語)

昨年末の入院を振り返る

久保田 謙先生

昨年末はひどい目に会いました。たまたま健康診断を受けに行ったところ心臓の異常が指摘され、緊急入院とのことで大あわてしました。学年末の試験問題も看護婦さんたちの慰めの言葉を聞きながらベッドの上で作る始末でした。しかし、幸いにも私の小さいハートは手術の必要はなく快方に向かい、今では月1回の検査のための通院で何とか過ごしています。

去年NHKテレビで桜井洋子さんと対談したためか、今年の宇宙科学の受講者の数はめちゃめちゃに増えました。以前は少なかった女子学生の受講者もかなり増えて彩りを添えています。あまり変わらないのはC号館のC41号教室です。冷房が入って、夏は快適に授業を受けられるようになりました。

(宇宙科学)

三年目の夏

高津芳則先生

大阪経済大学に赴任して3年目。今年の夏は、なぜか妻と一緒に過ごす日が比較的多くあり、祇園祭と大文字の送り火に妻と二人で出かけることができました。

大文字の送り火では、夕方に妻と二人で自転車に乗り、長岡京を出発して、桂川の自転車道を通って嵐山にきました。そして、風流なお店で湯豆腐定食を食べ、いささか酔い心地のまま、桂川の川べりで多くの人たちの中に埋没して夜を待ちました。夜7時過ぎ、東の彼方に小さく「大」の字が月とともに浮かび上がると、観衆は一斉に立ち、歓声を。しばらくすると、すぐ目の前の山に舟形がともされました。はじめてテレビで本物の送り火を見ました。関西に住んでいる実感を感じました。

子どもを育てる意味

(教育行政学)

子どもを育てる意味

滝内大三先生

家庭養護促進協会という福祉団体が、親に育てられない子どもたちを育ててくれる里親を探しています。職員の悩みの種は、特定の子どもへの希望が殺到し、健康や精神面、さらには国籍や実親の事情などに問題を抱える子どもを引き取りうという人がほとんどないということです。

ある職員が「捨てられた子どもに罪はないのに、なぜ大人は差別するのか」と機関誌に書きました。

それに対して「他人の捨てた子どもを育てようという人が、可愛くて健康な子を選ぶのは当然ではないか。それを批判するのは傲慢だ」という読者の反論が返ってきました。人は何のために子どもを育てるのか。また一つ、重い問いを突きつけられた気がしています。

(教育学)

特任二年目、エネルギーが劣る

竹林祐吉先生

最近私のゼミも大分趣が変わってきました。1次募集での希望学生が少なくなり、とくに今年は全員2次募集という実情です。そうして運動クラブの学生が多く入ってくるようになり、女子学生は久しく御縁がありません。年々学生諸君との年齢的ギャップが開くばかりの上に、大病後コンパは敬遠がちだし、ゼミ旅行も黒姫高原のペンションで我慢してもらっている有様ですから、これも致し方ないことでしょう。

しかし、私はこのような老の悲哀を味わいながらも、特任2年目、何とか元気にやっています。エネルギーの大半は、相変わらず絵画と写真にぶつけています。そのうちに、また個展でもやりますか。

先生の近況

そのうち集まろう

重田澄男先生



本年2月15日に、昭和41年卒の第1期生を中心に大阪南の「いろは」で、4、5年ぶりにゼミ卒業生の集まりをもちました。皆それぞれの職場で責任ある立場にたって活躍している状況聞き、とても嬉しく感じたところです。そのうち、さらに多くのゼミ卒業生の集まりをもちたいものです。

文学老年に戻る

平 實先生



長年の職から解放され、完全な恒久失業者となり、本業の文学青年ならぬ文学老年に立ち戻りました。モリエールの喜劇「心ならずも医者にされ」ではありませんが、こちらは「心ならずも経済学徒に」だったでしょう。だが、カーライルのように経済学をデイスマル・サイエンスとは思っていません。極めて裨益すること

就職について

(商業学)

土居充夫先生
最初のゼミ生が今年4年生になりました。みんな春から就職活動に忙しくてなかなか集まることできませんでした。教師としては少し残念に思っています。

さて、人間が大規模社会で生きるために役割分担をするのはある意味で合理的です。だれもが好きで選んだ自分の仕事を他人からかけがえないものとして、その社会的意義を評価されたら、どんなに誇りを持って仕事に打ち込めるでしょうか。

しかし、現実はどうも異なるようです。うまく意義を見出せる人、見出せない人。無数のドラマが繰り広げられています。同じ人間としてただ幸多かれと祈る今日この頃です。

開かれた学府へ

(政治学)

長岡延孝先生
私は経済学部で経済政策と外国書講読を担当させていただいてます。ヨーロッパの経済・政治・社

OBの皆さん、連絡下さい

(経済政策)

樋口ゼミOBの皆さん、お元気ですか。ここ数年の景気の大きな変動の中で、苦闘しながら、一所懸命仕事に励んでられることと推察致します。中には仕事を変えた方もおられるでしょう。結婚して子供さんがある方もいるでしょう。

この夏ある期の有志が集まって同窓会が開かれました。いろいろな話が出ました。もっと大きくしようということになりました。いよいよ、そんな時期になったので

不況の明と暗

(証券市場論)

松村文武先生
今年は4年生ゼミの16名のみです。来年度京大に国内留学するための措置。大学教員26年目にして初めての1年間の研究専念ということ。

さて、今年は不況による雇用減少で、特に2人の女子は悪戦苦闘。経済は生き物の暗の面が出ています。皆さんの職場ではいかがでしょうか。

小生、広報委員長を来年3月末まで延長させられ、予算とスタッフの絶対的不足に悩まされています。経大の生き残りには不安な材料ですが、その中で面白い話題を

先生の近況

と大なる学問であつたと考えています。

然し、やはり文学は愉しいものです。文学と言っても現在、小生が打ち込んでいるのは短歌、俳句、川柳、現代詩といった類のものです。特に短歌に深入し、近刊の分も含めて10冊の歌集を上梓しました。三つの短歌結社に所属しています。老若の女性歌友が多くできたことも付加しておきます。いつも愉快にやっています。皆様の御健勝を切にお祈り申し上げます。

たまにはデタント

田中健一先生



田中ゼミ卒並びに教職科目履習卒の諸兄姉様ご活躍でしょうね。老生(84歳)引退後の昨今は、市高齢福祉課の「ホームヘルパーや配食」のお世話を受けつつ、老妻の家庭介護に明け暮れ、共倒れにならないため、時折はデタントしています。6月には40年前の教え子のクラス会に招かれ、大阪のニユージャパン(親戚経営)の別館割烹日本でカラオケで歌わされ、

一つ。恒例の経大生の為のパネルディスカッションが立派な本になり、市販されています。御一読を。
坂井・岩垂・上島・松村著『冷戦後の世界と日本——ティーチン大阪経大』(同文館、1991年7月刊)

ISDN体感中

(国際経済論)

松本良治先生

大経大に移って参りました。それはや1年半余になりました。それまでは企業戦士(のつもり)で頑張っていましたので、当初は異質の雰囲気、文化に随分戸惑いしましたが、ようやく最近、地のままで行こうと開き直っています。

先日、我が家の通信回線をISDN化しました。デジタル通信の今後の可能性を探るには、先ずは体感という訳で、家族の電話中でも遠慮なくパソコン通信を楽しんだり、マルチメディア通信に必要な機器の、次なる設備計画に思いを馳せたりしています。

将来、音声や、動画像情報を高速通信することにより、講義やゼミは、自宅の書斎から遠隔講義、遠隔指導ということになるかもしれません。

(情報通信概論)

「論トーマス・マンの心」

六浦英文先生

ドイツ留学時の収集資料(同窓会のご支援等による)並びに経大特別研究費のお陰により、左記の論文集に寄稿することができ、本の形に結実。ほっと一息。

【片山良展他編『論集 トーマス・マン——その文学の再検討のために』クヴェレ会刊(B6版447ページ 頒価2,000円送料310円)の販売元は、丸善株式会社大阪支店(電話06-25112621 振替 大阪74)または、大阪大学言語文化学部ドイツ語資料室クヴェレ叢書担当係「金子元臣・山本佳樹」(電話06-844-1151代)】

なお、幸いにも、本書は「わが国のトーマス・マン研究史上の重要な里程碑」(『ドイツ文学』)と高い評価を得ることができました。

(ドイツ語)

19年目の夏は大忙し

渡辺 泉先生

早いもので経大にきて19年目を迎えました。「少年老い易く学成り難し」、しみじみと実感しています。

ただ、今夏は大忙しです。7月に大経大税理士大樟会で講演を依

頼され、8月には経大サマースクールの講演、会計史国際会議でチェアマン、9月には北海道で会計史学会と会計研究学会。その上、夏季休暇中にもかかわらず、一本書き上げておかねばならず、気忙しい限りです。「気がつけば秋」になるのだと思います。

5月29日には、私が経大に就職した最初の税研の卒業生4人(小谷融(大蔵省証券局)、兼田俊郎(西播磨県民局)、千田吉裕(上新電気財務部)、三好隆夫(三菱銀行大阪西支店)各氏)と杯を交わし、久方ぶりに楽しい一時を持つことができました。

卒業生諸兄の更なる活躍を祈るや切です。

(複式簿記システム論)

甦る、青春の熱き心

倉春会(倉上ゼミOB会)

倉春会を、今年も7月11日レスランパレスにて開催しました。倉上先生の元氣な御姿を拝し、集まった私達も楽しい一時を満喫させていただきました。毎年4、5人は新しい顔があり、常連組も大いに期待しての参加のようです。

陶山先輩の挨拶の後、先生の講義を聴き、遠き日のキャンパスに想いを馳せた人もあったかに思い

先生の近況

本学での曰く因縁付きの「バード佐竹の女心の唄」と「千昌夫の北国の春」を唄って、特別賞を受け、喜びました。

然し、整理し纏めたい研究物が一向に進展せず、日々下学。仏国哲学者コンドルセ曰く「他人の生活と比較することなく汝自身の生活を樂しめ」と。日々を最後なりと心得て生活しております。お元気で。

ようやく見つけた愛しの住まい

橋本紀子先生



親譲りの引越越し癖も、昨年春に現在のマンションに越して以来やと治まったようです。

どうせ引越すなら勤務先に近いところにすれば良いようなものですが、相変わらず生まれ故郷の神戸を離れることができません。

私にとって住まい探しの第一のポイントは海が見えることです。山と海が近接している神戸では、海が見えるなら、海も山もいながらにして愛でることが出来ます。日によって微妙に異

晴れやかに金婚祝賀会挙行

清寿会(井上ゼミOB会)

今年4月5日の大安吉日のよき日、井上清先生ご夫妻の金婚祝賀会が、母校50周年記念館で開催されました。



恩師とともに

吉村 元伸

(40)

ます。重久先輩の乾杯を合図に、会場の其処此処で歓談の輪が生まれ、時の経つのも忘れ、日頃の疎遠を詫び、旧交を温めた次第です。学歌は松尾先輩、逍遙歌を北浦君の音頭で、まるで青春の熱き心を甦らせるが如く合唱。南出先輩の万歳三唱で宴も最高潮。来年も7月第2土曜日、この場所での再会を約束し、閉会致しました。

祝賀会が晴れやかに始まりました。

井上先生のゼミ卒業生の会「清寿会」の酒井亮介代表から、お祝いの挨拶のあと、井上先生の謝辞があり、懇親に移りました。

先生は来年の3月で特任教授を退任され、今後は研究、海外旅行、カラオケの3Kに余生を送ると意気盛んなところを披露されました。清寿会・連絡先

酒井 亮介



井上先生ご夫妻金婚祝賀会

女房参行を兼ね、中国視察へ

清寿会(井上ゼミOB会)

井上清先生のゼミ卒業生の会として初めて、海外経済視察旅行を



陝西省博物館(西安)において

中国経済の現況は、大都市では改革・開放経済の進行テンポが早く、市場経済を手探りで求め、株式会社化への転進を速めています。卒業後初のゼミ海外版になりましたが、夫婦連れの参加で女房参行の面もあり、参加者の人気は高かったようです。

次回ご希望の会員は清寿会に連絡して下さい。連絡先は前記。

先生の近況

なる海の色、山の色、たそがれていく町並みの雑踏、そして美しい夜景……。これで風さえきつくなければ最高なのですが、そうは贅沢も言えません。

この調子では、これからなかなか神戸を離れることはできません。

先生、お身体にお気を付けて

松村(幸一)ゼミOB会

先日、年に一度の松村ゼミの同窓会が開催され、旧交を温めました。卒業後18年経過した今でも10名前後の仲間が集まります。勿論、松村幸一先生を囲んでの楽しいひとときであり、学生時代を懐かしく振り返り、酒をくみかわします。決まってお世話頂くのは森仲(美知子)さんです。本当に彼女には頭が下がります。この場を借りて、お礼を申し上げます。

さて、今回の席で先生が今年初めに入院されていたとのこと。大変驚かされました。その後は順調に回復され、お元氣そうなので安心しました。今後もお体には充分ご留意頂き、本会が益々盛況になることを祈るものです。

藤森 英史

60周年を記念して新たな飛躍を

同窓会会長 磯野 斉



皆様の母校大阪経済大学は、自由と融和を建学の精神として今年創立60周年を迎えました。昨年の経営情報学科新設記念募金につきましては全国から同窓生の皆様に温かいご協力を頂き、打てば響く母校愛に感激いたしました。この募金をもとに国際的彫刻家流政之先生に「風」「雲」に次ぐ第三作「花」の制作をお願いしております。ところで、この程先生自身ご満足の名作が完成いたしました。

10月1日流先生をお招きして経営情報センター中庭において盛大な除幕式が行われました。モニメントは、高さ3・3m、重

さ6t、小雨降るなか篝火に映える白みかげ石の彫像は実に美しく気品豊かな印象を与えましたが、式辞に当たり花に向かって花に立つ、Lovely flowers. Splendid futures. こんな言葉が咄嗟に口をついて出たのも、緊張と喜びに包まれたからでありましょう。理事長、学長両先生初め教職員の方々、全国から駆けつけた同窓生の皆様と共にこの意義深い式典に参加して喜びを分かち合いましたが、ご出席出来なかつた会員の皆様には是非一度見学の機会を作って頂きたいと思ひます。

本年はこの除幕式とやらんで特筆すべき行事がありました。第3回卒業の清水好喜代君が大学創立60周年を記念して黒正巖先生の筆になる「道理貫天地」の記念碑と沢山の植樹を大学に寄贈されたこととす。その善意に対し心からお礼申し上げたいと思ひます。

学園の未来を拓くマスタープラ

ン委員会は一年の討議を経て、解決すべき課題と、着手すべき計画指針を示しましたが、受験生減少という困難な状況を目前にして、大阪市内拠点の維持と新学部増設構想のもとに茨木校地移転を如何にして実現するかは大学の浮沈をかける重要問題であります。大学と常に表裏一体の関係を保持すべき同窓会は、唯ひたすらに計画の順調な調整実現を期待するばかりであります。

山本前学長は本学発展の緊急課題は大学後援会と連携して活発な社会活動を展開することであると判断し、先ず広島、香川地区において父母懇談会を開催されました。

同窓会広島支部、および香川支部はこの大学行事の成功を願ひ、それぞれ懇談会に合わせて支部総会を開催しましたが、何れも極めて盛大な会合となり、大学の期待に応えました。前学長の新学部増設構想と経営学部大学院問題に関す

る積極的発言は同窓生一同に強い感銘を与え、高く評価されました。次に今年も計報があります。長い間、南九州支部長として同窓会発展に尽瘁された宮田順一郎君が急逝されました。その誠実なお人柄は常に会員に親しまれ、全国でも珍しい家族ぐるみの支部総会はいつも和やかな楽しい雰囲気になっていました。熊本支部開設についても、濱支部長を勇気づける助言をされた聞き及んでおりますが、まことに惜しい人を失いました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

さて、平成3年度決算、4年度予算につきましては例年の如く6月27日全国から支部長、理事、監事、100名のご参加を得て、全議案すべて滞りなく可決確定されました。ここに厚くお礼申し上げます。おわりになりましたが、公私ご多忙の中「瀬江」の編集に少なからぬご尽力を頂いた方々に深謝申し上げますとともに、国内外でご活躍の5万5千名にのぼる同窓生のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

平成4年10月

平成4年度同窓会総会を開催

平成4年度同窓会総会が、11月3日母校の50周年記念館で盛大に開催された。

◆総会セレモニー

午前11時、水納総会特別委員長の挨拶で開会。グリーククラブの学歌斉唱後、磯野同窓会会長から、開学60周年を迎えて、経営情報学科新設を祝う流政之氏の記念モニメントおよび清水好喜代氏(3)の好意による創設者故黒正巖先生の記念碑の完成を嬉しく思い、今年も元気に再会できたことを喜び合い、楽しい一日になるように願う旨の挨拶があった。またご来賓各位を代表し鈴木理事長から同窓会寄贈の流政之氏の第3作目の彫像完成を喜び、その総合テーマを「風・雲・花」とし、「風雲を乗り越えて花に到達する本学卒業生の人生の指針になるものと思う」とのお話、新学長の紹介、魅力ある新学部増設の必要性、茨木校地周辺の国際文化公園都市開発構想、大学受験生減少期を目前に、大学同窓会・後援会が一体となって難局打開に当たりたいと思う等

の心強いご挨拶があった。

新学長上島武先生からは、戦後数十年を経て、研究中心的なアカデミックな大学から教育中心の大学への脱皮が必要で、立派な卒業生を社会に送り出すところそ大学の使命。そのために、教職員一丸となって努力する旨の力強いご挨拶をいただいた。続いて、故黒正巖先生の記念碑を寄贈された清水好喜代氏と前学長山本晴義先生に感謝状ならびに記念品が贈られ、山本晴義先生からは丁寧な謝辞が述べられた。

◆総会パティー

神田総務部副部長の司会で開会。恒例の鏡開きに続く乾杯の音頭は、例年になく母校が開学60周年を迎え、人生の還暦に当たる年でもあることから、総会特別委員若手の藤原広太郎氏の発声で祝杯をあげた。

パティーは参加者のほとんど顔みしりというところで、乾杯と同時に会場の雰囲気は和やかなもの。展示室への入場者、お茶席の利用者も多く、予定の時間はあっという間に過ぎ、午後2時、乾杯の音頭と同様、総会特別委員最若手の川崎章氏(師)の音頭で万歳三唱を行い、来年も元気で再会できることを期待して散会した。

平成4年度理事會盛會裡に終了

◆日時 平成4年6月27日(土) 午後6時開会

◆場所 新阪急ビル12階・レス

◆定刻午後6時、陰下事務局長の司会で開会

◆開会にあたり、磯野同窓会長から、経営情報学科新設記念事業募金に1,200万円強の寄付を得て、昨年度鈴木理事長に目録を贈呈した寄贈彫像は今年度の総会までに完成予定であると報告。平素の同窓会運営への理事各位の協力に感謝の意を表する旨の挨拶があった。

◆議長選出 慣例によって、磯野同窓会長を議長に選任し、直ちに議案の審議に入った。

◆第1号議案 平成3年度決算について中村財務部長(3)が、平成3年度収支決算の詳細な説明を行った後、山上幹事(2)から、6月15日に監査を行い「正確かつ適正」であった旨の監査報告があった。続いて、議長が本案件について賛否を問うたところ、満場一致で原案通り承認可決された。

◆第2号議案 平成4年度予算

(案)について

水納総務部長(25)が、平成4年度予算(案)について、前年度同様、同窓会の財政基盤充実のため「特別基金組入」700万円を計上したこと等、各項目について詳細な説明を行い、本案件について、議長が賛否を問うたところ満場一致で原案通り承認可決された。

◆第3号議案その他

特別の動議・提案なし。

以上をもって平成4年度理事会は終了し、議長は閉会を宣した。

◆学校当局からは山本学長、松尾学生部長、松原就職部長、内海情報処理センター長、千葉図書館長、松村広報委員長の各先生方ならびに渡辺理事、中田事務局長、細羽大学事務部長、香積総務部次長各位がご臨席。陰下事務局長がご来賓各位をご紹介後、山本学長から、マスタープランに基づく大学の力強い今後の発展見通しの報告を兼ねたお祝辞をいただき、松原就職部長からは今年度の就職状況についてご報告をいただいた。

◆懇親會 経済学部教授松村広報委員長の乾杯で開宴、先生を囲んだり、会員・旧友同士の輪があちこちでき、和やかな雰囲気。懇親会は午後9時前まで続いた。

本部だより

平成4年度全国支部長会を盛大に開催

◆日時 平成4年6月27日(土) 午後2時から

◆場所 新阪急ビル12階・レス トラン・パレス会議室

◆出席者 磯野同窓会長以下常任理事14名ならびに東京(代理)、東海、岐阜、滋賀、京都、富山(代理)、福井、和歌山(代理)、和歌山市、大阪市、豊中、泉南、尼崎(代理)、西宮、神戸、丹有、姫路、淡路島、岡山、備後、広島、山口(代理)、愛媛、徳島、高知(代理)、香川(代理)、北九州、熊本、南九州の各支部長。

◆開 会 筒井豊中支部長の司会で開会、磯野同窓会長から日頃の同窓会運営に対する支部長各位の協力に謝意を表し、大学進学適齢者の急減期を目前にした現状を認識して、母校発展のために今後一層の尽力を要請したい旨の挨拶があり、続いて梶村丹有支部長を議長に選任して協議に入った。協議に先立って、同氏から「全国支部長会は決議機関ではないので、議長というよりはコーディネーターのような役で協議を進めたい」と

の発言があった。

◆協議事項

1. 昨年度の大学との協議について
2. 平成3年度幹事会の経過報告
3. ①特徴ある大学にするための方策について

②受験生の急減期対策について
4. 同窓会活性化のための若い同窓生の意識高揚について

など、全国の支部長から寄せられた希望協議事項のうち、共通性のあるものを選んで協議事項とした。協議事項1・2については梶村幹事長から経過報告が行われた。

◆報告の要旨

1. 平成3年10月14日(月)鈴木理事長、山本学長、田所事務局長、と会い、平成3年度の「全国支部長会」としての協議事項をまとめた。

その結果、PR活動は今後積極的に推進する。入試制度の改革は、できるだけ早い機会に実施したい。スポーツ推薦入学の合格者数を増やすことは、現状では難しい。茨木校地の見学については、いつでも応じる用意があるなどの回答があった。

2. 平成3年度幹事会の経過は、各支部長に経過報告書を配布し、とくに懸念の「全国支部長会」を理事会当日以外の日に開催する件

については、諸般の情勢を考慮して3年に一度程度とすること、その他が報告された。

3. 特徴ある大学への方策と大学

受験生の急減期を迎えるについての対策については、支部長全員が今後とも母校への積極的な協調体制をとることを申し合わせた。多くの支部長から、学校当局に対して次のような要望が出された。

- ①大学受験生の急減期を迎えるので、危機感をもってその対応策を講じてほしい。
- ②知名度を高める積極策を講じてほしい。

また入試説明会、新聞に掲載される入試案内等にも積極的に参加・掲載されるよう希望する。とくに地方新聞への掲載が非常に少ないので再考されたい。

- ③卒業生の高校教職関係者との懇談会の開催、また予備校に対する積極的な対応も必要である。
- ④経営学部にも早急に大学院を設置し、経済学部の大学院ともども内容の充実発展に努め、卒業生を母校の教員として採用し、社会的信用の向上を図るべきである。

以上の意見・要望等については、後日時機をみて、適当と思われる方法で学校当局と協議懇談することとした。

華やかに記念彫像の除幕式

平成3年4月、母校の経営学部経営情報学科が新設されたことをお祝いして、同窓会から寄贈した流政之氏作の彫像「花に向かつて花に立つ」の除幕式が、去る10月1日(木)、午後6時30分から、MIC(F)館中庭で華やかに挙行されました。当日は、学校当局から招待された学内外の関係者ならび

本部だより

に募金協力者等百数十名が参列しました。磯野同窓会長から、作者の流政之氏に対する謝辞ならびに募金に協力してくれた会員の母校愛に感謝する旨の挨拶があり、続いて鈴木理事長から「風に向かつて風立つ」雲に向かつて雲立つ」に続く第3作目のこの彫像の感性によって、「風・雲・花」として、大阪経済大学のシンボルとしたい旨の挨拶がありました。参列者代表によって、彫像にかけられた幕が引かれると、かがり火とアップライトに照らされた白御影石の幻想的な彫像が姿を現し、参列者から一斉に拍手が湧き起こりました。その後、入魂の儀、流政之氏への花束贈呈、理事長から同窓会長への感謝状の贈呈があり、除幕式は終了いたしました。続いて、本館3階大会議室において祝賀パーティーが開催され、山本学長の乾杯で会場の雰囲気はいっしょに盛り上がり、あちこちのテーブルで、作者の流政之氏を囲んで談笑される風景が印象的でした。

和やかな祝賀パーティーは、瞬間に過ぎ、広田神社宮司・中山隆氏のユニークな閉会挨拶と万歳三唱で、午後8時30分散会しました。

平成3年度収支決算書 (単位:円)

自 平成3年4月1日 至 平成4年3月31日

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	決 算 額	予 算 額	科 目	決 算 額	予 算 額
前期繰越金	13,073,694	13,073,694	総 会 費	5,156,771	5,000,000
会費収入	55,339,000	53,000,000	役員会費	1,554,000	2,000,000
総会収入	760,000	900,000	支部費	6,989,868	7,500,000
利息収入	2,475,726	1,000,000	事務費	376,332	500,000
瀬江収入	796,280	600,000	人件費	7,024,200	7,300,000
名簿収入	149,640	0	旅費交通費	2,557,090	3,000,000
雑収入	176,940	0	瀬江発行費	15,451,729	16,500,000
			名簿追跡調査費	1,722,305	2,000,000
			名簿編集費	910,188	2,000,000
			学対費	3,100,000	3,500,000
			諸会助成費	1,080,505	1,500,000
			慶弔費	141,500	300,000
			名簿発行積立金	4,000,000	4,000,000
			スポーツ・学術振興積立金	3,000,000	3,000,000
			特別基金繰入金	7,000,000	7,000,000
			予備費	(156,771)	3,473,694
			次期繰越金	12,706,792	0
合 計	72,771,280	68,573,694	合 計	72,771,280	68,573,694

平成4年度収支予算表 (単位:円)

自 平成4年4月1日 至 平成5年3月31日

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算 額	摘 要	科 目	予 算 額	摘 要
前期繰越金	12,706,792		総 会 費	7,000,000	
会費収入	54,000,000		役員会費	2,500,000	理事会・常任理事会・各部会
総会収入	800,000		支部費	7,750,000	運営費・支部総会援助
利息収入	1,200,000		事務費	1,000,000	
瀬江収入	800,000		人件費	7,300,000	事務局人件費
名簿収入	3,000,000		旅費交通費	3,000,000	
			瀬江発行費	17,000,000	
			名簿追跡調査費	2,000,000	
			名簿編集費	4,000,000	
			学対費	4,000,000	大学祭・クラブ活動援助
			諸会助成費	2,000,000	諸会援助
			慶弔費	500,000	
			スポーツ・学術振興積立金	3,000,000	
			特別基金繰入金	7,000,000	
			予備費	4,456,792	
合 計	72,506,792		合 計	72,506,792	

大阪経済大学同窓会 東海支部総会



女性参加で彩り華やか

会長らをお招きして、さる12月6日、名古屋国際ホテルで盛大に岐阜支部と合同総会を開きました。例年とちよつと趣きが変わつたのは、阿部淑子さんと伊藤郁子さん

女性参加と講演でムード一変

東海支部

東海支部がある愛知県には、平均400人ぐらゐの同窓生がいま
す。大企業の支社員がほとんどで
すから移動もかなり多いようで、支
部最大のイベントである総会も、出
席される顔ぶれがよく変わります。
さて昨年も磯野会長、渡辺名譽

女性参加と講演でムード一変

（ともに13回卒）の二女性が彩りを添えてくれたことです。あいさつをされた磯野会長が「気分がよいので、このまま壇上を降りたくない」と本音をはかれるほどのムードでした。

もうひとつは支部会計監事の井上武彦さん（31回卒）が「平成不況の出口」と題する講演を行ってくれたことです。体験を基調にした論旨で、「バブルで踊らされた全国の企業が脚下照覧、自社の原点に戻るが必要だ」と結論、出席の諸兄に感銘を与えていました。

学長先生を囲み、和やかに懇談

富山支部

平成4年度富山支部総会は、7月12日(日)富山市にて開催致しました。

本年度は、大学より前学長の山本晴義先生、同窓会本部より陰下嘉典事務局長（16回卒）、平尾哲男常任理事（28回卒）の3氏をこ来賓としてお迎えしました。

山本先生から特に将来展望として、「中長期の新学科の展望21世紀マスタープラン」が策定され、新学部増設を柱とした茨木市の校地活用の報告等は一同心強く感じた次第でありました。

高橋事務局長（34回卒）よりの

吉田 叡先生に寄せて

福井支部



学長と肩組み、学歌斉唱も

事業報告 決算報告等や役員改選の案件を承認し、滞りなく閉会致しました。

続いて、待望の懇親会は重松支部長の乾杯の音頭で始まり、和やかな気分のおかげで杯を酌み交わし、自己紹介や学生時代の思い出話に時間は瞬くまに過ぎていきました。大学への意見や質問にも、学長先生から詳細にお答えして戴きました。

そして、全員で肩を組み学歌・道遥歌を斉唱、万歳三唱し、来年の再会を期して会を終え、夜の街の二次会へと足を運んで行きました。

支部長 重松 尚 (23)

され、支部創設には、極めて至難でありました。教育熱心な、福井商業高校吉田淑先生の東奔西走のご努力で、母校の藤原光治郎教授をお迎えして発足し、今日を経ております。支部総会に当つての、献身的なお骨折と、さわやかな司会も一同和氣藹藹の中で、語り合える事が出来て、深い敬意を持っています。その先生も、35年間、商業教育一筋の労を認められ、教育功労賞等、数々の賞を受賞されて、本年3月退任されました。

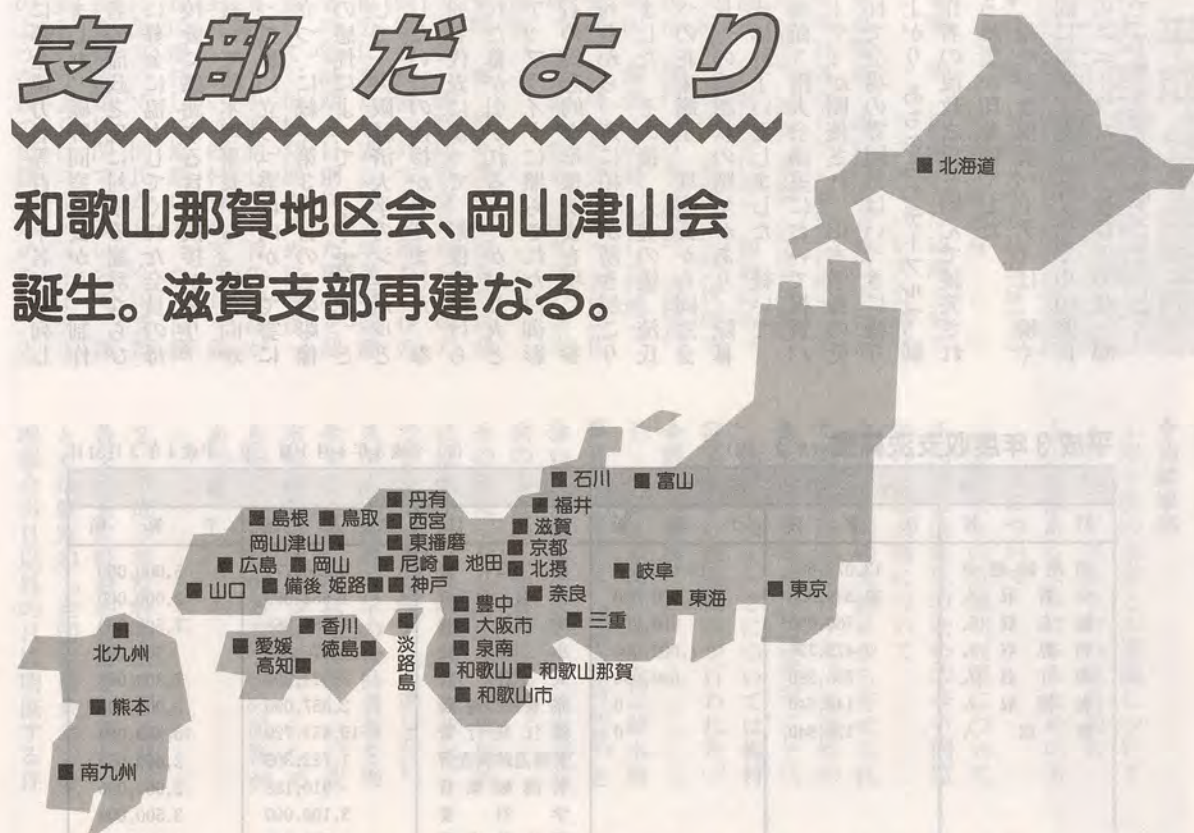
今後とも、誇りある大阪経済大学同窓会福井県支部発展の歩みと共に、一層のご指導を願つてやまない次第です。

支部長 内田 甫(6)

吉田先生を中心に和気あいあい

支部だより

和歌山那賀地区会、岡山津山会
誕生。滋賀支部再建なる。



発足10年、北の地に強い結束力

北海道支部

北海道支部の記念すべき第10回の同窓会が平成3年10月11日、晩秋せまる札幌の第一ホテルにおいて催されました。支部最年長の皆島氏（7回卒）にもご出席いただき、発足10年とは思えないほど、各年代、各界に亘る会員が集まりました。支部会員は30数名と少なく、他支部と比べ少し寂しい気がします。北海道の大地同様おそろしく、北の大地に意気投合し、これが我支部の結束力の強さだと判りました。

ている現在。平成3年11月27日、東京は新宿の「野村クラブ」で支部総会に100余名の同窓生を前に19回卒井阪支部長と22回卒の国際証券社長松谷嘉隆氏に景気の展望について貴重な資料をもとにお話をいただきました。今回の不況の底深さと景気回復時期について非情に厳しい見方を示唆され、一同その造詣の深さにあらためて感服している昨今であります。この不況の中でこそ同窓生は励み合い頑張っていきたいものです。

この写真は井阪支部長のお計いで伊豆稲取カントリーでゴルフコンペを行ったときのもので、優勝

は19回卒式村健二氏（大成建設（株）常務取締役）です。

西山 昭吾 (16)

景気動向を学ぶ

東京支部

北海道は道民一人あたりの都市公園面積、一借家住宅あたりの畳数とも全国第一位の指標が示すとおり、日本人のユートピア。また、雪落けムードの北方領土、未開発の自然など、ここにはまだまだ日本人が追い求められる夢が潜在しているとも言えます。該支部員のバイタリティーが旺盛な事も、きつとこのよき土壌が培ってくれたものだと思います。

美濃 静夫 (48)



ゴルフコンペ前夜祭(城ヶ崎海岸)

木戸支部長をよろしく

三重支部

11月10日定例の総会を松阪市の「和田金」で開催。施設、サービス抜群の「和田金」の社長が、16回卒の松田君とは、羨しいと思いませんか。蕩けるような肉の美味さに思い出話も弾んで、時間も忘れる一刻でした。初めての方が「来年も必ず出席だ」と言っていたのが何よりも心強く、再会を約しました。

大学からは中谷就職部副部長と佐藤総務課長、本部よりは陰下局長と波根部長のご臨席を得、会員21名の出席は南北に長い当支部としては盛大な方。今後大学卒の若い方のご参加を切望して止みません。永年献身的にご活躍頂いた水上支部長がご勇退。小生が継ぐことになりました。何しろ力不足、皆様の温かいご指導を。

支部長 木戸 董(9)

近江健児が集う

滋賀支部

待望久しい滋賀支部の再建が、献身的な発起人と同窓会本部のご協力によりこのたび実現しました。約700名の会員を擁する近畿圏

の支部だけに、長年の開店休業という汚名を返上するよう頑張りたいと思っております。

再建支部総会は平成4年6月6日(土)格調高い「琵琶湖ホテル」において80名近い参会者により開催されました。支部役員ならびに支部会則が満場一致で採択され、地区別幹事も決定しました。

パーティーも出席者全員が母校の思い出と近況報告を語ってくれて、ご来賓の方々の力強いメッセージも印象深いものでした。別れの合言葉は「来年は滋賀で一番 트렌ディな街、長浜で再会しよう」

支部長 正村 公一(27)



再建を祝う仲間が集結

性別上下のわだかまりもなく

京都支部

平成4年度の京都支部総会は春爛漫の4月25日、烏丸京都ホテルで鈴木理事・同窓会から陰下事務局長・波根・前田両氏のご臨席を仰ぎ、総勢40名と、滋賀支部から2名のオブザーバーをお招きして開催いたしました。

支部長・各来賓の祝詞を賜った後、年齢性別上下関係のわだかまりを省いて和気藹々の宴が進み、お互いにテーブル間の交流を行い、パーティー外交よろしく大いに飲み話し、喰べ、カラオケに、ビンゴゲームに、時の経つのも忘れて制限時間はまたたく間に過ぎ、同輩を誘い合って再度集まることを約して散会しました。

支部長 深田 稔(29)



京都ホテルにおいて

家族ぐるみでおつきあい

豊中支部

豊中支部は創立満7年を経過しました。年一度の総会を中心に趣味同好会も定着して、会員相互間の親睦も密になってきました。

平成3年度支部総会は、10月5日(土)ホテルアイボリーにおいて開催しました。梶村丹有支部長が遠路ご出席下され、親睦会は若い53回卒田中美穂さんの乾杯で始まり、一週間後に結婚する50回卒村田敏雄君の万歳三唱で幕を閉じました。



豊中百景：田能遺跡において

同好ハイキングは「みんなで見つけた豊中百景」を昨年9月20日北部、今年の5月31日南部を家族参加で実施しました。わが街にこ

優和な人間関係が自慢

泉南支部

支部総会は貝塚市名料亭「深川」に於て6月13日、市場谷楠雄君(35回卒)の司会で始まりました。



貝塚市の料亭において

大学より(教務部長)上島武先生初め(就職部副部長)中谷和一先生、同窓会より(副会長)玉岡浩先生、(常任理事)森政彦氏を迎えました。その後親睦会に入り、楽しい一時を過ごしました。泉南支部は岸和田市以南、泉南郡岬町に至る地域に同窓生500名以上がおります。会長中川克巳氏(6

二日酔いで二日続きの親睦

大阪市役所支部

回卒)を初め多数の大先輩がおり、大変優和な支部であると自負しております。現在新国際空港の工事も着々と進み、平成6年には1番機が世界各国に向って飛び立つ予定です。泉南支部同窓会も増々発展する様に会長以下努力いたします。

事務局長 車野 修三(27)



泊まりがけの親睦

那賀地区会が発足

和歌山支部

翌日は少々二日酔と寝不足ながら、関西軽井沢ゴルフ場での親睦。本年も今秋に予定をしているので、同じ職場での同窓生として、仕事に大いに活用し、また支部の発展を期していくためにも、会員諸氏の積極的な参加をお願いします。

幹事長 角谷 泰秀(29)

和歌山支部は平成2年の総会において和歌山市・紀北・紀南の3支部に分割することになりました。しかし、紀北支部の対象地区は、那賀郡・伊都郡・橋本市と広範囲になるため、まず、那賀郡地区の集いを行うことになり、世話人会を発足し、平成3年11月に初回の那賀地区の集いを開催しました。地区会長には、22期卒の中村照氏に就任をお願いしました。那賀地区会では、毎年1回の集いを計画して行くことになりました。なので、対象会員の皆様の参加をお願い致します。今後、伊都郡・橋本市にも活動を働きかけ、早い時期に紀北支部の設立を計りたいと考えています。

平松 一夫(42)

同窓生というつながりの輪

神戸支部

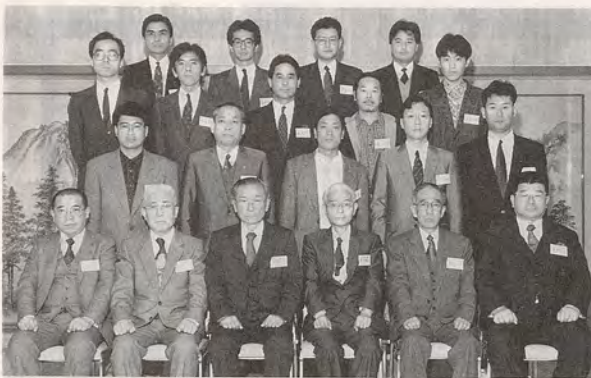
世界有数の港町、六甲山系の山裾に広がる緑あふれる町「神戸」。この素晴らしい町「神戸」に在住の人達や市内に勤務されている人達が構成されている我が神戸支部。平成3年度総会も、11月8日「神戸東急イン」において、磯野会長、山本前学長等のご来賓を初め、多くの支部会員が出席し、共に語り、酒を飲み交わし、和やかな交歓のひとときを過ごしました。同窓生というつながりのもと、日常生活で、又ビジネス社会で、



世代を超えるつながりを目指して

世代を超え、年齢を超えて、お互いに心の支えとなる、つながりの輪が大きく広がっていくことを願っております。

支部長 桐月 正邦(22)



年齢差をものともせず

支部総会は毎年10月下旬に開催。明年は支部結成45周年に該当するので、今後の支部の在り方、運営についてアイデアを乞います。

支部長 永川 仁一(6)

共通の話題で歓談 島根支部

平成4年4月5日(日)午後3時より出雲市今市東町、ホテル武志山荘において、同窓会本部から常任理事松本義和、車野修三の両氏、大学から就職部副部長中谷和一氏を来賓として迎え、開催しました。参加者は17名で、終始和気藹々裡に進行しました。



参加者全員が一言スピーチ

祝 母校創立六十周年！

席を移し、懇親会では年齢差があっても共通の話題で歓談でき、同窓会の良さを感じた一日でした。母校の発展を祈念し、万歳を三唱。次回開催地を松江市と定め、再開を約し、名残りを惜しみつつ散会しました。

浅原 宏(22)

岡山支部

わが岡山支部に於ても、永年に亘り希望していました入学試験場(一教科(英語))の岡山新設決定の通知を6月に受け取り、支部会員一同大変喜んでいました。今後は厳しい時代を迎えると言われています。

すが、じつくりと実績を積み重ね乍ら、「三教科入試」実施も期待したいと思っています。

さて、'92年度支部総会は恒例により、6月6日(土)に「まきび会館」で少数精鋭(？)の会員及び本部、並びに母校より来賓を迎え、会員の「一言スピーチ」を中心に、充実した懇親会でした。その節の「アンケート」の結果、来年より開催日を6月第2土曜日に変更しました。又、支部強化の一策として役員2名を増員しました。

支部長 村上 一夫(12)

岡山支部「津山会」発足

この度岡山県北の中心地津山市において、「津山会」が正式に発足しました。

8月22日当日は、岡山より村上支部長にもご出席頂き、参加会員15名とともに、懇親を深め、特に村上支部長から母校の近況等のお話をお聞きし、同窓生も学生時代の「思い出」を語るにつけ、メートルも上がり、早くも次回の集いが決定され、津山会は快調なスタートを切ることができました。

津山市周辺に在住の同窓生の皆さん、津山会には是非ご参加下さい。

竹本 巧(37)



快調に津山会スタート

広島支部50周年記念総会

広島支部

去る7月18日広島県民文化センターで開催されましたが、当日は奇しくも初めての試みで在学生父母懇親会が広島東急インで実施され、山本前学長先生はじめ8名の諸先生方のご臨席を賜わり、且又、全国各支部長、更に同窓会諸先輩の温かいご声援を恭しく、大成功を収めたことをご報告申し上げます。感謝。

支部長 佐々木 一義(9)

企、創、展、街に

尼崎支部

尼崎支部の結成5周年事業として尼崎支部会名簿を編集委員と役員一同の尽力でやっと発刊することが出来ました。

これを期に市役所、事業主、税理士、商工会議所、金融機関等と呼びかけ、そこに勤務されている多数の方々が自由に集まり、歓談し、情報交換の場を尼崎市総合文化センター内に設けました。企、創、展、街、をめぐり、地域と密着しながらの総会と、融和精神を基にした親睦会を去る4月24日(金)に実施いたしました。

なお、平成5年度は4月に支部総会を行いますのでご参集下さいませ。お待ちいたしています。

副支部長 神代 憲治(27)



支部会名簿発行を祝して

第3回総会の開催について

淡路島支部



出席率の高さが自慢

淡路島支部は37番目の支部として平成2年7月25日に設立発足致しました。

第3回目の総会は9月5日に淡路島の南淡町福良「三福旅館」で開きました。本部より南部俊一様、門田俊夫先生、平尾哲男様のご出席をいただいで会員30名(全会員120名)が出席し、和気藹々の内に交流を深める事が出来ました。

当支部は少数会員ですが出席率が良く、これからの大いに親睦を深めて参りたいと思います。

支部長 宝川 雅嗣(23)

会員諸兄の協力に感謝しつつ

丹有支部

丹有支部は、兵庫県の東北部で、神戸市の北に隣接した地域だと、今もなお、説明がいるようです。会員は約800名。在学生は70数名。おそらく、卒業生・学生数ともに、大経大での密度は全国的にも高いのではと思われます。

今年度の総会は7月12日、篠山町で、51名(来賓5名)。

渡辺達好大学理事、近藤秀磨教養部長、磯野斉同窓会長、前田悦子常任理事、筒井英夫豊中支部長、皆さん、ありがとうございました。



大経大密度では全国有数

年齢的に大きな差がある同窓生が集うのは、むづかしいことだが、大変意義のあることです。母校と同窓会の発展を願って、支部の一層の充実に協力したいものです。

支部長 梶村 文弥(8)

結成45周年を控え、未来を模索 姫路支部



支部を支える面々

宇宙の森羅万象は須臾も休むことなく生成流転の現象を呈しており、人生に於て絶対的なものは変化でしょう。泡経済の崩壊こそ資本主義経済の自由競争の理論に即したものでしょう。姫路支部の概要を述べてみましょう。総会開催日3年10月25日(金)於ホテルサンガーデン出席者37名 同窓生約800名(4・9・15現在)

徳島支部では、同窓生の交流や親睦の輪を広げるため同窓会事務局の「支部別台帳」を基に、役員が分担して同窓生の消息を再確認。県内在住者を中心に整備し、初めての会員名簿を約400部出版しま



徳島新聞賞を受ける林 武支部顧問

会員名簿作成

徳島支部

でよろしく願います。
尚今治地区開催に際し、会場設置からすべて池内さんのお世話になり、又タオル工場見学では、馬越君にご苦勞かけました。紙面をおかりして、ご両名に御礼申し上げます。感謝
事務局 宮崎 望(37)

何と言っても、34歳の私が若い方から2番目というのは何とも情けないと思いませんか。経大も、最初から歴史ある大学でなかった様に、最初から偉いOBなどない筈です。氣遅れせずにどんどん出席してやって下さい。

毎年七夕前後の同窓会は、恒例行事であり、私も楽しみにしておりますが、何分メンバーが固定してしまっている為、恒例行事になっているのが現状です。従って自己紹介をする必要もなく、新鮮味が全くございません。

これでよいのか

高知支部

した。会員の関係企業や協賛企業の広告もふんだんに掲載して印刷費と支部活動資金づくりにも努めました。支部活動は多忙な役員が多く、思うようにできなくて残念。支部の顧問である共栄造機株式会社代表取締役の林武さん(23回卒)が、日本で初めてのフィッシーボンなどを開発。'92年6月、地元の有力紙、徳島新聞賞(産業賞)を受賞されました。林さんは7月から世界で初めての双胴式観光船体験丸を鳴門海峡に就航させ、注目を集めています。
支部長 田中 良昌(26)

去る9月19日、第3回熊本支部総会を、磯野会長、八木田教授、水納部長、中谷就職部副部長各位のご臨席を頂き、メルパルク熊本で盛大に開催致しました。支部会員出席者14名。地方出身者の激減下では可成りの出席だったと自負しております。平均年齢40歳の若さ溢れる集団ですが、悩みは若い卒業生が非常に少ない事です。当支部も新入生を送るべく努力してまいります。大学当局も、確固たる経営理念の下、広報活動に全



支部の若返りを図りたい

若き卒業生不足が悩み

熊本支部

来年を楽しみにしております。
工藤 幸輝(47)

支部長就任の挨拶にかえて
前任宮田順一郎氏が急逝され、後任として急遽、支部長を引き受ける事になりました。鹿児島、宮崎両地区で現在約110名の同窓諸氏がエントリーされています。例会は年1回、両地区で交互に開催しています。出会者はレギュラーメンバーで停滞気味。活性化が急務です。各支部とも共通の悩みである新人(休眠会員)の掘り起こしが当面の課題です。
基本的な問題は新人に対する同窓意識の啓発と連帯強化にあるように思われます。今こそ同窓会を統合した経大アイデンティティが要請されるのでは? 熾烈な大学サバイバルの期を迎えて同窓会活動も新しい役割を担うべきでしょう。それと同窓会の活性化と無縁ではないと思われまふ。
支部長 伊伏 彰(23)

支部長就任の挨拶にかえて

南九州支部

力をそそいで頂きたいと切望するものであります。末尾ながら隣接の南九州支部前支部長、故宮田先輩のご冥福をお祈りし、全員にて黙禱を実施しました事、申し添えます。
支部長 浜 忍(35)

県内6ブロックの懇談会に参加を

山口支部

平成4年度の山口県支部総会は7月12日に大学・同窓会から土井経済学部長をはじめ4名の来賓を迎え、同窓生32名が出席して開催いたしました。
今までで最高の人数が集い、又ここ4、5年に卒業したフレッシュな同窓生の参加もある等、例年以上に盛況な総会となりました。当支部では、県内を6ブロック



初の父母懇談会後の総会



過去最高の参加人数に沸く総会

支部総会盛況会裡に終了
香川支部
去る7月19日(日)リーガホテルゼスト高松で平成4年度支部総会が開催されました。
当日は、後援会主催の「父母懇談会」が初めて高松で開催され、山本前学長以下大学側8名、山本

に分け、支部会員同士の繋がりが一層増すようブロックごとの懇談会も開催しています。近くのブロック懇談会に、是非参加してみてください。きつと素晴らしい出会いがあるはず。詳細は、事務局へ問い合わせてください。
支部長 江村 育己(29)



山本前学長の記念講演も併催

後援会長以下2名の方々が来高されていたので、父母懇談会終了後、支部総会に御出席いただきました。山本先生の「大学の現況と今後の展望について」と題する記念講演では、経営情報学科の新設過程、経営学部大学院の新設予定、茨木校地の活用計画等をお聞かせいただき、香川支部会員出席者38名一同熱心に聞き入っていました。
6時半からの懇親会では、磯野同窓会長、南部副会長、上島教務部長らとの懐かしい思い出話に花を咲かせ、盛況裡に終了しました。
支部長 岡野 敦(31)



10周年記念行事にお知恵を

愛媛支部

支部総会には、24名の同窓生の皆様の出席をいただき、昔をなつかしみ、近況報告などもあり、和気藹々のうちに盛況裡のもと散会致しました。来年は設立10周年を迎え、又役員改選の年にも当っております。何か記念行事を...と考えております。同窓生の皆さん、知恵をかせて下さい。連絡は、小野支部長もしくは事務局の宮崎ま

支 部 役 員

北海道支部 支部長 田中喜三郎	○大阪市支部 支部長 太田 一澄	岡山支部 支部長 村上 一夫
東京支部 支部長 井阪 健一	大阪市役所支部 支部長 角谷 泰秀	備後支部 支部長 小池 勝章
東海支部 支部長 加藤 正秋	北摂支部 支部長 石川 裕	広島支部 支部長 佐々木一義
岐阜支部 支部長 坪内 敏男	○豊中支部 支部長 筒井 英夫	山口支部 支部長 江村 育己
滋賀支部 支部長 正村公一	池田支部 支部長 渡辺 泰敏	鳥取支部 支部長 西山 林一
京都支部 支部長 深田 稔	泉南支部 支部長 中川 克己	島根支部 支部長 渡部弘一郎
富山支部 支部長 重松 尚	尼崎支部 支部長 小谷 芳男	香川支部 支部長 岡野 敦
石川支部 支部長 柚木 繁	西宮支部 支部長 中山 隆	愛媛支部 支部長 小野 茂樹
福井支部 支部長 内田 甫	○神戸支部 支部長 桐月 正邦	徳島支部 支部長 田中 良昌
三重支部 支部長 木戸 薫	○丹有支部 支部長 梶村 文弥	高知支部 支部長 横田 憲介
和歌山支部 支部長 松本 旬弘	東播磨支部 支部長 永井 宏	北九州支部 支部長 嶋原 正孝
和歌山市支部 支部長 坂田 文治	姫路支部 支部長 永川 仁一	熊本支部 支部長 浜 忍
○奈良支部 支部長 野尻 忠正	淡路島支部 支部長 宝川 雅嗣	南九州支部 支部長 伊伏 彰

◎全国支部会幹事会幹事長
○同幹事

宮田順一郎氏の死を悼む



南九州支部長 宮田順一郎氏が7月14日、58歳の壮年の最中、心不全で急逝されました。御家族の悲嘆もさることながら故人は噓かし無念であったに違いありません。同氏は昭和32年3月卒業（黒羽ゼミ）と同時に大阪出身の現未亡人を伴い自家営業である青果商を営む傍、青果中央市場の理事として、業界の重鎮として活躍されていきました。一方では南九州支部長として開設以来、当地の同窓会の運営に誠意努力され、温厚な人柄と相俟って会員の信頼は絶大なものがありました。

また同氏は当地国立大学を自主退学して経大に転身する程、母校への愛着は格段でした。惜しい人材を亡くし、支部として慚愧にたえません。氏の冥福を衷心からお祈りします。葬儀には遠路いとわず陰下事務局長のご参列と本部から献花を賜り、支部としても恐縮の至り、遺族に代わってお礼を申し上げます。

（伊伏 彰記）

平成4年中に開催された支部総会一覧表

月 日	支 部 名	開催の場所
2月8日(土)	北九州支部	タカラホテル福岡
4月24日(金)	尼崎支部	尼崎市総合文化センター
4月25日(土)	京都支部	からすま京都ホテル
6月6日(土)	岡山支部	まきび会館
6月6日(土)	滋賀支部	琵琶湖ホテル
6月13日(土)	泉南支部	料亭 深 川
7月4日(土)	鳥取支部	皆生シーサイドホテル
7月10日(金)	高知支部	高知第一ホテル
7月12日(日)	丹有支部	ささやま荘
7月12日(日)	富山支部	富山エクセル東急
7月12日(日)	山口支部	ホテル 石田屋
7月18日(土)	広島支部	広島県民文化センター
7月19日(日)	香川支部	リーガホテルゼスト高松
9月5日(土)	愛媛支部	今治国際ホテル
9月5日(土)	淡路島支部	料理旅館 三福
9月19日(土)	熊本支部	メルパルク熊本
10月3日(土)	豊中支部	ホテル アイボリー
10月14日(水)	福井支部	ユアーズホテル フクイ
10月23日(金)	姫路支部	北京閣
10月24日(土)	北海道支部	札幌第一ホテル
11月6日(金)	神戸支部	神戸東急イン
11月8日(日)	三重支部	和田金
11月23日(祝)	南九州支部	かごしま荘
11月24日(火)	大阪市役所支部	水桜会館
11月28日(土)	東海支部	名古屋国際ホテル
11月28日(土)	徳島支部	芳乃館
12月13日(日)	奈良支部	奈良交通本社ビル

OBネットワーク

回春の情しきり

昭寿会（第4期生会）

れ、続いて備前焼伝統産業博物館見学の後、私の母校、国宝閑谷学校の紅葉を愛でつつ散策。4時頃宿泊地牛窓町前島の「おふくろの家」に旅装を解きました。

我々の前後期卒業は史上最大の大戦に遭遇し、多くの同期生を失うことに加えて漸く老境に入り、何かと病氣勝ちになって参加者も

ホップ・ステップ・ジャンプ

昭六会（第6期生会）

年々減少し、武田先生外8名になりました。
瀬戸内の多島美、宿より左に黄島、正面小豆島、右に屋島が展望できます。時の経つのも忘れて昔を今に裸での放談、夜半に及びました。翌朝一同バスで岡山駅へ。4年度は淡路島での再会を約し解散。

参加者（写真左より）原・内田・宮平・武田先生・山本・佐々木・桜井・三木・周藤

周藤 秀夫



平成3年10月 備前・閑谷学校において

平成3年10月16日正午、岡山駅に集合。恩師武田長太郎先生を迎え、国道3号線を東上、備前刀発祥の地備前長船の刀剣会館を訪

今や泡経済崩壊の弔鐘が至る処に鳴り響いており、この崩壊こそ資本主義経済の自由競争の理論に即したものと言うべきでしょう。昭六会もホップ、ステップ、ジャンプ。即ち岡山、神戸、大阪を経て姫路での集いとなりました。卒業以来52年、千姫の非運に思いを馳せ、龍野城下で三木露風を偲び、赤穂義士の快挙をたたえつつ無事終了しました。あらまし、左記の通り。
期日6月10日・11日で2日間。出席者24名。今回は岡山に決定。
永川 仁一



昭六会

50歳若返った金沢の夜

第8期生会

第19回同窓会を6月3日に加賀の粟津温泉「天しやう閣」ホテルで開催しました。参加者は大阪経大同窓会事務局長 陰下嘉典氏、同期生23名、同伴の奥様2名、計26名でした。

初頭に、昨年中に亡くなられた2名の同期生（尾道市の故石谷孝雄君、四国西条市の故布藤尚一君）のご冥福を祈り、黙禱を捧げてから、宴会に入りました。

50年前の、あの懐かしい学生時代の気分が若返り、母校の恩師、同期生、軍隊時代など、話し合い、またカラオケで歌い、楽しく飲んで一夜を過ごしました。翌4日は、朝食後、9時半にバスで、全員、金沢市の兼六園まで直行して、兼六園・尾山神社・中央公園と市内を散策しました。

2日間とも晴天に恵まれ、特に暑くもなく、絶好の日和となり、青葉の茂る街路は皆の目を楽しませ、午後1時頃レストランの一室で昼食をとりながら、母校の益々の発展と同窓生諸君の健康を祈って、またの再会を約して午後2時頃散会しました。



8期生会（平成4年6月 加賀粟津温泉にて）

世話人代表 村山 良久

富永訓三君の受勲を祝う

ぼたん会（第8期生会）

昨年春の叙勲で、富永訓三君が、多年にわたる広島県教育界での功労を賞されて『勲四等瑞宝章』を受けられました。まことにめでた。お祝いの会をというので、

金沢から、第19回8期生会開催に就いての説明に世話人の村山良久君が来会。同窓会からは、陰下事務局長がお忙しい中をご出席下さいました。朋、遠方より来るあり、亦楽しからずやです。

彼の昭和和商陸上部時代の思い出、戦時中や広島商業高校の校長時代の苦労談など話は尽きません。友達こそ年老いてなお瑞々しさを支えてくれるものです。

彼から「皆さんが単なるお義理でなく、私めの叙勲を共に喜んで下さるのが、実感出来ました。利害関係を超えた真の友情にふれた思いがした」とのお手紙が届きました。

「ぼたん会」は、現在では京阪神に限らず、地域に関係なく同士が集まっています。卒業以来の永い人生で、はずれていたり、掛違っていた友情のボタンをもう一度

しっかりと掛け直したいのが願いです。今回は「高野山」、柴田真典君に計画を一任。

今回の出席者…伊藤 勝、浅野義逸、沢田新太郎、丹下邦夫、富永訓三、石垣俊興、林 正吉、柴田安治、河田堤作、村山良久、大橋秀男、琴野 浩、柴田秀一、関田庄司、柴田真典、長尾 晃、以上16名



富永訓三氏

『昭和和商学報』収集にご協力を！

原秀夫(4)氏からバックナンパーをご寄贈いただき、年表の「穴」もかなりふさがりました。しかし、まだ欠号があります。みなさま、収集にご協力ください。欠号／2・3・5・7・8・11・19・24・53・61・64・65・67・70号

大学企画広報課

古稀を迎えた万年青年、高松に集う

九友会（第9期生会）



平成4年6月 高松において

好を更に深めて参りました。

5日、朝からの雨が止み、太陽が照る香川県政治文化経済の中核高松の会場リーガホテルゼスト高松へ三々五々集まり、1年振りに元氣な顔を合わせました。出席者はご夫人も含めて37名。18時30分記念撮影後、同ホテルの翡翠のタミの間で宴会開始。今回は同窓会香川支部から岡野支部長、水野顧問、須和、黒川、炭山各副支部長が応援に来て下され、九友会として香川支部との繋がりが出来た事は喜ばしい事。高松在住の幹事田淵君の挨拶、支部代表の水野さんの歓迎の挨拶、毎年顔を会わず友、久し振りに参会した友、また初めて参会した友を交えて賑やかな歓談となり、歌い、大声での語り合い、そして飲み、時間の過ぎるを忘れて旧交を温め、9時全員で学園歌を斉唱して尽きぬ一夕を過ごしました。

顧みれば1974年、赤谷一郎君と同期会第1回目を箕面で開催し、その後17年間毎年関西（神戸の有馬・須磨、第10回目大阪、京都嵐山）中国（岡山・広島）中部（岐阜・高山）関東（熱海）九州（長崎）で集まり、その間九友会と名づけ、今年四国（高松）で集まり、古稀を迎えた万年青年は友

明けて6日、朝食後バスで香川県を代表する景勝地栗林公園、歴史とロマンの漂う古戦場屋島、そして四国村の見学。昼食は何といつても讃岐うどん、屋島ドライブ

ウェイの登り口にある有名な「わらわ」で桶に入った讃岐うどんとお稲荷さん。食べても食べ切れない量あり。観て、そして、食べて愉しみ、午後2時高松駅で来年元氣に逢いましょうと再会を約して解散し、2日目の集いは終りとなりました。

卒後はじめての友を迎えて

第11期生会



平成3年11月 大阪・梅田において

校務が多忙の中、鈴木理事長先生、藤原先生及び同窓会から磯野会長、陰下事務局長がご出席下され、母校の現況と今後の展望について詳しくお話がありました。

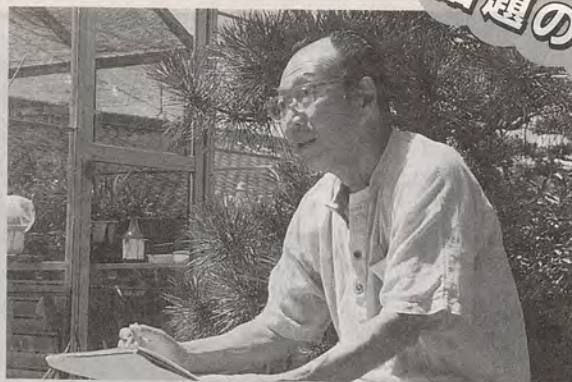
今年は、防府市から佐藤喜信君、名古屋から青山貞二君が元氣な顔で出席しました。両君とは卒業以来という人が多く、懐かしさで話題が拡がりました。会は、恒例となった各人の近況報告が中心で色々な話が出ましたが、同期生全員が古稀前後になると、やはり健康に関する発言が多い様でした。

平成3年度の第11期生会は、11月15日（金）「レストラン・パレス」において開催しました。当日は、

出席者 青山・井上（豊）・伊東・井口・岩谷・大島・佐藤・坂田・重里・武田・伊達・土屋・西浜・北條・村田・桑津・筒井 英夫

OBネットワーク

話題の同窓生



自宅の庭でスケッチする西丸さん

40年余の油絵を 自費出版

日曜画家を楽しむ同窓生は多いはずですが、画歴40年余、個展のかわりにと「私の画集」を出版した仲間がいます。半田市富士ヶ丘1-2-4、前愛知中央生協理事長西丸全一さん（18回卒）で、書画には造詣の深い渡辺達好名誉会長も「これは玄人もハダシや、あり

がたく母校の図書館へいただく」と昨年の支部総会で舌を巻かれました。

絵を描き始められたのは中学時代からで、大阪経大時代も約2年間は、天王寺美術館付属研究所へせっせと通いましたとおっしゃいます。初めから「絵に深みが出る」と油絵に没頭、これから絵を始めたいと思う同窓生にも「手っ取り早く水彩画や水墨画を始める方も多いが、最後に打ち込めるのはやはり油です。基礎はカルチャーセンターなどで簡単に勉強できます」とすすめられます。

画集に収められた作品はチャールズ会全国大会入選作の「京都土産物産（八号）や「奈良南門堂（六号）」などカラーで油絵35点、デッサン6点、彫塑1点など。費用は200万円をちよつと超えたそうです。

閑静な住宅地にある奥様と二人暮らしのしよしやな住いで、西丸さんは薄くなられた頭へ手をやりながら「仕事も一段落、人生の節目を迎え、せめてもの感謝の気持ちで」と明るい笑顔で語ってくれました。

（東海支部長・加藤記）

幽玄の世界に青春の一駒を想う

ひとみ会（第13期生会）



平成4年6月 犬山ホテルにおいて

降る花火を仰ぎ見ながら、ふとそれぞれの頭の中を過ぎる青春の思い出の一駒がよぎって行ったのではないかと感じました。

翌日は、犬山焼の窯元と名物豆腐田楽美味組、信長のオープンセツト見学組とに分かれましたが、来年も必ず元氣で再会する事を約し散会致しました。

阿部 淑子

ヤブツバキを体育館前に

ひとみ会（13回生）出版記念植樹

9月12日、ひとみ会は平成元年出版の『青春の記録』を記念して体育館前にヤブツバキを植樹。唯一女子だけの学年ひとみ会らしく、花も実もなる常緑樹。これから生育が楽しみです。



6月1日木曽川鵜飼開きの日、犬山ホテルでひとみ会を開催。心配していたお天気も快晴に恵まれ、23名もの参加を得て幹事も大感激。何十年振りの再会もすぐに交え、話はだいに弾み、ひとみ会の今後の規約変更等活発な意見が飛び交い、瞬く間に時が過ぎました。

宴も終り、全員で木曽川畔へと待っていた様に多々彩々の花火が美しく夜空をこがし、川面には鵜飼船の篝火が赤々ゆれ、暫し幽玄の世界に入った気分になり、私は

みんな元気です

東京ひとみ会 (第13期生会)

「東京ひとみ会」の集いは、秋に横浜で開催予定ですので、今回は近況のみお伝えいたします。

東京は総勢12人ですが、お孫さん誕生で多忙な大場さん、北住さん。今なおキャリア・ウーマンの江川さん、鈴木さん。姑さんとのつき合いを大切にいられる三好さん、山田さん。海外旅行続きたった西村さん。暇がありそうでない大草さん、久野さん、松岡さん、

米田さん、私と、状況はさまざまながら、皆何とか息災です。

5月15日、久野収先生が「日曜クラブ」で市民権の話をしてくださり、同期数人と久保(富岡)さん(元母校職員)が参加。先生の82歳とは思えぬお元氣さ、普通通りの弁舌の冴えに接してうれしく、たいへん励みになりました。

小駒(佐々木) 葉子

一期一会の集い

第14期生会



平成4年5月、白馬において

柴田さんのお世話で、白馬神城にある鷹野さんのペンションで、14回生の会を持ちました。22名の一行は、戸隠の両神社参拝、大王ワサビ田を散策したり、バスの窓より立山連峰の灰色の稜線が雨中にくっきりと現れたのを眺めて、娘の様に感激しました。夜はまた、四十数年の昔日に時を戻し、懐かしい学生生活の想い出を、又出席されなかった友達の近況を伝え合ったり、夜の更けるのも忘れて語り合いました。

OBネットワーク

最後に、磯野同窓会長の健康法を実地にやってみましたが、その体の軟らかいこと、20歳の隔りがありながら、ただただ啞然とするばかり。同窓会の健全さを、

目の当り見た思いです。磯野会長並びに、わざわざご出席いただいた井上先生に心から御礼申し上げます。ペンを置きます。

松本 義和

年に一度はお会いしましょう

第23期生会



平成4年2月 大阪・心斎橋において

今年も恒例の2月11日に大阪心斎橋筋の富久屋ホテルで23期生29名と、来賓に田所大学事務局長、陰下同窓会事務局長を迎えて盛大に例会を開きました。遠くは広島より辻君、岐阜より矢井君等が参加して、1年振り又2、3年振り或は何十年振りの人もおり、午後からの4時間程を楽しく過ごしました。

尚、今回も「当日都合つかず欠席」との返信ある人73名の葉書は全部コピーして出席者全員に配布しました。皆懐かしく読んでおりました。

又23期生大樽会ゴルフコンペも年に2、3回開催しており、今年は4月と8月に行われました。参加希望者は幹事迄連絡下さい。平成5年2月11日には是非ご出席して下さい。年に1度位は楽しく話し合いたいものです。

酒井 弘光

ひたむきに生きて来た戦中戦後。ふと我に返ったら、私達の時代は遠くへ去り、でも平和な世になっていました。これからは、貴重な人生を心豊かに生き、1人でも多くの友を誘って、一期一会の集いを持ち続けよう、と次期の再会を誓いました。

今も変わらず、打って一丸

第16・17・18・19回合同同期会



平成4年9月 大阪・梅田において

平成4年9月12日(土)、梅田花月東隣りの本むさし会館で、16・17・18・19回卒の合同同期会を開催しました。

16回と18回は経専卒と大学1回卒、17回と19回は経専最終卒と大学2回卒。4期合同とはいえ、実質は2期合同です。

この2期は、共に大学昇格のために、打って一丸となって努力した世代。上級・下級もあらばこそ、ダンゴになって苦労を分か合った仲なのです。その連帯意識は強烈で、今日にまで及んでいます。学歌、逍遙歌、校章を作ったのも、この頃。大学の今日の基礎を築いたという自負があります。ただ残念ながら、全員60歳を越え、話題は専ら健康問題。

ペンション ティオ・トッカー
長野県北安曇郡白馬村神城222
0312664
026117513715
学生さんのご利用もよろしくお願います。

杉本(魚本) 政子

南紀の海に心を休めて

寄多郎会(柔道部OB会)



平成4年5月 南紀白浜において

寄多郎会は柔道部OB24期、27期が毎年交替で幹事を担当、今年27期が幹事を務めました。

5月16、17両日、吉田、三輪、的野、車野各夫人を含め計16名が白浜、浜木綿荘に集合致しました。すぐに名勝千畳敷、熊野水軍の隠し洞窟といわれる三段壁洞窟を散策。心やすらぐ南紀の海を楽しみました。夜は賑やかに海の幸に舌鼓を打ちながら、学生時代の話に花を咲かせ、又横浜大洋で活躍中の有働投手が明るい話題として提供されました。学歌、逍遙歌を全員で合唱し、一応幕とし、翌日は童心にかえり、遊びの王国アドベンチャーワールドで喚声を上げ、午後2時頃来年の再会を約し、白浜駅で帰途の無事を祈りながら解散致しました。

梅垣 皖洋(27)

同窓会全体の発展をめざして

芸術会OB総会

平成4年7月4日(土)、5日(日)の両日、滋賀県大津市「ロイヤルホテル雄山荘」において、第21回芸術会OB会総会を開催しました。

今年も来賓として、内海教授並びに陰下事務局長にお越しいただ

お店拝見

味の芸術に生きる

池田支部同窓の元気印2店をご紹介します。

その1

「活魚料理 源宗」

第20期富阪源次郎さん経営



池田市豊島北1-5-3-51

☎0727-51-7361

鯛、ヒラメの生造り、ふぐ鍋、特に鯛素麺は天下一。

その2

「かつぱう ふる里」

第28期伊藤勝康さん経営



池田市満寿美町1-10

☎0727-52-1804

ハッピー、ハチ巻き姿の5人衆。バックミュージックは民謡。

若者でムンムン。揚げ出し豆腐で最後の仕上げ。

わが池田支部巣立ちの店。



池田支部長・渡辺記

平成4年6月21日、大阪OMMビル「東天紅」において、旅行研



旅行研究会創立30周年記念パーティー
平成4年6月 大阪天満橋において

究会OB会の設立・組織化及び創立30周年記念パーティーが開催されました。

当日は顧問の内海教授をはじめ同窓会の陰下氏及び佐藤氏を来賓に迎え、OB1期生から現役1回生まで81名が参加し、同輩、先輩、そして後輩と杯を酌み交わす内に30年間の思い出話に花が咲き、あつという間の楽しい3時間でした。

参加者全員、次回総会での再会を楽しみに散会しました。

なお、次回の総会は
平成5年6月13日(日)
大阪市内で開催予定です。

大八木 傳一郎(37)

旅研創立30周年パーティー開催

旅行研究会OB会



ワンダーフォーゲル部 OB総会
平成4年6月 高槻において

6月6、7日、高槻かじか荘において、各界に活躍の諸氏にお集まり頂き、OB総会を開催致しました。

役員改選をおこない、委員長は

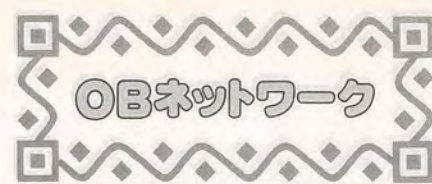
6月6、7日、高槻かじか荘において、各界に活躍の諸氏にお集まり頂き、OB総会を開催致しました。

尚、記念行事に付きましては、詳細が決定後、案内状で通知致しますので、奮って参加し、記念行事を盛り上げて頂きますようご協力お願い申し上げます。

高橋 浩行(50)

西山委員長、高橋会計担当よろしく

ワンダーフォーゲル部OB会



OBネットワーク

Topics

「経稜」第4号発行



山岳部OB会報「経稜」第4号が発行されました。卒業以来疎遠になりがちなOBと現役を結ぶパイプ役の同志は、山行記録を中心に、行事報告、現役紹介、総会資料等で構成されています。(発行年1回/44頁/B5)

役員紹介

会長 林 幸生(49年卒)
事務局長 井上 学(52年卒)
理事 田中 進(58年卒)
岩崎由紀夫(59年卒)
野沢克弘(60年卒)

海ゼミ出身の参加者が多かったこともあってたいへん盛り上がり、懐かしい話に花を咲かせました。

当会は、自身発展もさることながら、他の同窓会支部とも積極的に交流を深め、同窓会全体の発展に寄与していきたいと思えます。

安封 尚樹(63)



第21回 芸術会OB総会 平成4年7月 大津市において



昭蹴会 平成3年11月 神戸において

「たゆたえども沈まず」を願う

昭蹴会(サッカー部OB会)

昨年11月22日(金)、昭蹴会例会が神戸・中山手・「ポテトチップ」で開かれました。直前に陰下同窓会事務局長が体調を崩され、出席取消となったので出席者8名の内輪だけの会合となりました。

恒例により特別出席の小原(27回卒)・中村(23回卒)から器用さは突出しているが、他はいささか貧弱であるなどとサッカー部の現況報告を受けながら、併せて体力的にも精神的にも力の安定したチー

ムづくりに就て、様々な角度から意見が交換されました。

12月8日が近づいていたこともあって新聞をはじめ、すべてのマスメディアが真珠湾・開戦をとりあげていましたが、我々がサッカーに明け暮れ、勝利の喜びや敗けの屈辱感を味わっていたのが丁度その頃に当たるので、半世紀前の昔話を中心に遅くまで話がはずみました。

パリー市の標語に「たゆたえども沈まず」というのがあり、古くから物資輸送の大動脈セーヌ川を航行する船乗り達の強い風雨にも負けぬ心意気を表わしたものであるとのコラムを読んだことがありますが、サッカー部は秋のリーグ入替戦に敗れ、2部に落ちたとの知らせを受けましたが、彼等も叡智と努力に依って「たゆたえども沈まず」でいてほしいものであります。

出席者 長尾 晃(8) 木口正勝(9)
加頭興治(10) 田中義一(10)
諸田 実(11) 坂田文治(11)
中村 勲(23) 小原友行(27)

モンゴル科学院Serjavさんが中小研を訪問



前列左がSerjavさん

去る3月21日(土)、モンゴル科学院北東アジア研究センターのBalsan Serjavさんが来所。氏は日本研究、なかでも日本の中小企業に興味を持たれ、流暢な日本語で歓談されました。今後、相互に資料の交換を通じて交流を行うことになりました。



税理士大樟会 平成4年7月同窓会ホールで

OBネットワーク

兵庫県川西市役所の職員を主とした大阪経済大学同窓会グループ「大樟会」は発足して、はや15年目になります。現在の会員数は、特別会員を含め33人です。活動内容

さる5月16日、'92年度二期寮友会が宮崎シーサイドホテルフェニ



二期寮友会 平成4年5月 宮崎において

ックスで開催されました。当日は体調を気使いながらも、気力で参加していただいた井手口先生ご夫妻をはじめ、現地で後輩寮生が合流、総勢14名となりました。翌日は観光組とゴルフ組に分かれ、南国宮崎での一日を満喫しましたが、同期の福田君(フェニックスカントリー支配人)にはホスト役として大変お世話になりました。「来年は是非富山で再会しよう」ということになりました。2期生ならびに地元の寮友会員は奮ってご参加下さい。なお、残念ながら「我等が青春の砦、江口寮」が崩壊の危険性のため8月に全面取り壊されました。賀谷 勲(32)

今年は宮崎、来年は富山

(二期寮友会)

「明日への活力」となる楽しい一時を

川西市役所大樟会

は、毎年定例的に新年会(または忘年会)、有志によるゴルフ大会を開催し、会員相互の親睦を図っています。今年は2月に、同窓会本部の玉

ホットインタビュー

国際親善に活躍、

イザベル・ラ・カトリカ

勲章を受章

神戸市地下街 相談役

長島 隆氏(9回卒)



初秋のある日、本年5月スペイン国から勲章を受章された長島隆氏を、神戸三宮の国際会館にある小奇麗な事務所にお訪ねしました。今回受章された勲章は、スペイン文化研究や文化交流の功績に対し与えられるものであり、氏がスペインを中心に国際的に活躍しているギター奏者鈴木一郎氏、ならびにスペインの著名な画家モデスト・クシャール画伯との親交・応援、さらに画期的な諸絵画展を日本各地において実現させたこと等によります。そんな氏は社会人になってから海外を含む登山を愛し、その縁で神戸ブータン友好協会を設立、その会長を12年も務めています。このように氏は、ロマン豊かな「人間関係」の達人であり、官財界との交流も広く、栗原小巻後援会の主要メンバーでもあります。

岡副会長(市内在住)、陰下事務局長をお迎えし、また、市教育委員としても活躍していただいている特別会員の大槻先生にも出席願ひ、盛大に新年会を開催しました。新入会員の出席があったので、あらためて各自自己紹介をした後、玉岡副会長、陰下事務局長、大槻先生のスピーチをいただきながら、懐かしい大学時代の話などに充分花を咲かせました。宴たけなわとなったところで、学歌・学園歌、逍遙歌を全員で合唱し、終始なごやかな雰囲気のもと、「明日への活力」となる楽しい一時を過ごしました。幹事 北林 安弘(40)

未入会の税理士さん、ご一報ください

税理士大樟会

続いて渡辺泉先生を講師にお迎えして、意義ある第2回研修会を行いました。終了後の懇親会では出席者全員が和やかな歓談となりました。本総会で磯野齊会長が勇退され、後任に佐藤順郎先生が就任されました。尚、未入会の税理士登録者は事務局までご一報下さい。事務局 佐藤 吉春(30)



川西市役所大樟会 平成4年2月



一方、信条は「自分の言葉に責任を持つ」と言われるようにサムライ的雰囲気を持った紳士です。ちなみに、学生時代はサッカー部黄金時代の副キャプテンとのこと。再訪し、神戸市の行政や軍隊時代の思い出をお聞きしたい先輩です。(神戸市出身71歳。昭和商卒後3年間軍隊、復員後神戸市へ奉職、秘書室長・市民局長等を30年余勤め、神戸市地下街(株)専務・社長を経て現職。家業の(株)六甲牧場の元会長・現相談役でもある) 波根 伸俊記

ホットインタビュー

新進のトレーニングコーチを訪ねて

ワールド・ウイング代表取締役
小山 裕史氏（46回卒）

まだ梅雨だというのに夏を感じさせる日差しの中、鳥取駅に降り立ちました。そこから10分程歩くと、小山裕史さんが経営する総合トレーニングプラザ「ワールド・ウイング」があります。



株式会社ワールド・ウイングエンタープライズ代表取締役。宗兄弟マラソン、斉藤仁（柔道）、黒岩敏幸（スピードスケート）等、多数のオリンピック選手の手掛ける。自らもボディービルダーとして数々の優勝経験あり。

まず、トレーニングルームを見学した後、いよいよ小山氏と対面しました。過密スケジュールの中、

30分程のインタビューでしたが、気さくで爽やかなお人柄がうかがい知れました。学生時代の思い出としては、大阪中央市場でのアルバイトと読書、トレーニング、そして、大学の自由な雰囲気のこと。複数著書のうち、『新トレーニング革命』（講談社）が国際ブックフェアに出品され、数カ国で出版される予定。なお、スポーツエッセイ『夢の途中で』（講談社）は読んで楽しく、教えられるところがたくさんあります。



厳しさの中にもたいへんユーモアのある方で、たのしくインタビュースさせていただきました。どうもありがとうございました。

川崎 章記

幸福会社の父さん

大津市企画調整課

寺田 智次氏（40回卒）

大学紛争まっただ中の時母校を卒業、大津市役所に奉職。商工課、観光課、葛川少年自然の家、花博出展室を経て、現在企画調整課勤務。職場ではチョコカ（おつちよこちよ）で憎めない性格）と呼ばれています。広い視野で自治体の課題を考えようと氏をはじめ職員仲間4名で「山水会」を結成、意欲的に論文を発表。多数入選した論文を子供達にも理解できるように優しく書き直し、このたび一冊の本にして自費出版されました。



同書『幸福会社の父さんたちは考える（11人の子どもたちへ）』（近江文化社刊／発売元：海青社）は全国で大きな反響を呼んでいます。「市役所を幸福を市民に与える会社



と例え、地方自治体につとめる人の役割にサービスを問うこの本は、全国の地方自治体職員や経大OBにぜひとも読んでいただきたい」と氏は言われます。現在「熱心運動」を企画し、30、40歳の職員と共に活動中の氏は、今後市役所以外での勉強会も行いたいと情熱的。



（滋賀県市町村職員のバスケットボール大会事務局／浜田幸策ゼミ／趣味は知らない人と出会うこと・張り絵・ものを作ること／妻・一男・一女の4人家族／好きな言葉「弱いことは恥ではない」島崎藤村）

藤原 広太郎記

OBネットワーク

ブック・ギャラリー

『土肥一族』

土肥 喜久男(8)著
自費出版

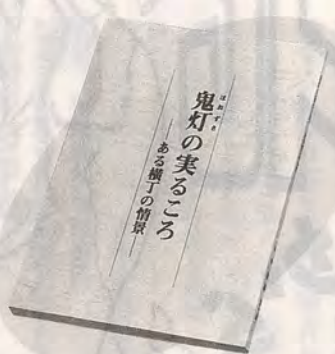


人は定年を迎えるようになって、これで一区切りという感慨が、こんなにちの自分を見つめ直すきっかけを作る。自分をこんなに生かしてくれている過去の人たち―先祖人―が無性にいとしく感じられる。

ルーツ探しは、文献検索に始まり、膨大な史料の解説とたいへんな難作業だが、史実を冷静に受け止め、忠実に表現されている。土肥一族、ゆかりの人々のために書

『鬼灯の実るころ―ある横丁の情景』

伊藤音七郎(6)著
イトー・フレンズ出版部



いたと著者は断っておられるが、一般読者にも日本史を読む楽しさ、面白さが十分伝わってくる。裏付け資料の乏しい部分は苦勞された所だろうに、その扱いは身内意識をできるだけ避け、素直に記述されているのでかえって好感がもてた。

著者は昭和商高を昭和16年卒業。天下の日本銀行畑を永年精勤。昭和56年定年退職。目下悠々自適。

前田 悦子記

『関西系総合商社』

辻 節雄(29)著

現、愛知女子短期大学教授

晃洋書房

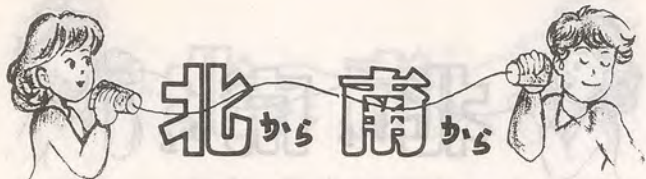
毎年就職シーズンになると、学生の人気企業が発表されるが、上位ランクにはつねに大手総合商社の名がある。世界を相手に活躍す



るエリートビジネスマンの姿をイメージするのであろうか。戦後の経済成長と共に貿易立国の尖兵として海外市場を開拓して来た商社は、ラーメンからミサイルまで、といわれるように、その活動はあらゆる分野に及ぶが、その全容は案外知られていない。

ここにご紹介する2冊の本は、財閥系の三菱商事、三井物産、関西系の総合商社を、歴史的過程と現状のそれぞれ異なった視点から解明されており、興味深い。

吉村 和利記



北から南

同窓の皆様お元気でいらつしやいますか。15回の皆様のお顔が一入々々浮かんで来てお逢いしたい気持ちで一杯です。私も6月6日に新田恭子さん、数井安子さんと三人で信州・奈良井宿に旅しました。毎年名古屋で落ち合い、上高地、高山、伊豆等旅する事になっています。又、牧田さん、吉田さん、鮫島夫妻と5月連休、夏休みとゴルフの会も楽しんでます。母校で得た財産は何と言っても友達です。生涯の伴侶が第一ですが…。最近、大好きなコーラスのグ

友情は今も変わらず

平石(原田) 瑞子 (15)

と自分達の就職難だった事を思い出します。私など入学した時は戦時中でしたので、3年生の時、男子の出征される方々をお見送りした事もありました。

昨年東京支部の同窓会に初めて出席いたしました。立派になられた同窓の方々に囲まれ、とてもなつかしく嬉しい一時を過ごさせて頂きました。母校の益々のご発展と同窓の皆様のご健康を心よりお祈り致して居ります。

社会人としての心掛け

松本 三喜男 (17)

母校を巣立ち、40年が過ぎました。目下タイやモンドエイジの真最中―現役定年後「農林年金福祉団」という公益法人に勤務しております。長い社会人生活ですが「誠実」であり、「積極性」を持ち、雑学を学び、「才識を持つべく努め」、「自助努力」を重ねてきました。随分と立派に聞えますが、文字にするとうとうこのことです。最後に学生諸君に社会人として基本的な大切なことを自省をこめて提言しましょう。①数字に強くあれ ②声をはっきりと大きく出せ ③人前で臆するな ④仕事の作品を残せ

止揚する学園

細井 幸喜 (18)

昭和27年3月23日は大学第一期

「活力」こそ生命の源

伊藤 勝 (8)

魚屋さんに威勢の良い掛け声が必要のように齢70を超した私には益々夫れが大切である事を痛感して居ります。特に若い方々に接する機会が多く「オジン臭い」等と思われは敬遠されること必定です。

私には長女長男夫婦、孫5人が居り、各自の誕生日には必ず全員集合して祝います。夕食の団欒の後には全員で「カラオケ」を歌ったりして楽しみます。私は其の楽しい雰囲気の中に若い活力を得るよう努力して居ります。「活力」こそ生命の源です。

其処に健康、明るさが生まれ来

人生はこれから

浅田 肇 (9)

卒業してから、50年、職場を完全にリタイアして5年を経過しました。全く「光陰矢の如し」です。職場を離れたら地域社会で過ごすほかに、目下、地元の公民館のサークルに入会して、毎日を送っております。

①カラオケ教室／主として演歌を習っています。声を出すことは健康に良く、歌は情熱を広げます。

と信じています。皆様お元気で。

沈丁花の想い出

藤木(高橋) 香織 (13)

昭和19年4月に女子経済専門学校へ入学して間もなく、裏門を入って行くと、そこはかとなく甘い香りがただよって、エンジと白の可愛らしい沈丁花の花が芝生の中

ハブル崩壊に思ふこと

嵯峨(榎本) 敏枝 (14)

同窓の皆様にはお元気で過ごしていらつしやいますでしょうか。バブル経済がはじけた後、これから就職される方々は如何ばかりか

ポスト還暦

村上 弘 (20)

私にとって昨年は健康な状態で無事還暦を迎えた歳でした。子供達が企画設定してくれた信州への家族旅行、また、同郷高卒同窓と夫婦同伴一泊懇親旅行が実現し、幸せに満ちた一年でした。唯、経大第20期生会「はたかいた」の同窓会に出席出来なかったことが残念です。その埋め合わせに去る9月17日当地において懇親ゴルフコンへのホスト役をさせて頂きました。やはり同窓の語り合いに勝るものはありません。

還暦後いかに過ごすか自問自答しながら頑張っています。シンブルに考えて生まれ変わった気持ちでこれまでに出来なかったこと、やりたいことに挑戦したいと思っ



北から南

南から

②社交ダンス教室／リズムに合わせて体を動かし、汗を流す楽しさを味わっています。

③日本舞踊教室(民舞)／主として民謡の踊りを習っています。指先に繊細な神経を要求されます。以上で、がんばって人生はこれからと言う心境です。

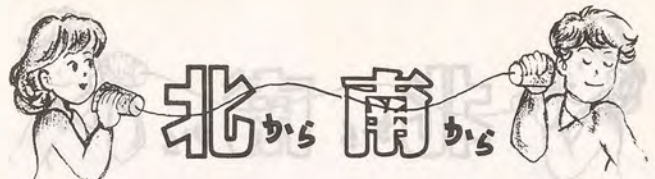
あちこちに咲いていました。その周りに紺の洋服の乙女達が、三々五々座って楽しそうに語り合っていた姿は、翌年そこが戦場と化したことなど思いも及ばない、平和な学園の姿でした。

沈丁花の香がたまたま頃何時も思い出す、なつかしい経済専門学校時代の風景です。

車窓から母校の隆盛を願う

宮崎 勝行 (20)

7月15日、博多の最大にして、かつ勇壮な博多祇園山笠の祭が幕をおろしたばかりです。



ています。好奇心だけは、いつまでも持ち続けたいものです。

◆◆◆ 商社マンを夢みた頃 ◆◆◆

蒲原 正道 (21)

学生時代の思い出としては入学当初から良い下宿が見つからず、難儀したことです。それだけにホームシックにもなりました。

しかし、卒業後は商社マンになつて、当時はめずらしかった海外への夢を抱き、3年生までで卒業に必要な単位をほとんど取得し、4回生の時は英文のタイプライターを習いに専門学校へも通っていました。4回生の6月、学校の集団レントゲン検診でひっきりかき、入院。商社マンの夢は消え去りました。

◆◆◆ 母校に恥じない人生を ◆◆◆

張田 英太郎 (22)

経大を卒業して早30年余、我々の学年は来年還暦を迎える年齢になりました。経大が年々立派に成長してゆく姿を京都人會を通じて

報告を聞き、母校の発展を心より嬉しく思っております。

小生は長男として商人の家に生を受けた為、人に使われる事もなく、小さいながらも家業を守り続けておりますが、私の友人達は定年を間近に迎え、第二の人生に切りこんでいるようです。いつまでも仕事を続けていける我が人生を誇りに感じ、今日も張切つて経大出身者として恥ずかしい人人生を送っております。

◆◆◆ ソフトの発展に期待 ◆◆◆

久保 一見 (24)

母校を卒業して33年。昭和高校の匂いの残る古い本館の校舎がなつかしく思い出されます。今では、校舎も規模も当時に比べると、大変な様変わりですが、建学精神の「黒正イズム」は変わりなく継承されていることと思います。

在学中は自治会と社会科学研究会に所属し、先輩達にしごかれた4年間でしたが、『濃江』が居る都度、そのころがなつかしく思い出されます。反面、恩師の名前が年々消えているのを知り、大変淋しく

感じております。

91年度から経営情報学科が新設され、母校も一段とハード面では充実されました。今後はソフト面での益々の発展を期待しております。

◆◆◆ 「私の財産」 ◆◆◆

林 文得 (24)

40年程もむかしのはなし。小生の学生生活は新聞配達と共にありました。夕刊配達のため、午後2時すぎに下校を余儀なくされ、1年生の間、これが一番辛かった。父母からの仕送りもなく、帰省はせいぜい年1回。根気を培われたのも、この経験のお陰と思っております。

こんなことを「むかしはなし」と思わぬ人が一人でもいれば有難い。

◆◆◆ 母校への思い、これだけ ◆◆◆

小清水 芳郎 (25)

体育の課外活動で得た友情。琵琶湖の竹生島で水泳場開きが催さ

たいと願っています。

◆◆◆ 応援団の復活を願う ◆◆◆

金谷 圭二 (31)

早いもので、卒業後27年が経過しました。学生時代は応援団の活動で明け暮れていました。規律はきびしいが、その中にも楽しい学生時代を過ごしました。今でも年一回程度集まって昔話を楽しんでいます。OBの一員として若い時を謳歌できるよう、一日も早い応援団の活動ができるよう切に願っています。

母校のさらなる発展を期待しています。

◆◆◆ 忘れ得ぬ夢 ◆◆◆

久保 富夫 (31)

30年前、平田の渡し舟にゆられ、今はなき梅田学生部長と語り、渡りし淀も、悠々と流れし今、全ては空、彼岸の岸にて、黒正先生、土の中。

恋に悩み、苦しんだ青春の日。思い返して夢を披露すると、卒業

た。経大の輪を広げたいとの幹事さんの熱意ある行動に感謝します。

◆◆◆ ラグビーが私の青春でした ◆◆◆

諸田 治 (26)

3年生の昭和34年正月、全国大学地区ラグビー大会で天理大を破って近畿代表となりましたが、決勝戦で西南学院に惜敗してしまいました。高校、大学、社会人と10年近くラグビーをしてきたことが私の青春でもあり、懐かしい思い出です。現在はOB会で現役のバックアップのため理事会の世話役などさせてもらっています。

一方、OBばかりでの、柴田会長を中心とした年2回のゴルフコンペも気持ちよく、多数のOBの参加で盛り上っています。

◆◆◆ 在校時代の思い出 ◆◆◆

川嶋 象介 (28)

当時は昼間大阪市内の税務署に勤務し、夜は時々大学へ通っていましたが、学校の授業が終る夜9

れ、仲間と共に飯盒炊きさんと思いい出。その時の様子が学校名・写真入りで新聞に紹介されました。一心不乱に頭と行動で励めば、自然と道筋が開けます。

「忙しい」という字が立心偏に身が亡ぶと書くことに留意して、ポイントとしていたり、読書に耽る、ほのぼのした時間を持つことなどが、幸せを感じさせます。

余暇開発の企画で、母校に親しみを感じて集まる環境づくりをしていた。例えば、有名小説作家の講演・コンピュータ講習・株式情報・音楽鑑賞等。

◆◆◆ 那賀支部、発進しました ◆◆◆

熱田 悦造 (26)

卒業後、銀行勤務12年、脱サラして不動産業で20年。年月の過ぎるのは早いものです。地域社会発展のため、また、地元の皆様に少しでもご恩返しの出来る様にと、ロータリークラブ活動で頑張っています。

和歌山県は南北に長いので、一堂に集まることは大変難しく、このたび支部長、松本先輩のご配慮により「那賀支部」を発足しまし

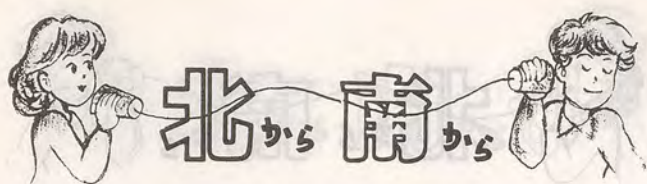
間近の日、先生はロボットになつて、鉄の？マークの右腕をふりあげ、墓の上を追つかけて来られました。逃げたつもりでしたが、釈迦の手の平の上の猿に過ぎなかつたことを知って驚いています。

真理の探求から、逸脱しての勉強に没頭せんとすれど叶わず、中小企業専攻しても、同じこと。その道の奥深いこと故藤田博士夢殿の中、いかにせん。商業科の学生を教えながら、企業家になるチャンスを探っています。ここで一首。春をみず自ら立てし 佐倉花師の道歩む 盆の水かな

◆◆◆ 大経大卒が私の誇り ◆◆◆

橋本 栄志 (31)

早いもので卒業後27年が過ぎました。先日久しぶりに母校の近くを通り、あまりの変わりようにつくりしました。昭和30年代後半の母校近辺には学生の下宿屋が沢山あり、多くの級友が下宿していました。隣とベニヤ板一枚で仕切られた狭い部屋でしたが、授業の合間には数名で集まり、コーヒールを入れる角砂糖を食べながら人生を語り合ったものです。

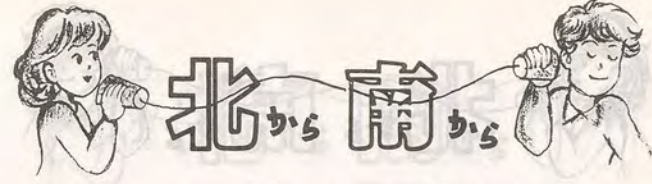


毎年、年末に送られてくる『瀬江』を、懐かしく、楽しく拝読しています。バブル経済の崩壊、受験生の減少。大学の冬の時代と言われる厳しい時期に経営情報学科を開設し、優秀な学生が多数入学されたことは喜ばしいことだと思います。さて、私の余暇の過ごし方は、一日のんびりしているか、好きな作家の小説を読むくらい。仕事から学生達と話したり、遊んだりしていることが比較的多く、このことがストレスの解消になっていると思います。

学生たちと楽しむ

尾崎 勇 (34)

躍のことと思います。
私が母校で得た財産は、生涯つきあえる友人達(米田、長谷、花山君等)に出会った事です。卒業後、大阪、奈良、岡山、福岡と別かれましたが、機会ある毎に会っています。ところで、藤原ゼミナール(藤友会)の皆さん、お元気でしょうか。幹事さん一度招集をかけて下さい。



今はそれぞれの人生を歩いていますが、どんな時でも、又どんな事でも母校のことが気になります。すばらしい先輩・後輩にめぐり合っている、現在があります。大経大卒業生であることが私の財産です。

時代は変わる!!

青木 正晴 (32)

学生時代は応援団に居りました。現在は、ほとんどの大学で応援団が廃部になっているそうです。我が経大も残念ながら……。

時代が変わったのです!! 世に斜陽産業が有る様に、ソ連が崩壊した様に、オリンピックで中2の女学生が金メダルを取る様に、世の流れは大学のクラブ活動にもいろいろと変化をあたえるのだなアと痛感しました。
私は年齢と時代におし流されぬ様に頑張ろうと気をひきしめて今日この頃です。
『瀬江』をありがとう。頑張つて益々栄えあれ。押忍!!

人生をついていけるか

阿部 公二 (32)

卒業以来、もう26年。社会的背景、環境もずいぶん変わってきました。思い起こす毎に学生時代がなつかしく、人生で一番自由の有難さ、心のゆとりを持っていた時期を無為に過ごした4年間が悔やまれます。

よく一日を一生の縮図にたとえられますが、18、22歳は言わば午前10時頃。そして今は14時頃。今後を生かすも殺すも我が心構えひとつと痛感しています。在学中の皆様には、今自分が送っている時間を一日一日噛みしめて大切に、祈らずにはられません。

心はまだ青春

森本 要 (32)

人生あしかけ半世紀を重ねてきました。娘が今春短大を卒業しました。娘の姿を見ていると我が青春がラップする所があります。そして想います。マルキリの50男ではない。心の隅にはまだ青春が

ホテルのロビーで受けた追試

中野 勇次郎 (34)

大学生活の4年間は、高校生活の延長の様な感じで、アツという間に過ぎました。

忘れることのない思い出は、必修の外書講読の単位だけが残りました。就職は決定しているし、3月卒業はしたい気持ちで、先生に無理なお願いをして京都ホテルのロビーで一時間の追試をしてもらったことかな?

現在、余暇と云っても、立场上、世間の時短の流れに逆行している感じで、時々やるゴルフぐらいかな? 母校に、他校に敗けない学園に発展してもらいたいですネ。卒業して1/4世紀、大経大を愛しています。

バイトの思い出は黄金色

小田 経雄 (35)

学生時代、酒を飲み過ぎて食費に困り、運送屋で助手としてバイトした時、北浜の衛生処理場に回され、黄金色の粉をトラックの荷

生きていると。負け惜しみと人は言いますが。

母校で得た私の財産は、この青春を与えてくれた下宿の友達です。全国に離ればなれになりましたが、重本、山口、守田、奥野、山川、……、頭の中にはシツカリと顔が浮かびます。そして「森本ガンバレ」の声も。遅れているから言っているのでしょうか。

休日はゴルフ三昧

矢幡 国行 (32)

「趣味は何ですか」と問われたら「散歩と読書ぐらいですかね」と答えていたのですが、5年前からこれにゴルフが加わり、暇をみつけては練習場通いが始まりました。休日にはほとんど友人、知人とゴルフ場でラウンドの今日この頃です。おかげで、女房、子供の風当りは相当きつ、我が家ではアゲインストの風が吹き荒れています。それらをものともせず、力強いボールを打って、こうと心に誓っています。

先生の温かい言葉を胸に

松山 吉和 (33)

1年生の6月に母が死亡しました。1週間ほど休み、中国語の梅田先生に忌引きを願いましたが「それは気の毒だが、私の講義を聴かなかつた事は事実だからね」そんなものかと無性にぐちゃぐちゃ。(その時は先生の真意が理解できなかった)

4年時、鈴木亨ゼミでしたが、サボってばかりだったので除名されそうでした。なぜ授業に出ないのかと聞かれたので、クラブ活動(詠部)だと答えると、「じゃあ、ひとつやってみろ、しかたなく一吟を歌ったところ」なるほど、ずぶの素人とは違うなと、それまでの事は許してもらいました。お陰で、やつと卒業できました。

卒業後、多くの学生を見るたびに両先生の温かい言葉を思い出し、感謝しています。

藤友会の招集を

吉岡 靖夫 (33)

母校卒業後、早や丸25年が経過し、社会の中堅として皆さんご活

未来に貢献できる人材育成を

池田 信介 (36)

早いもので、証券界に身を置いて22年経ちました。この間に世界状況は大きく変化し、日本経済も一翼を担うまでに成長しました。これからの日本は益々地球的スケールで動いて行くことでしょう。

21世紀を担う学生が大きく飛躍して行くために大学は重要な役割を果たす事でしょう。伝統を大切にしながら未来に貢献できる人材を輩出するユニークな大学にならんことを願っております。

頭と体がたつき防止に努力

西山 芳雄 (35)

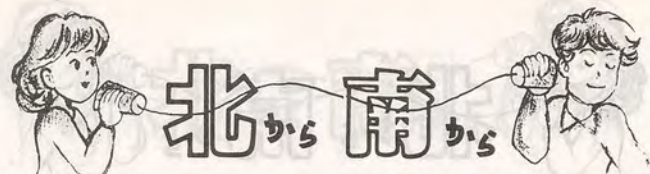
①卒業以後、母校にも同窓会にも御無沙汰しています。昨年ふと思いついて上新庄まで行き、あまりの変化に驚き、大学への道を間違えました。

②日経を読んだり、軽スポーツをする等、頭と体がたつきを防ぐべく努めています。新しい学科も出来た事ですし、とりわけOA関係の研究と教育の成果を分かりやすく紹介して下さる事を望み、母校の一層の発展を祈念いたします。

通勤途中の思考錯誤

寺杣 友克 (36)

和歌山から大阪への通勤途中、新聞の経済状況を見ているのですが、若者は生産活動よりもサービス産業への就職率が高く、日本経済は過剰生産で富を稼いで来ていることを考えると生産力が低下するよう気がします。汗と油で物の生産をしている時代は明日への希望



がありました。最近では生産力低下への先行不安、消費者の生活不安から買い控えが進んでいます。政府は思い切った公共投資を活発にして、明るい未来の展望を描けるような政策を打っていただきたい。サラリーマン退職後の高齢者向けの仕事をどんどん作って、ける社会環境を切に望む心境になって来ました。

◆◆◆◆◆玉置先生に人生を教わった◆◆◆◆◆

勇元 伸介 (37)

私自身、亡き玉置保先生のゼミ第一期生で、専門の労働法の講義も大変勉強になりましたが、それ以上に先生の学生の愛情・信頼を痛感しました。それに応えられるべき人間でないのが申し訳ないですが、人を動かす立場として、人を信頼し、愛情をもって接する事を人生の柱として実践したいと思っています。亡き先生のタバコを燻らせながらの笑顔が忘れられません。

◆◆◆◆◆毎日が余暇!?◆◆◆◆◆

久保 聖 (37)

まさかこんな僻地で生活する事など学生時代には想像もつきませんでした。東北の蔵王で小さなペンションを16年営んでいます。

学生時代は硬式庭球部に所属し、毎日勉強、授業は二の次にしてテニス三昧の日々でした。全ての生活がテニスを中心に回っていたみたいです。

今は四季折々、冬はもちろんゲレンデスキー、春は山岳ツアースキーにパラグライダー、夏は溪流釣りやカヌー遊び、秋は尾根歩き、MTB、バイクツアー...etc.人もうらやむ盛りだくさんのアウトドアスポーツ三昧の生活です。一体いつ仕事をしているのやら...!?

◆◆◆◆◆母校で得た私の財産◆◆◆◆◆

佐浦 茂登子 (37)

私は決して勉学ばかりが大学ではないと入学以前より思っており

これからも余暇をゴルフ一筋に続けるつもりです。

◆◆◆◆◆プライドを胸にエリオン全開◆◆◆◆◆

前原 五男 (38)

大経大卒のプライドを日常精進の糧として持ち続け、「公僕にはやり過ぎはない」をモットーに日夜エリオン全開で突っ走っています。

我が市は「国際観光温泉保養都市・指宿」ですので、スポーツクラブ合宿、職場旅行等の計画がありましたらご一報下さい。

過日田中健一教授にもお孫さんと一緒に拙宅に泊まってもらい、懐かしくお話ししました。

鹿児島島のローカル紙に関西六大学野球の大経大の文字が目に入るとうれしく思います。母校よ栄えあれ!

◆◆◆◆◆あじ20年は第一線で◆◆◆◆◆

松尾 敬明 (38)

卒業してから早いものでもう20年の月日が過ぎ、皆それぞれの会

◆◆◆◆◆貴重な体験をありがとう◆◆◆◆◆

大森 義和 (39)

地方出身者の私にとって、大経大での4年間は正に貴重な時間と空間でありました。それは、まず今迄の保護生活から自己管理生活へ。狭い社会から多様な社会へ。そして自己の権利と義務、又その責任の意味等と今振り返ってみて、これ程凝縮されたそれがあった事はありません。確かにそれなりに自由ではありましたが、その代償の大きさも痛感し、感慨深いものがあるものです。

◆◆◆◆◆経大スピリット頑張ってます◆◆◆◆◆

稲積 哲也 (38)

正に「光陰矢の如し」。月日のたつのは早いもので、母校卒業後20年が経過しました。『濃江』で母校の近況やゼミの恩師鈴木亨理事長のお元気で活躍の様子を拝見し、在学中、ゼミ仲間と研究室へお伺いした際、偶然同席された、現山本学長と親しく紅茶をこちそうになった事を懐かしく思い出しました。

私は卒業後、地元の姫路信用金庫に勤務。信金マンとしてご多分にもれず多忙な毎日ですが、職域の同窓と共に今後も感性豊かな経大スピリットで頑張りたく思っています。

◆◆◆◆◆二回生の恥ゆかつ思ひ出◆◆◆◆◆

河辺(赤松) 正江 (39)

卒業して、20年になるんですね。いろいろな事を学んだはずなのに忘れてしまいました。

でも、1回生のあの日の事は忘れず覚えています。教室の床がきれいにワックスされていた上ぬれていました。どこに座るかを決めた拍子にひっくり返り、お尻を打ちました。回りは男子学生ばかりで恥ずかし、ただただ笑うばかり。今なら平然としているだろうに、当時は十分恥ずかしい気持ちがあったんですね。

◆◆◆◆◆二スに合った学校について◆◆◆◆◆

北村 竹師 (39)

私は、母校を卒業し、早くも20

◆◆◆◆◆20年ぶりの母校は美しかった◆◆◆◆◆

今澤 義夫 (38)

過日母校を20年ぶりに訪れ、我々の学生運動時代とは比べられない程美しいキャンパスを見て、世相を反映しているなと感じました。学生も身なりは現代そのものの清楚な風で、女子学生が多くなるのももつとだとなんとなく納得したものです。しかし、時は移っても、気風・気質はいつまでも昔のままであってほしいと思います。卒業生の皆様も機会を見つけて一度母校を訪れ、学生と話してみたいかがですか。この学校を選んで良かったと思いますよ。

◆◆◆◆◆私の余暇◆◆◆◆◆

柴田 昭夫 (38)

大学を卒業後、私は会計事務所勤務。勤続年数16年、その後独立して、現在、計算センターを営んでいます。職業柄、運動不足目の疲れ、ストレスなどを解消する為、週一回のゴルフをしています。(ハンデ18)スコアよりもまず、運動、健康第一、仕事はその次と心掛けています。

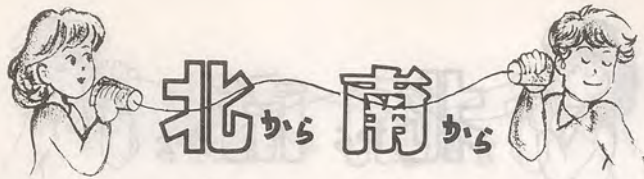
年の歳月を迎えようとしています。現在は、高校の教師として、大学4年間で学んだこと、特に、「喜田ゼミ」や「簿研」で学んだことを糧にして、勤務しております。

最近、経営学部で新しい学科として、情報学科が新設され、情報教育が本格的に研究されるようになり、経大のグレードアップに大変貢献しているように思います。高校の現場でも、経大の動向には注目をしておりますので、今後、時代のニーズに合致した学校造りに励んでいただきたいと思います。

◆◆◆◆◆「学校・冬の時代」に向けて◆◆◆◆◆

野村 明信 (39)

仕事柄、母校の置かれている諸状況や入試結果等については注視しております。これからは、私の在籍する中学だけでなく、高校・大学と次第に学生数の減少していく「冬の時代」に教育界全体が入っていくわけですので、今のうちから母校としても全国の高校、とりわけ地元大阪の高校との関係をより深め、優秀な生徒の「大量確保」のため、推薦入試枠の拡大な



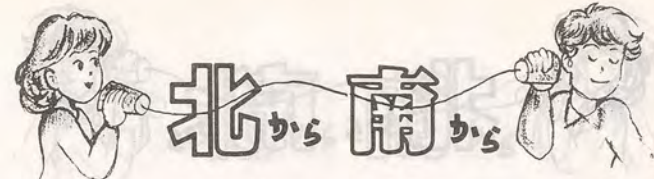
3年、4年の演習で故原田博治先生の「経営管理論」を履習し、その中で企業経営の理論を少しのぞけたと思います。

卒業後、機会があり、「経営診断士」の免許が取れる事となり、又、現在、個人ではありますが、店を持つべく自営しています。小さいながらも一國一城の主として活動していく中で、母校で学べた事が今では、私の中で大きな財産となっています。益々精進し、一日も早く大きな夢を実現させたいと思っています。

一國一城の主で活動

小坂 芳範 (42)

感させられました。現在身長178cm、体重73kgで、こんなものかと勝手に自負しています。年に何回かはアルプスにも挑戦して「苦しいけど、楽しい」し、同好の友人もできました。私の余暇は「自己満足」につきますようです。



どで、私たちが送った生徒が現役でスムーズに経大へ入れるように、よろしく願っています。

卒業後思ふこと

阿部 孝康 (40)

卒業後18年が経過しました。学校事務を継続して勤務しています。占いで私の場合20歳から25歳までに決めた仕事に向いていて転職しないほうが良いという結果がでました。全くそのとおりと思ひ、黙々と仕事をしています。大学時代の経済学も経営学も知識としては役に立たないわけではありませんが、法律の方が直接的で、事務の仕事に対して役に立ちます。経済とは一体なんであつたかいつも夢のなかに出てきます。大学時代がなつかしく、東淀川のあたりをぶらぶらしたい気になります。

春夏秋冬、テニスに病みつき

泉 一文 (40)

私の余暇利用の第一目的は、ス

トレス解消、健康増進であります。具体的には、ゴルフ・テニス・ゴルフ・釣・読書・外食であります。特に、ここ2年間毎週欠かさず熱心に続けておりますのがテニスであります。始めたきっかけは、妻のテニス教室入会でありました。妻が上手になる手助けにと安いラケットを購入し、テニス場で球出しをしたばかりに病みつきになりました。今では、春夏秋冬、炎天下、小雪の舞う中でもやっています。動く時間は1時間ですが、球を夢中で追っている頭の中が空っぽになり、本当に素晴らしい。私のストレス解消、健康増進に役立っています。

私の夢

前田 道孝 (40)

週1回の休みに、趣味で江戸時代から明治初年頃の浮世絵版画の収集と研究に意欲を燃やしており、将来の夢として、浮世絵美術館を建てたいと思っています。

簿記史を学んだこと

出嶋 英和 (43)

私の自慢のひとつは、渡辺泉先生のゼミで簿記の歴史を学んだ事です。私は現在金融機関に勤務しておりますが、金融論を学んだ人はあっても、簿記史を学んだ人は今迄会った事がありません。卒論のテーマも日本における複式簿記でした。

もう今では当時の記憶も薄れがちですが、渡辺先生の下で学んだ事柄は私の自慢であり、財産となつていきます。人が知らない事を学んだぞという、ある種の優越感だと思ひますが、これからの思ひ出を大切に温めておきたいと考えております。

憧れの神宮へ

中山 朗 (43)

何といつても、準硬式野球部1年の夏に、あの神宮球場で野球をしたことでしょう。まだ、坊主頭の江川卓が甲子園を沸かせていた48年の夏の事です。私が神宮でプレーできたのは、

おおきに、大経大

大屋 八則 (41)

商業学校出身でしたので、クラブ勧誘で目に入ったのが簿記会計研究部でした。開放された雰囲気と色々な情報の詰まった部屋に足が向く毎日。人とのつながりの大切さを改めて学習させて貰いましたが、部活内容というのが頭の痛い難解な理論主体で、物事の捕まえ方、考え方の広さと深さに感嘆する事頻り。今更年によく続いたものと感心しております。卒業後も、諸先輩、仲間同士集えば、色々とななる話を聴かせて戴く事が出来、井の中の私にとつてすばらしい友人に巡り合えた事は私の財産でもあります。有意義な学生生活を送らせて戴きました。

郵便配達で、頑張っています！

星野(神田) 栄雄 (41)

まさか卒業してからも『瀬江』という大学の機関紙を毎年発行し

て、交流があるとは、夢にも思いませんでした。

今、豊中市に在住し、ストレス解消としてバドミントンを豊中市の体育館で週に1〜2回、練習のつもりで、やっています。学生時代、経大の体育館で一生懸命シャトルを追っていた自分が懐かしう思い出されます。

41期卒業の二部の皆さんへ。学生時代の体育実技で汗を流した事を思い出して、又、私とバドミントンで対戦しませんか。

山歩きにチャレンジ

泉池 義雄 (42)

経大卒業後、公務員生活も早や16年目に入り、現在は平凡な家庭生活を送っています。

私が余暇について真剣に考えたのは結婚後肥満が目立ってきたときで、「ダイエット」とあわせてできるものはないかと考え、同僚のすすめもあつて「山歩き」にチャレンジすることにしました。やってみるとこれが大変で、いかに今まで運動不足であつたかを痛

うか……。

どうぞ積極的に、そして、どこかの大学にも負けない先生方がいらつしやいます。どんな質問したり、意見をいうという前向きな取り組みをなさつて一人でも多くの仲間がふえることを待っています。

手違いに涙したホロ苦さ

潮見 克也 (44)

在学当時は就職難の時代で、メーカー、流通、銀行と十数社受験しました。その中で旧兵庫相互銀行、福徳相互銀行の両行を受験したのですが、実家の電話の取り次ぎミスで役員面接日を取り違え、結果、不採用となり、涙したホロ苦い思い出があります。

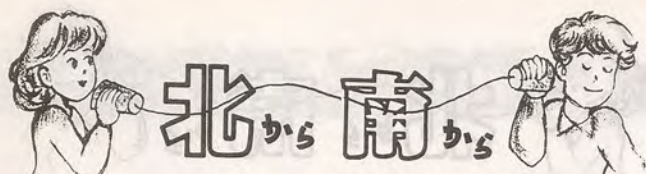
特に下宿生にとっては直接連絡が受信できないというハンディがありますので、就職指導の先生方、今となつては喜劇ですが、後輩の方々に私の二の舞を引き起こさないよう宜しくご指導の程お願い申し上げます。

教職志望の方、どうが前向きで

岡(紙谷) 静子 (44)

14年ぶりに大学を訪れ、女子学生の多さにびっくりすると共に、とてもうれしく思いました。また、教職課程の先生方、事務の方々の思いやりとまごころめられたお仕事の様子、どこの大学にもこれは見られないのではないと思ひます。

機会あつて、教職を志望されている学生みなさんと話し合いをしたわけですが、何か控え目とい



忘れぬ学生時代の思い出

田中 徹 (48)

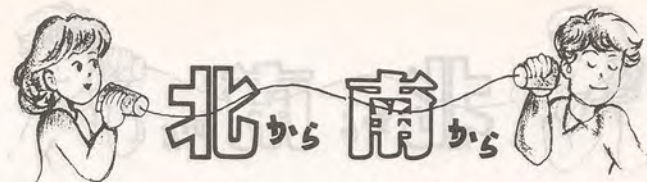
私の学生時代の思い出は、クラブ活動をなくしては語ることが出来ません。芸術会のギタークラブでした。夏の他大学とのジョイントコンサート、秋の定期演奏会、

特色ある大学づくりを期待

川村 幸二 (48)

卒業して早いもので10年過ぎました。現在地元の市役所に勤務しておりますが、仕事を通して対人交渉の難しさを痛感しています。当時の私は極度の勉強不足で卒業の年になっても多くの単位を残しており、冷汗をかきながら試験を受けたことを覚えております。(今でも時々夢に見るほどです)

広島では経大を知っている人が、特に若い人では少なくなっているように思います。もっとマスコミ等を通してPRし、経済系大学なのですから、公認会計士・税理士などの資格試験に力を入れるなどして特色のある大学を創っていただければと思っております。



夜通し語り合った下宿時代

蝦名 圭司 (45)

大学へ入って、初めて下宿生活を経験しましたが、同じ下宿先の人達と夜通し人生や学生生活等について話し合った事は卒業後十数年経っても、とても良き思い出です。来青する時は、是非お知らせ下さい。又、20代の時と同様に話し合いたいと思います。

剣道に学んだ4年間

西山 伸二 (45)

私は在学中剣道部にいた関係で、大学生活のほとんどが「剣道中心」の毎日でした。今から想えば大変でした。ろくに授業にも出られず、不安な時もありましたが、剣道を通じて学んだ事は、現在の私にも役に立っています。職業柄、生徒との接し方、及び人間関係に関してプラスになっています。

ただ、もう少し勉強をしておけばと後悔しておりますが、教科書では得られないものを教えてくれた4年間でしたので、私は満足しています。

しております。

3時間通学の根性あり

長谷川 照恒 (46)

早いもので卒業より12年があっという間に過ぎ、2月の出張の時なつかしい母校を久しぶりに新幹線の窓越しではありますが見るこゝとができました。近いうちに母校へ行こうと思っております。上新庄駅もずいぶん変わっているかな？

在学中の3年生より4年生の2年間は3時間かけて通学したことが一番の思い出です。その根性で仕事も頑張っております。社会人としての責任も重くなる年になり、これからは経大イズムを忘れずに何事にもぶつかってゆく気持ちです。自宅 三重県津市阿漕町

1 2 2 3 1 3

学生時代に人生の宝物を得た

木路 隆宏 (47)

毎年送られてくる『澱江』を読む一日中ギターばかり弾いた合宿等、忘れぬ思い出となっています。クラブで知り会った親友、よき先輩、後輩たちが経大で得た私の財産です。

学友は家族への代わり

水口 隆 (52)

卒業以来6年以上が経過し、今や私も3歳と1歳の娘の父親となっております。

当時、勉強はそこそこにし、遊ぶことばかりを計画していた旧友6人とは、今現在も、年1回忘年会等を催し、家族ぐるみでおつき合ひさせて頂いており、学生時代の友人の良さを感じております。

社会人6年生の中堅の仲間入りの年齢になったこともあり、学生の就職活動時には、後輩の方々がOB訪問として訪ねてくださることも、うれしさと共に私の当時の学生時代を思い出させてくださいます。

経大出身の先輩・後輩の方々の益々のご活躍を期待しております。

たび学生時代がなつかしく思い起こされます。私の学生時代はと申しますと、旅行会社で添乗員をしておりましたので、毎週末は全国各地飛び回ってましたが、今、営業に従事する私にとりまして、この時の体験こそが、人と接する機会が多い社会の中でどれだけ役立っている事でしよう。学生時代に得た事こそが忘れられない人生の宝物なのです。

今は、3児の父親として私が計画したコースで家族旅行する事が何よりの楽しみです。

珠算研究部の廃部、残念

畑 善之 (47)

卒業して11年、千葉に転勤になつて早や7年を過ぎましたが、母校の残念な出来事の一つあります。私の所属していた珠算研究部が廃部になったというのを風の便りに聞いたことです。

確かに現代のコンピュータ社会では、算盤の存在が薄らいできたし、私も会社では電卓に頼りきっておりますが、引出しの中にはいざという時のために、算盤を忍ばせています。

卒業後も変わらぬ交友関係

梅原 尚人 (48)

演奏会への招待状・チラシが定期的に現役部員から送られてきます。それを見る度、グリークラブでの思い出が蘇ります。もう、私を知る部員はいないけれど、グリークラブは存続し、活躍してくれていると思うと感慨深いものです。

クラブ活動で得た仲間達とは10年を経た今でも親交があり、結婚式にも石川県から山口県まで随分出席させて頂きました。今後も変わらぬ交友関係でありたいものです。

当時、先輩や同期の仲間達から「梅ちゃん」と呼ばれていた私は現在の会社の皆様からも同様に呼んで頂いております。

石碑と植木を寄贈いただきました

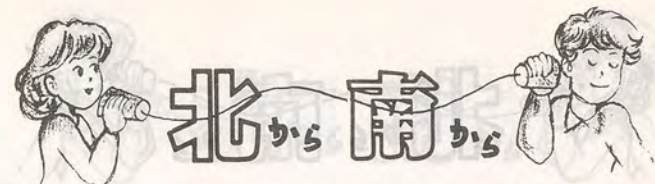
このたび、清水好喜代氏(第3回卒、栄和産業株式会社代表取締役)のご好意により、石碑および植木の寄贈を受け、4月9日設置しました。石碑は中庭に、植木は学館建物西側沿いにカシ・モミジを、中庭の民家との境界線沿いには、サザンカ・カイズカイブキ等が植栽されました。

石碑には、本学初代学長黒正巖博士の遺訓「道理貫天地」の碑文が彫刻されております。

石碑……………一式
カシ(H7・0m)……………二本
モミジ(H3・3m)……………四本
サザンカ(H3・0m)……………十七本
カイズカイブキ(H3・0m)……………十六本
ウバメガシ(H2・7m)……………十二本
平戸ツツジ(H1・0m)……………九十二株



石碑(学生会館中庭)



マンドリンの4年間

弓削 雅哉 (52)

私はマンドリンクラブで4年間の学生生活の大半の時間とお金を費しました。

しかし、決して浪費ではなく、大きな貯蓄、それこそ今では貴重な財産として、友人や楽器を弾くことができる喜びとなって利子まで生み出してくれています。友人の結婚式などでは、学生時代の仲間とアンサンブル演奏したり、気の合う同士で集まったり、今でも情報を持ちよっては、互いを励まして合っています。

後輩たちも、どうぞ活躍してください。

念願のエジプト旅行

石口(藤井) 里江子 (53)

結婚して2年。未だ専業主婦になれず、仕事をしながら毎日を過ごしています。

今夏、念願のエジプト旅行がやっと実現しました。新婚旅行では非と思っていたのですが、湾岸戦争で行けずじまいだったのです。昔、教科書で見たピラミッドが目の前に広がる雄大さは、言葉では言い表せない程です。カイロの人々の生活を肌で感じ、豊かな日本に育った私は、考えさせられる事ばかりでした。

自分自身をみつめ直したい方におすすめしたい旅行です。

大学時代は思い切り遊んで

門田 聖五 (53)

経大を卒業してはや5年、あつという間に20代の最後の年を迎えています。

大学時代は、テニスに明け暮れ、現在も、夢であった教職の道に就くことができ、生徒と共にコートに立っております。

大学時代は夢のような4年間です。思い切り遊んで下さい。

人生観を変えた5年間

松尾 美紀 (53)

『澱江』の「北から南から」への投稿依頼のハガキを受け取り、卒業後6年という歳月の経過の早さを感じました。5年間の長い大学生活の中で、諸先生方や院生の方から学んだことが私の人生観に大きな影響を与えました。

大学院を卒業後税理士の資格を取得し、実務経験のため現在は会計事務所勤務に就いています。昨年念願のB級ライセンスを取りましたので、余暇は、ドライブを楽しんでいます。

学生時代の自分を忘れたくない

胡桃坂 由香里 (55)

届けられた『澱江』を読む度に、学生時代の事を思い出します。何にも捕らわれないことなく日々を過ごしていたあの頃、私は、自由や

お知らせ～事務局～

記念品販売のお知らせ

母校の経営情報学科新設記念に同窓会から寄贈した、世界的に有名な彫刻家・流政之氏作の彫像「花に向かつて花に立つ」をデザインしたオリジナルハンカチーフならびにTシャツを販売しています。

(写真参照)

ご希望の方は、同封の振込用紙で同窓会事務局までお申し込みください。

・販売価格

ハンカチーフ／2枚セット箱入
(綿白地に柄 花紺染)
1セット 750円

Tシャツ／Mサイズ



(白ニット地に柄紺染)

1枚 900円

(いずれも送料込み)

但し、数量に制限がありますので売り切れの節はご了承ください。

経営情報学科新設記念募金芳名録追加

91年度の機関誌「澱江」発行後に左記の方々からご協力いただきました。

卒回	氏名	金額(円)
4	周藤 秀夫	5,000
12	小豆沢保夫	10,000
23	原田 春夫	5,000
29	森 孝次	10,000
32	太田 富三	7,500
33	泉並 正	10,000
38	村田 吉敏	10,000
41	鹿島 英男	3,000
48	山田 智春	5,000
9名		65,000円

「卒業」「成績」証明書等の申し込み方法

卒業生の皆さん、各種証明書を申し込まれる場合は、日数に十分な余裕をもって、左記の要領でお申し込みください。特に、英文による証明書には学長のサインが必要のため、10日以上の余裕をもってお申し込みください。

なお、電話による申し込みは間違い等ございますので、取り扱っておりません(母校教務部より)。

①来学して申し込む場合
所定の用紙で申し込んでいただく、約10分でお渡しいたします。

(手数料1通につき、100円)
②郵便で申し込む場合
氏名、生年月日、卒業学部(1・2部の別)、卒業年度、証明書の種類、必要枚数を記入したメモと、

切手(手数料同右、送料62円)を同封のうえお申し込みください。なお、お急ぎの場合は速達料金(210円)を追加してください。

③英文による証明書の場合
右記②と同様です。ただし、手数料が一通200円となります。なお、パスポートに記載の英字氏名を明記してください。

人間観等のどうにもならない事に悩み、こたわりながら、学生生活を送っていました。

今思えば、あれほど贅沢に色々思案できたのは、あの時代がすべてにおいて、自分の為にあったからでしょう。社会生活に追われ、余裕を失いがちになる現在、時には、学生時代の自分を思いだし、活性化させていきたいと思っています。

西山 豊 助教授、吹奏楽総部TV出演

西山先生、吹奏楽総部は下記のテレビ番組に出演し、視聴者から好評を博しました。

◇西山 豊 助教授

ABCテレビ「どんなかな予備校・数学を楽しむ」

3月15日(日) 14:15～15:00放映

◇吹奏楽総部

ABCテレビ ビショップ「小枝王国50人でマーチ演奏」

3月2日(月) 0:35～1:15放映

異動のあったときは
ただちにご連絡ください。

●住所変更 ●呼称変更
●勤務先変更 ●所属部課
●役職異動 ●電話番号変更
などの場合は、同封してあります「名簿作成調査表」をご利用のうえ、本部へお届けください。

とくに、官公庁、金融機関、損保関係、国公立学校にご勤務の会員のご協力をお願い申し上げます。

コンピュータシステムの
名簿をご利用ください。

同窓会会員名簿は、現在、同窓会独自でシステム化したコンピュータによる管理体制を採用しておりますので、

1、郵便番号による都道府県

市町村別会員名簿作成

2、ゼミ別会員名簿作成

3、卒業回数別会員名簿作成

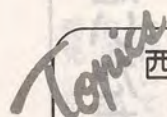
4、クラブ別会員名簿作成

5、業種別会員名簿作成

6、封筒用漢字ラベル作成

などのアウトプットが可能です。

会員の皆さん、大いにご利用ください。



平成4年度版 同窓会名簿限定出版申込受付

新名簿を発行いたします。お申し込みによる限定出版になっておりますので、お早めにお申込みください。

＜収録概要＞

◆第1回卒業生より第58回卒業生（平成4年3月卒業）

◆創設時より平成4年3月までの大学院の卒業生

＜価格＞

◆一冊 ￥6,000（送料込み）

＜予約金支払方法＞

◆郵送振込

◆銀行振込

いずれの場合も同封の払込用紙をご利用ください。

（注）郵便局または、三和銀行本支店をご利用になれば払込手数料はいりません。

但し、三和銀行本支店以外の銀行をご利用の場合は、払込手数料が必要ですのでご了承ください。

◆現金書留
送付先／〒533

大阪市東淀川区大隅

212-18

大阪経済大学同窓会

名簿係宛

＜発行予定＞

◆平成4年度末頃

＜お問合せ先＞

◆大阪経済大学同窓会事務局

〒06・328・2431代



【お詫び】

91年度の機関誌「澱江」に掲載しました経営情報学科新設記念募金芳名録に一部誤りがありました。お詫びするとともに左記の通り訂正いたします。

	誤	正
【訂正】		
第6回卒	杉浦利八郎	松浦利八郎
第23回卒	林 茂	林 武
"	北本 伸二	
	9,000円	10,000円

『澱江』購読料のお願い

「自らの購読料で、『澱江』を育てよう！1,000円にご協力を！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました澱江購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。

われわれ編集者一同は、この力強いご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、一ふんばり、二ふんばり頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。（ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。郵便局、三和銀行本支店をご利用になれば振込手数料は不要です）

記念テレホンカードの頒布

経営情報学科の開設を記念して、新学舎をデザインしたテレホンカードをつくりました。ご希望の方は、同封の振込用紙で同窓会事務局までお申し込みください（価格 1枚／¥800）

編集後記

▼待望の記念彫像が完成しました。名付けて「花に向かつて花に立つ」、来阪の折は是非お立ち寄りください。▼本年度は「会員名簿」を発行します。本誌「事務局お知らせ」を参照のうえ至急お申し込みください。▼11月1日学長が交代しました。上島武新学長のご活躍を期待し、6年にわたる山本晴義前学長のご苦勞に感謝したいと思っております。▼支部活動も活発です。某支部長の言「支部の支は、わかれるではなく、ささえることである」が実感されます。▼『澱江』をイメージチェンジしました。原稿の字数制限等へのご理解をお願いいたします。少々スリムになりましたが内容は豊かにと編集部では心がけています。澱江購読料へのご協力も願います。▼多数のご投稿ならびに、インタビュー等でご協力いただいた方々に感謝します。

学歌

作詞 秋本吉郎
（元本学教授）
作曲 柴田南雄
（放送大学教授）

- 大淀の 水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原 緑が沁みる
この若さ
希望は明るい 蒼穹かけて
永遠の青春 みなぎる学園
大阪 大阪経済大学
- 大樟の 蔭は裕々
夏風そよぐ
学徒師弟が 幹負いもちて
諸汗に
確かと植えた 融和の象徴
繁れ自由の 花さく学園
大阪 大阪経済大学

学園歌

作詞 黒正 巖
（昭和商初代校長）
作曲 水野康孝
（元本校教授）

- 商都の東北澱江に
臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧の玄野原
- 一千余年の其の昔
大隅の宮の在りませし
聖き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教えの道の元標
- 黒煙天をひた敵い
船車どよもす八衡を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生

逍遥歌

作詞 中村行男（16回卒）
作曲 松川圭一（15回卒）

- 此処 城北に迎えたる
紺碧淀の春の夢
惜春の賦のただよえば
薰風静かに流れ来て
逝きし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり
- 水や濁れる人の世に
真理求めて遊ぶ子の
友愛久遠に変わるまじ
汝が悲しみに我は泣き
吾が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春を
- 踏めば小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎の乙女子は
生命新たな此の曲に
花咲く野山花の下
声美しく歌うかな

でんこう
澱江
1992

■発行日 1992年12月20日
■編集 同窓会広報部
■発行所 大阪経済大学同窓会
〒533大阪市東淀川区大隅2-2-8
電話(06)328-2431
■印刷 凸版印刷株式会社
〒553大阪市福島区海老江3-22-61
電話(06)454-3256

經